

市川市の図書館

2024



市川市立図書館

はじめに

市川市の図書館の歴史は、昭和 25 年に市立市川小学校に設置されたことから始まりました。昭和 32 年には葛飾八幡宮境内内に初めて独立した市立図書館が設置され、その後自動車図書館の運行、行徳・信篤・南行徳・平田・市川駅南口の各図書館(室)を開館。更に平成 6 年に八幡宮境内内の図書館を閉鎖し、新たに鬼高に中央図書館を開館いたしました。

2,000 冊に満たない蔵書から始まった図書館は、100 万冊を超える蔵書を有し、図書だけではなく、視聴覚資料、データベース等様々な情報を提供する市民の学びを支える施設として、また昭和 29 年の文化講演会開催を皮切りに読書会やボランティア活動の受入など、時代に即した様々な形での地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える場として、市民の皆様に支えられながら成長を続けております。

令和 5 年度は、より地域に開かれた図書館となるための新たな試みとして、市民の皆様が本や図書館に関係するイベントを企画・開催する「図書館推し活企画」を実施、様々な斬新なご提案をいただき 10 のイベントが行われました。

これに加えて、コロナ禍で休止していた出前事業などの施設・学校との連携やぬいぐるみのおとまり会などの子ども向けイベントなど、子どもの成長をサポートする図書館としての活動を再開することができました。

令和 6 年には、中央図書館の開館 30 周年を迎えます。今後も市民の皆様に愛される、身近な図書館であり続けるために、これまでの積み重ねを大切にしつつ、これからの時代にふさわしい図書館サービスのあり方を追求し、実践を重ねてまいります。

ここに令和 5 年度の事業の結果をご報告し、今後のご理解とご支援をお願いいたします。

令和 6 年 9 月
市川市中央図書館
館長 米田有貴子

目 次

はじめに

1. 市川市の概要	・・・1
2. 図書館の基本方針	・・・2
3. 図書館のあゆみ	・・・3
4. 図書館組織図・委員会等	
(1) 図書館組織図	・・・7
(2) 委員会・会議等	・・・8
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・9
6. 令和6年度施設概要	
(1) 中央図書館 こどもとしょかん	・・・10
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・14
(3) 平田図書室	・・・15
(4) 行徳図書館	・・・16
(5) 信篤図書館	・・・17
(6) 南行徳図書館	・・・18
(7) 市川駅南口図書館	・・・19
(8) 関連施設	・・・24
7. 令和6年度予算	
(1) 市の予算	・・・25
(2) 教育費	・・・25
(3) 図書館費	・・・25
(4) 館別資料費	・・・26
8. 令和5年度統計	
(1) 蔵書冊数	・・・28
(1-2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・29
(1-3) 蔵書冊数の推移	・・・30
(2) 分類別貸出冊数	・・・31
(2-2) 分野別貸出冊数内訳	・・・32
(2-3) 貸出冊数の推移	・・・33
(3) 蔵書回転率	・・・34
(4) リクエスト統計	・・・35
(5) 登録者集計表	・・・36
(6) 延べ利用者数の推移	・・・36
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移	・・・37
(8) 受入・除籍冊数	・・・38
(9) 自動車図書館ステーション別統計	・・・40
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・41
(11) 開館日数	・・・41
(12) 関連施設統計	・・・42

9. 図書館コンピュータシステム	
(1) 図書館コンピュータシステムの概要	・・・44
(2) インターネットでのサービス	・・・44
(3) ネットワークの拡充	・・・44
(4) 館内インターネット接続サービス等	・・・44
10. 令和5年度事業概要 概況	・・・47
(1) 資料収集と利用状況	・・・47
(2) リクエストサービス	・・・48
(3) レファレンスサービス	・・・49
(4) 関連施設・類縁機関との連携	・・・49
(5) 対象別サービス	・・・52
(6) 資料別サービス	・・・56
(7) 主催事業	・・・57
(8) 市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）	・・・64
(9) 委員会等	・・・66
(10) 図書館刊行物	・・・67
(11) 図書館作成動画	・・・68
(12) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・69
(13) 市川市立図書館関係テレビ番組等一覧	・・・70
(14) 公共デジタルサイネージへの掲載	・・・70
(15) 視察・講師派遣、修士論文調査への対応等	・・・70
(16) デジタルアーカイブ	・・・71
(17) 議会の図書館関係質問一覧	・・・72
11. ボランティアと市民協働	・・・73
(1) 市川図書館友の会	・・・73
(2) 令和5年度 市民提案型図書館 推し活企画 採択事業	・・・74
12. 新聞・雑誌一覧	
(1) 購入雑誌一覧	・・・76
(2) 寄贈雑誌一覧	・・・83
(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧	・・・85
(4) 新聞ほか一覧	・・・88

資料編

13. 関連法規（条例・規則等）	・・・90
14. 計画	・・・116
15. アンケート・市民要望	・・・154

1. 市川市の概要

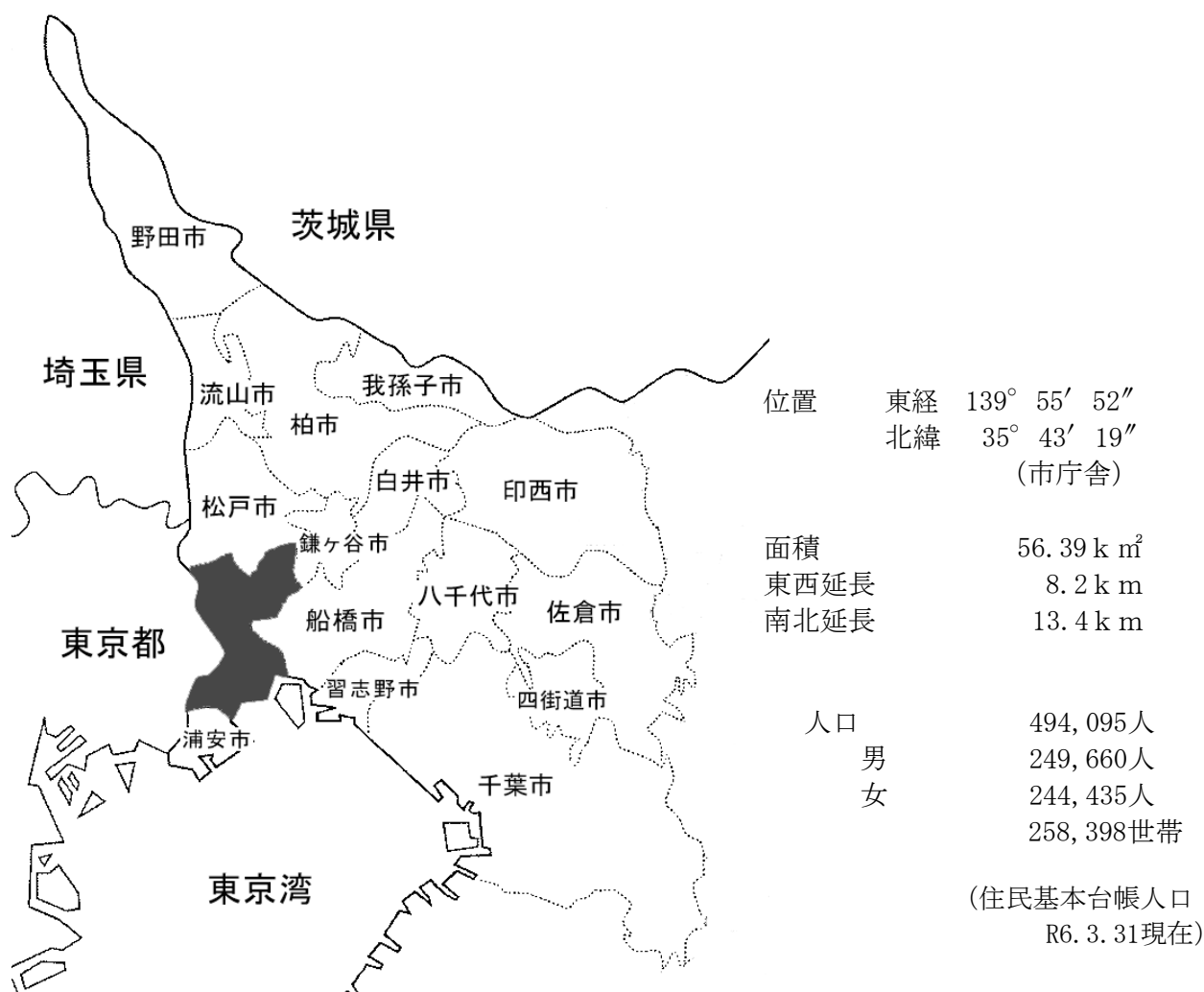
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と相対している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50か所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴といった文豪の終焉の地となった。また、中野孝次・井上ひさしが住まい、活動の拠点とした。

市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがあり、良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て、考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

令和6年度の目標

(1) 地域に開かれた図書館づくりの推進

本を媒介とした市民活動の活性化を後押しするとともに、開かれた図書館づくりを通じ、一層の図書館利用の促進を図るため、市民提案型「図書館推し活企画」を募集するとともに、地域の小・中・高等学校や大学、企業などとタイアップした事業を展開していく。

また、令和6年11月に開館30周年を迎える生涯学習センターの管理を行う中央図書館では、生涯学習センター30周年記念事業(メディアパーク30祭)の事務局として、市民参加型の多様なイベントを企画・運営する。

(2) 市民満足度の高いサービスの維持・発展

市民の利便性向上に繋がる業務改善や運営体制の見直しも検討し、持続可能な図書館サービスを目指すため、次期「市川市図書館運営基本計画」の方向性について検討するとともに、現在の計画及び実施計画に基づき、誰もが利用しやすい図書館づくりを推進ために、蔵書構築やレファレンス等図書館としての基本的な機能を維持し、職員の接遇の向上や利用促進や利用マナーについてのPRに積極的に取り組んでいく。

同時に、固定館だけでは補いきれない市北部地域を中心に自動車図書館、返却ポスト等を活用した非来館型サービスの充実を図る。

(3) 時代に見合った新しいサービスの導入

情報化社会・デジタル社会にふさわしい図書館づくりを推進するための図書館情報システムの導入を検討する。

また、第二次「市川市子どもの読書活動推進計画」を軸に、子どもの読書活動の推進に繋がる施策を企画立案する。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年実施（～平成6年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～） コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしゃかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入
		「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7年	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
	4月	小倉勲図書館長に就任

9 年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
	1 月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
	4 月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
10年	5 月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
	9 月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
	4 月	太刀川寛図書館長に就任
11年	4 月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
	6 月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
	12年	1 月 『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
12年	8 月	第1 みどり号廃車
	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4 市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2 公民館図書室（大野、西部）に図書館システム のパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	13年	3 月 市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催（22日）
13年	4 月	鈴木小夜子図書館長に就任
	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
	14年	3 月 『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
14年	4 月	漆原利一図書館長に就任 中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5 月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9 月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回 全国優良読書グループとして表彰される
15年	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
	3 月	第2 みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4 月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
15年	6 月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7 月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 C T I サーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8 月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼動開始
16年	4 月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6 月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	17年	4 月 「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞
17年	7 月	コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始
	10月	曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え 千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始
	18年	教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館
18年	4 月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
	6 月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7 月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
19年	10月	予約資料の宅配サービス開始
	3 月	累積版冊子『本のぼけっと 1 号～20号』刊行（20年 3 月カラー版刊行）
	4 月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
19年	9 月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
	20年	4 月 露木芳輝図書館長に就任
20年	6 月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
	7 月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8 月より和洋女子 大学と市立図書館資料の相互貸借開始（当面は館内閲覧）
	21年	4 月 中央、行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
21年	6 月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
	22年	2 月 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7 月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障がい者サービス用機器の寄贈を受ける

23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、満足度調査として毎年実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新
24年	3月	中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
	4月	図書館メールマガジンの配信を開始（平成30年10月20日第152号にて配信終了）
	10月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ BDSの更新
	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行
25年	4月	中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	7月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
	10月	宅配サービスがシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	2月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
26年	4月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	6月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	11月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	3月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催
27年	4月	「市川市立図書館運営基本計画」発行
	11月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	3月	中央図書館に教科書コーナー設置
	4月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
28年	7月	乳幼児向け利用券発行開始
	12月	行徳図書館資料をIC化し、自動貸出機を設置
29年	11月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
	30年	次期電算システム更新、IC化を見据えてワーキンググループを設置
	4月	富島淳一図書館長に就任 職員数42名
	6月	市川市中央図書館公式Facebook運用開始
31年	12月	コンピュータシステムを更新し、座席管理システム・デジタルサイネージ・書庫出納管理システム・デジタルアーカイブ等の導入
	3月	千葉県博図公連携事業「写真でつづる千葉県と鉄道」巡回展開催(博図公連携)
令和元年	4月	西部公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者登録等を図書館システムに一元化
	11月	大里宗行図書館長に就任 職員数41名
2年	2月	中央図書館、こどもとしょかんをIC化 自動貸出機・自動返却機・予約受取確認機を設置
	4月	行徳図書館に予約受取確認機を設置
	5月	中央図書館と行徳図書館に予約受取コーナーを新設
	6月	中央図書館ブラウジングコーナーを一部レイアウト変更
3年	1月	中央図書館ブラウジングコーナーを一部レイアウト変更 新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館（28日～5月31日）
	3月	臨時窓口を開設（1～7日） 県内に新型インフルエンザ特措法による緊急事態宣言の発出（7日～5月25日）
	4月	臨時窓口を開設（26～31日）
	6月	開館時間短縮による開館（2～14日まで17時、16～28日まで18時、7月1日より通常どおり）
4年	1月	2回目の緊急事態宣言発出（7日～3月21日）
	3月	全館臨時休館、臨時窓口の開設（8日～3月21日）
	4月	全館開館のうえ図書館サービスを再開（23日）
	6月	稲越市民図書室閉室（31日）
	7月	安永崇図書館長に就任 職員数39名
	8月	まん延防止等重点措置開始(20日～8月22日まで延長)に伴い閲覧席使用率4割の制限
	10月	生涯学習センター地下駐車場の一面にバイク置場9台を設置
	11月	菅野公民館に返却ポスト設置
	1月	大野と西部の公民館図書室で視聴覚資料の予約受付開始
	2月	中央図書館にSDGsコーナー設置（31日）
	3月	3回目の緊急事態宣言発出（23日～9月30日、解除後閲覧席使用率6割に緩和）
	4月	図書館ウェブサイトの全面リニューアル(29日)
	5月	市川東ロータリークラブから大型絵本用書架2台の寄贈を受け、大型絵本と大型紙芝居の個人貸出を開始
	9月	生涯学習センター駐輪場にシェアサイクルステーション8台を設置

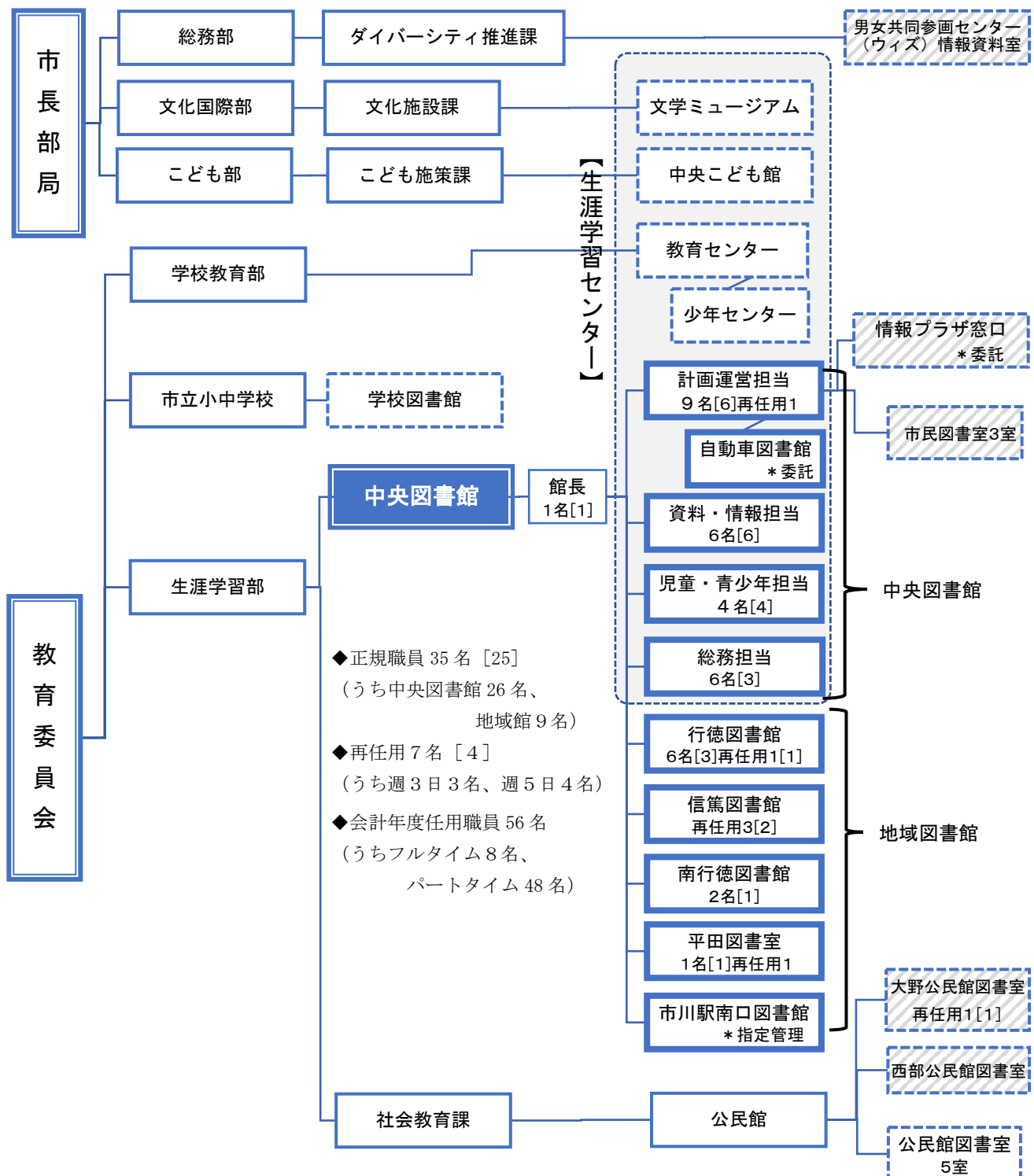
	9月	中央図書館ヤングアダルトルームに寄贈絵画「時の記憶」を設置
	10月	自動車図書館のステーションを北部中心に7か所増設し、25か所に拡大 「市川よみっこ運動」からビブリオバトル募金による児童書の寄贈を受け、中央・行徳・市川 駅南口図書館で紹介文POPを展示
	11月	行徳図書館・市川駅南口図書館のIC機器をリプレース
	12月	全館で座席利用の運用を見直し、一部の座席を学習席に変更したほか、中央図書館ブラウジングに新たにキャレルデスク6席を設置
5年	3月	市民提案型 図書館推し活企画を募集（22日）、令和5年度より順次採択 「市川市子どもの読書活動推進計画 第二次計画（令和5～7年度）」を策定
	4月	市川市中央図書館のSNSでの情報発信として、公式X（旧Twitter）運用開始
	6月	西部公民館・柏井公民館に返却ポスト設置
	8月	千葉商科大学外部利用者の入構再開（21日）に伴い、中央図書館と千葉商科大学との連携協定の内容を変更、予約受取再開は6年4月～
	10月	若宮公民館の児童ルームの本を総入替し、文化祭（22日）で読み聞かせを実施
6年	1月	本八幡駅開催のフード&ブックドライブ（14日）から、図書館へ約2,000冊の寄贈を受ける
	3月	寄付金（故・渡邊二郎氏の家族）により、市役所第一庁舎返却ポストを新たにリニューアル 同じく若宮公民館にも新たに返却ポストを設置 市川よみっこ運動からビブリオバトル募金による児童書の寄贈を受ける
	4月	米田有貴子図書館長に就任 職員数35名

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

令和6年4月1日現在

- ・ の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設
- ・ の施設は、図書館費で運営している関連施設
- ・ 人数横の[]内の数字は司書有資格者数



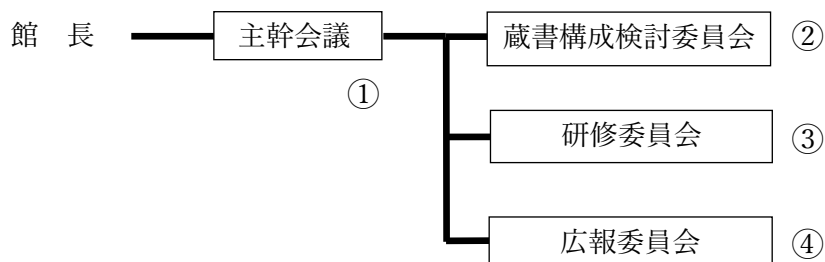
図書館正規職員数

館名	担当	正規職員		再任用		総数		司書率
			司書		司書		司書	
図書館長		1	1			1	1	
中央	計画運営担当	9	6	2（大野 1）	1	11	7	63.6%
	資料・情報担当	6	6			6	6	100 %
	児童・青少年担当	4	4			4	4	100 %
	総務担当	6	3			6	3	50 %
	合計	26	20	2	1	28	21	75 %
平田		1	1	1	0	2	1	50 %
行徳		6	3	1	1	7	4	57.1%
信篤		0	0	3	2	3	2	66.7%
南行徳		2	1	0	0	2	1	50 %
全館		35	25	7	4	42	29	69.0%
			71.4%		57.1 %		69.0%	

【参考】市川駅南口（指定管理者制度を導入）	19	15	78.9%
-----------------------	----	----	-------

（２）委員会・会議等

令和 6 年 4 月 1 日現在

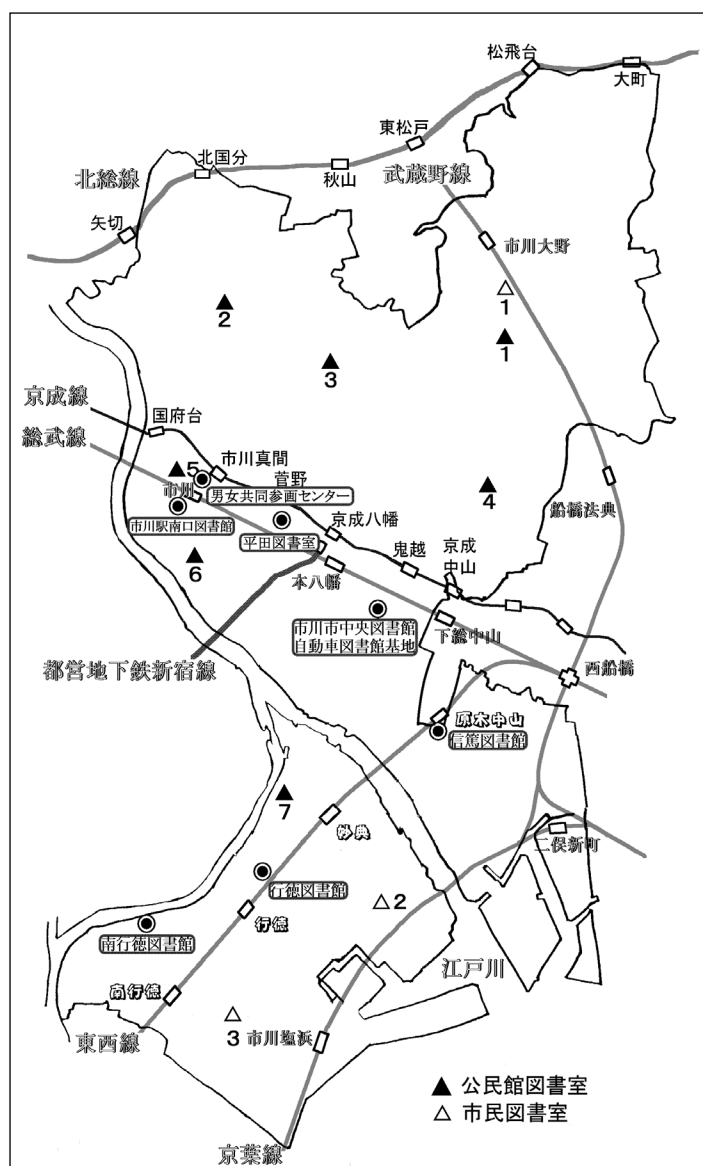


○各会議・委員会の役割

	会 議 名	討 議 内 容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長・主幹で構成される。
②	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
③	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
④	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

図書館と関連施設の配置図

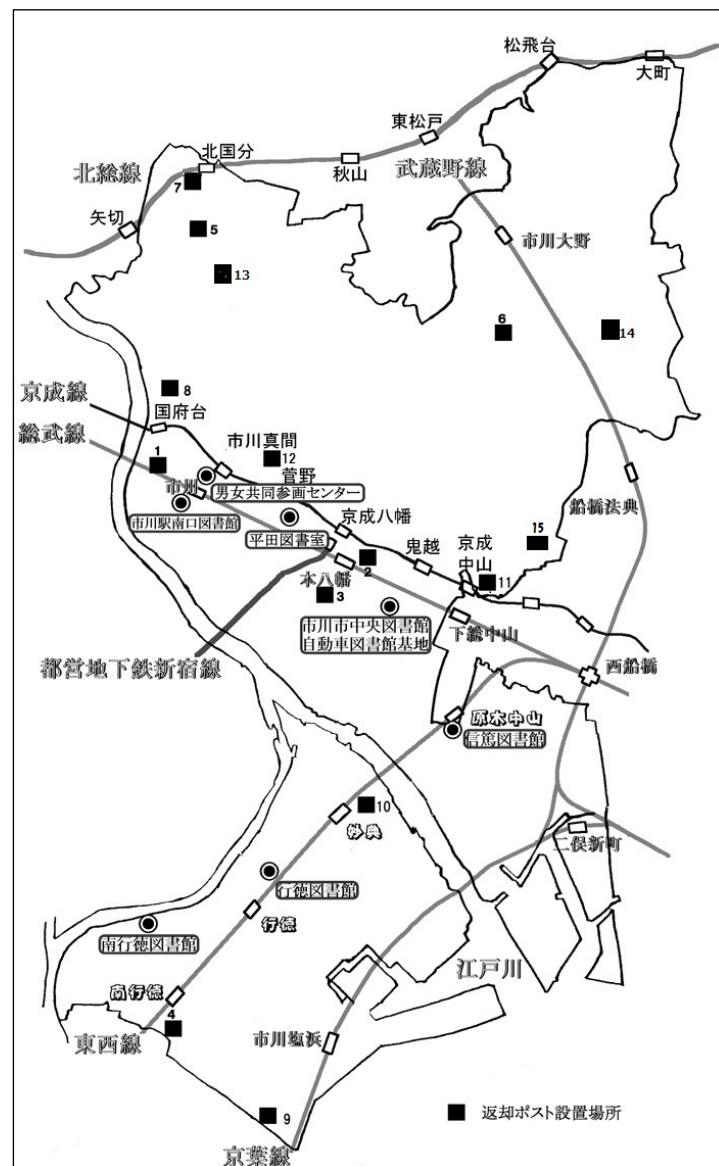


No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野 2 丁目
2	西部公民館図書室	中国分 2 丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷 6 丁目
4	東部公民館図書室	本北方 3 丁目
5	市川公民館図書室	市川 2 丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲 4 丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳 12

No.	市民図書室 (△)	所在地
1	大柏市民図書室	大野町 2 丁目
2	塩焼市民図書室	塩焼 5 丁目
3	福栄市民図書室	南行徳 2 丁目

令和 6 年 4 月 1 日現在

返却ポストの配置図



No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川 2 丁目	H14. 5
2	市役所第 1 庁舎[入替 R6. 3]	八幡 1 丁目	R 2. 12
3	情報プラザ 2 階	南八幡 4 丁目	H14. 5
4	南行徳市民センター[2 台]	南行徳 1 丁目	H14. 8
5	歴史博物館	堀之内 2 丁目	H15. 9
6	大野公民館 (大柏出張所)	南大野 2 丁目	H16. 8
7	ベルクス市川堀之内店	堀之内 3 丁目	H21. 4
8	千葉商科大学付属図書館	国府台 1 丁目	H17. 10
9	塩浜市民体育館	塩浜 4 丁目	H18. 7
10	イオン市川妙典店[4 台]	妙典 5 丁目	H19. 7
11	中山窓口連絡所	中山 4 丁目	H19. 7
12	菅野公民館	菅野 3 丁目	R 3. 6
13	西部公民館	中国分 2 丁目	R 5. 6
14	柏井公民館	柏井町 2 丁目	R 5. 6
15	若宮公民館	若宮 2 丁目	R 6. 3

6. 令和6年度施設概要

令和6年4月1日現在

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能 冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	平成元.4.15	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	368席	17席	168席	36席	14席	61席
うち一般	228席	8席	80席	17席	7席	20席
うち児童	61席	9席	68席	6席	7席	11席
その他	79席	-----	20席	13席	-----	30席
駐車場	共有(※1)95台	-----	共有69台	共有20台	-----	-----

※1：バイク置場設置のため減少

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047(320)3333(機械音声応答)
047(320)3346(直通)
FAX 047(320)3351

・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分

京成線鬼越駅より徒歩13分

・地下駐車場(95台)

・開館時間

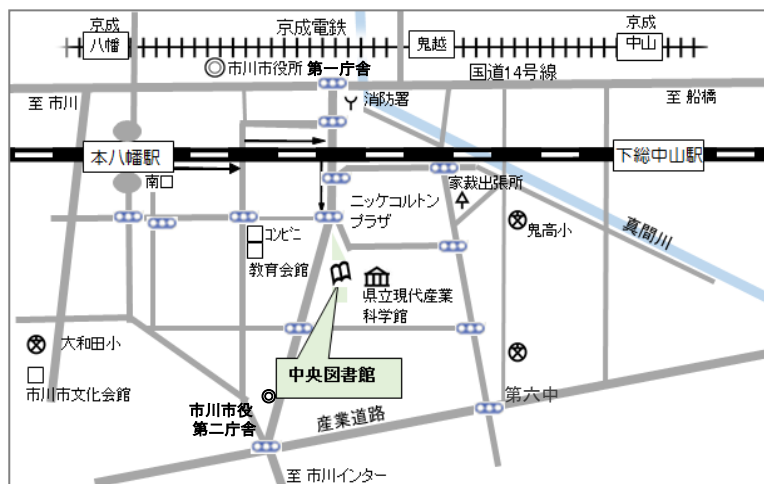
火曜～金曜 10:00～19:30

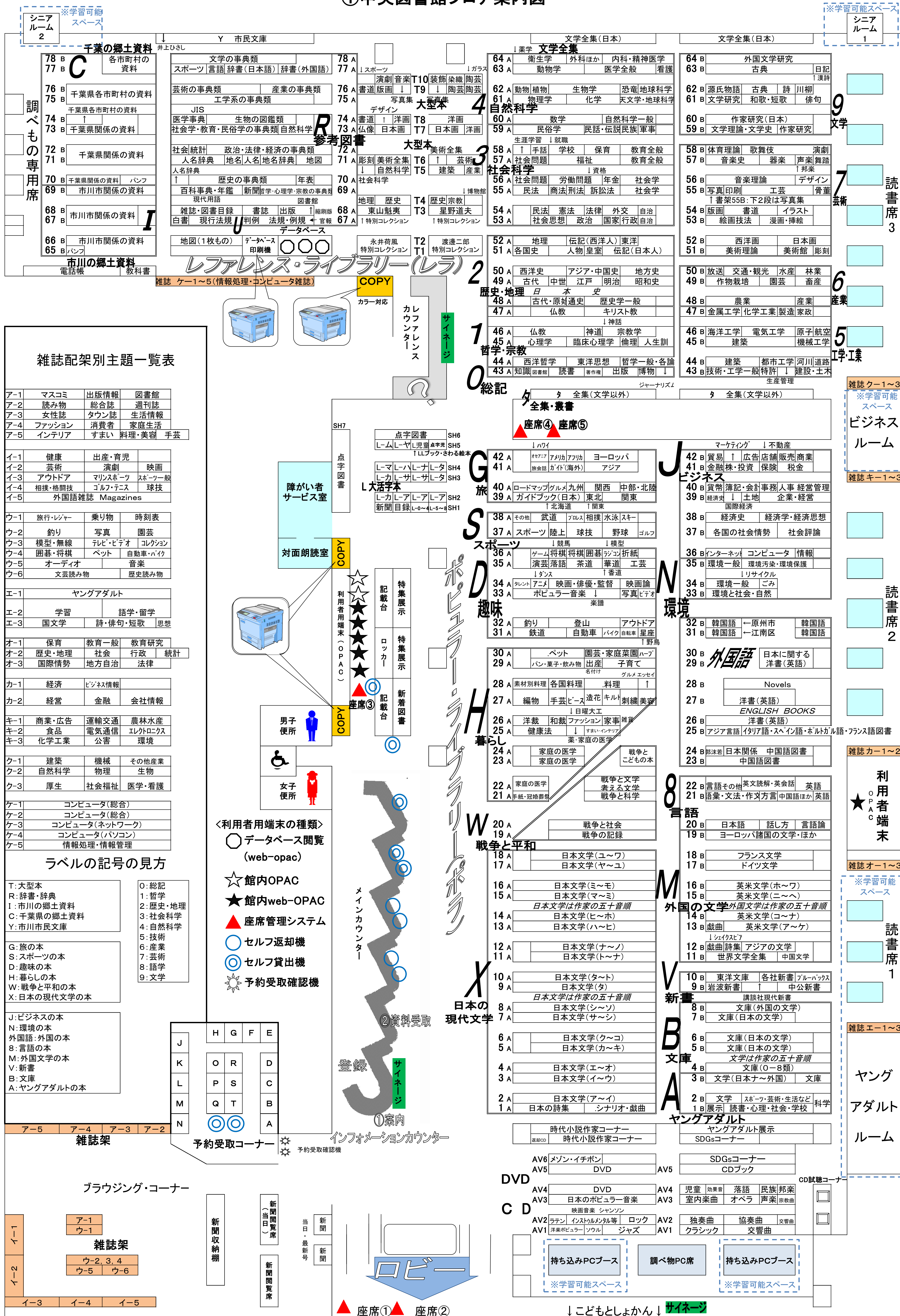
土・日・祝日 10:00～18:00

こどもとしゃかん

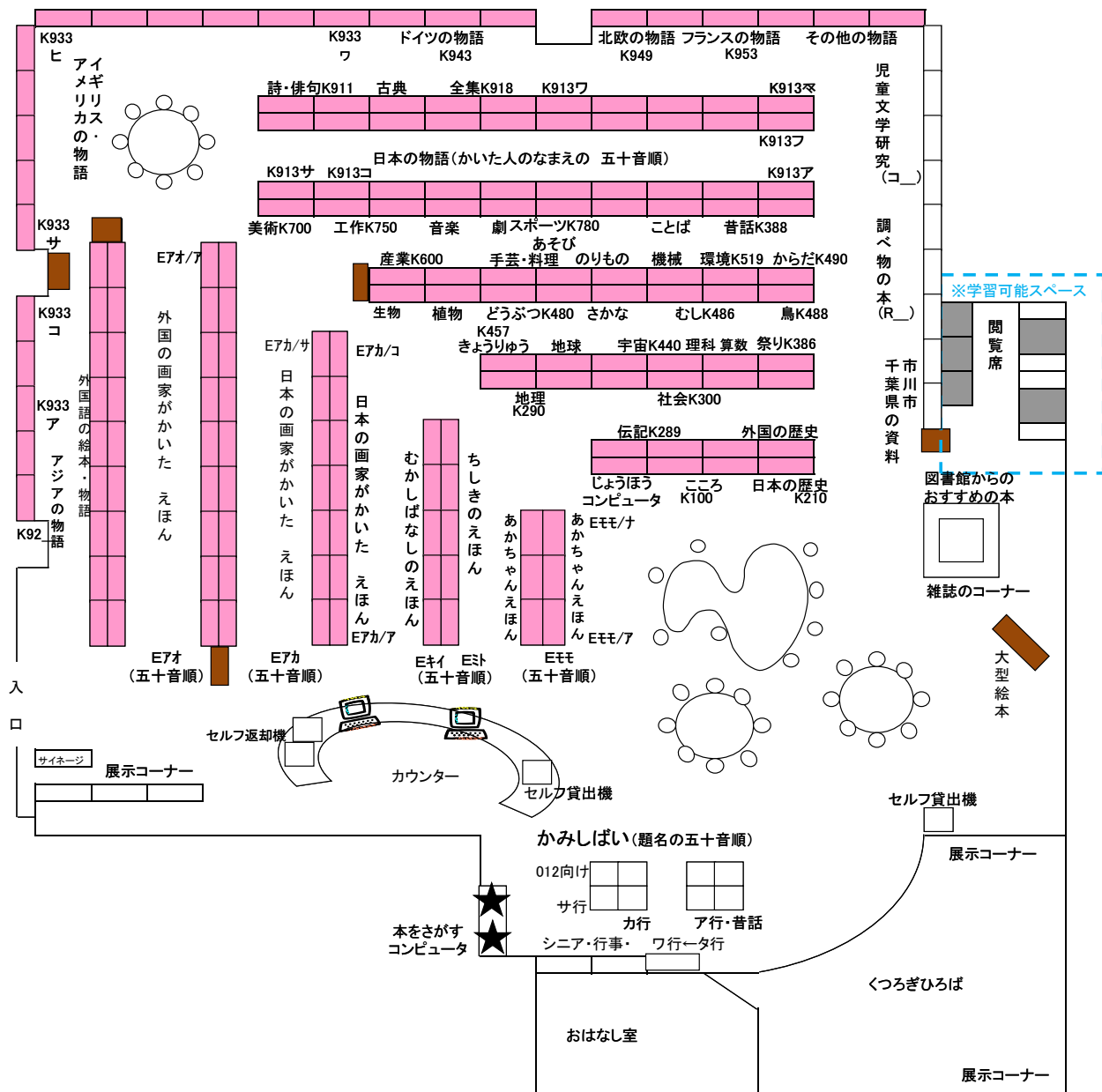
火曜～金曜 10:00～18:00

土・日・祝日 10:00～17:00





②こどもとしゃかんフロア案内図



市川市生涯学習センター
(メディアパーク市川)



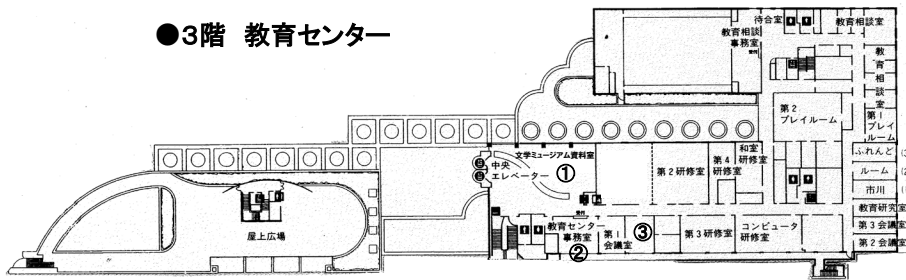
中央圖書館



こどもとしゃかん

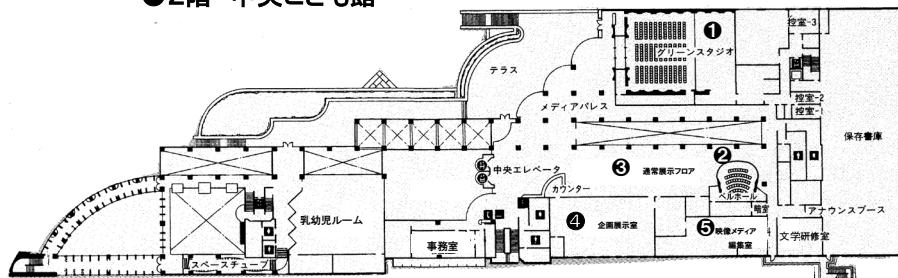
③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図

●3階 教育センター



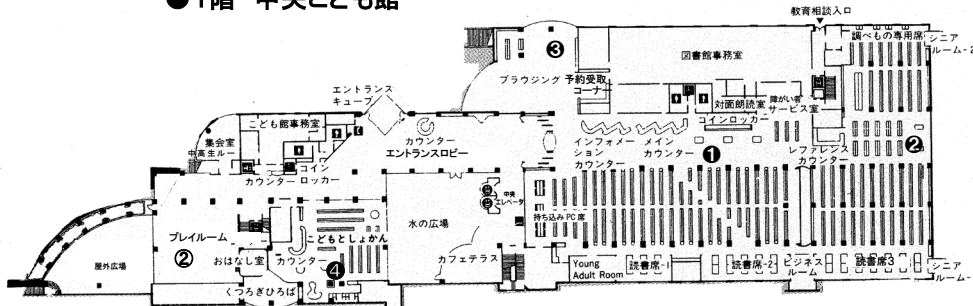
●2階 中央こども館

文学ミュージアム

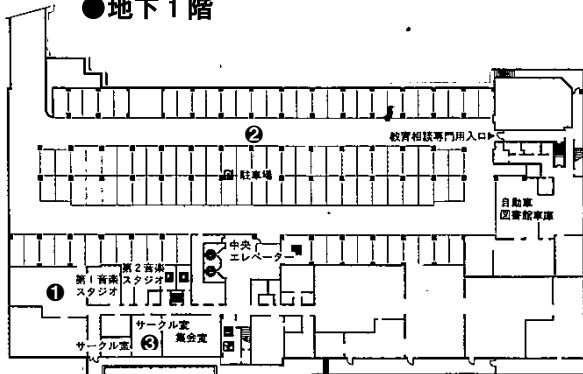


中央図書館

●1階 中央こども館



●地下1階



3階

①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。

②教育センター：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。

③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

2階

①文学ミュージアム：①～⑤

①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で260人を収容し、車イスへの対応も可能。

②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。

③通常展示フロア：映画・演劇・小説・詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。

④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。

⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

1階

①中央図書館：①～④

①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・DVDのコーナーも設けている。

②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。

③ブラウジングコーナー(軽読書席)：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。

④子どもとじょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃える。定期的になっこの会・えほんの会・おはなし会を開催。

②中央こども館：18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設。

地下1階

①音楽スタジオ：少人数の音楽練習向き。(担当課：2階①文学ミュージアム)

②地下駐車場：95台収容。(担当課：1階①中央図書館)

③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。(担当課：1階①中央図書館)

構成する施設(スペース)	専有面積	配賦割合	所管課
中央図書館	6,411.㎡	32.63%	中央図書館
文学ミュージアム	2,970.㎡	15.12%	文化施設課
教育センター・少年センター	2,233.㎡	11.37%	教育センター
中央こども館	1,655.㎡	8.42%	子ども家庭支援課
機械室・駐車場・共有部分	6,379.㎡	32.47%	中央図書館

(2) 自動車図書館「みどり号」

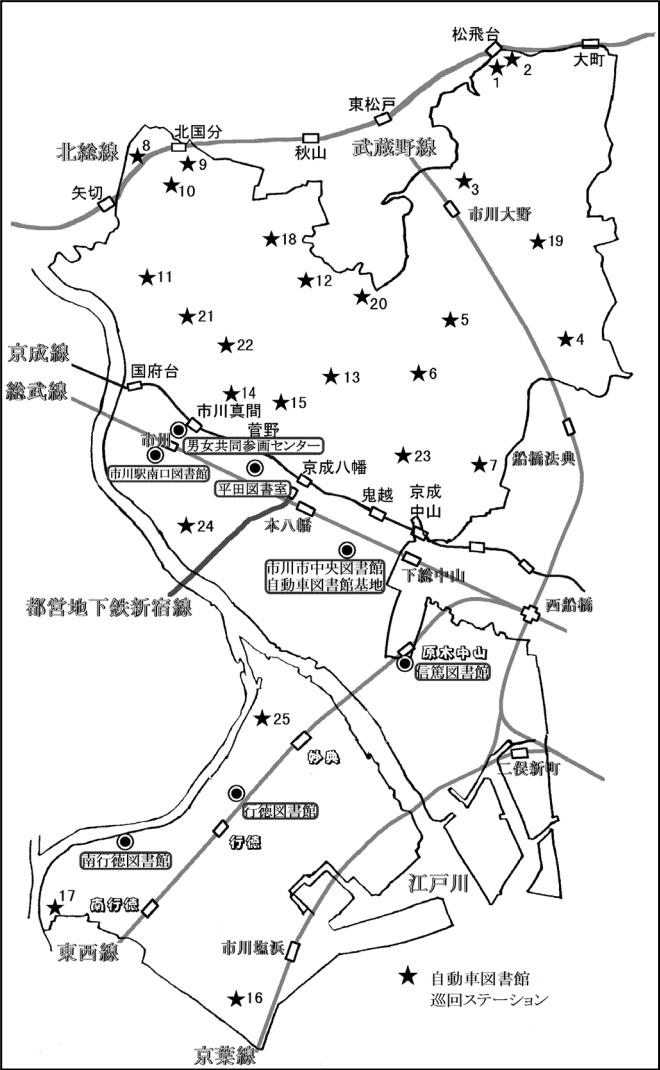
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障がいのある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等に向けて、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全25箇所、1ステーション当たり30分から40分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

なお、平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。

車両仕様

名称	みどり号（4代目）
登録番号	市川 810 さ 2022
車名・型式	いすゞ 2RG-NHR88AN
定員	3人
サイズ	長さ486cm・幅179cm・高さ260cm
燃料	軽油
総排気量	2.99k w
登録年月日	令和4年4月20日
製作	株式会社 林田製作所
積載冊数	1,200冊
※令和4年5月より本車両で運行開始。	



みどり号巡回表（令和6年4月1日現在）

	曜日	午 前	午 後
第1・3週	水	★18 稲越小学校 稲越3-21-8 10:20~11:00	★7 若宮児童公園 若宮3-20 1:30~2:00
	木	★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 10:20~10:50	★19 タム市川リハビリテーション病院 柏井町4-229-4 1:30~2:00
	金	★15 株クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★9 堀之内公園 堀之内3-2 1:30~2:00
第2・4週	火		★16 塩浜団地商店街広場 塩浜4-2 1:30~2:00
	水	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 1:30~2:00
	木	★13 西之下公園 (~R5.9 宮久保プレーパーク) 宮久保1-18-11 10:20~11:00	★10 歴史博物館 堀之内2-27-1 1:30~2:00
	金	★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★20 市営曽谷第1団地 曽谷2-7-1 1:30~2:00
			★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:30~3:00
			★3 みかど公園 (~R5.9 いこい荘) 大野町3-1649-2 2:30~3:00
			★22 石橋下公園 国分2-9 2:30~3:00
			★17 島尻西公園 島尻1 2:30~3:00
			★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 2:30~3:00
			★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 2:20~2:50
			★1 市営大町第1団地 大町95 2:30~3:00
			★23 北方第2公園 北方2-29-19 3:20~4:00
			★12 山王公園 曾谷5-16 3:20~4:00
			★14 菅野小学校 菅野6-14-1 3:20~4:00
			★25 行徳児童公園 本行徳12 3:20~4:00
			★24 大洲防災公園 大洲1-18 3:30~4:00
			★21 市川真間グループホーム 真間5-15-13 3:20~4:00
			★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:20~4:00

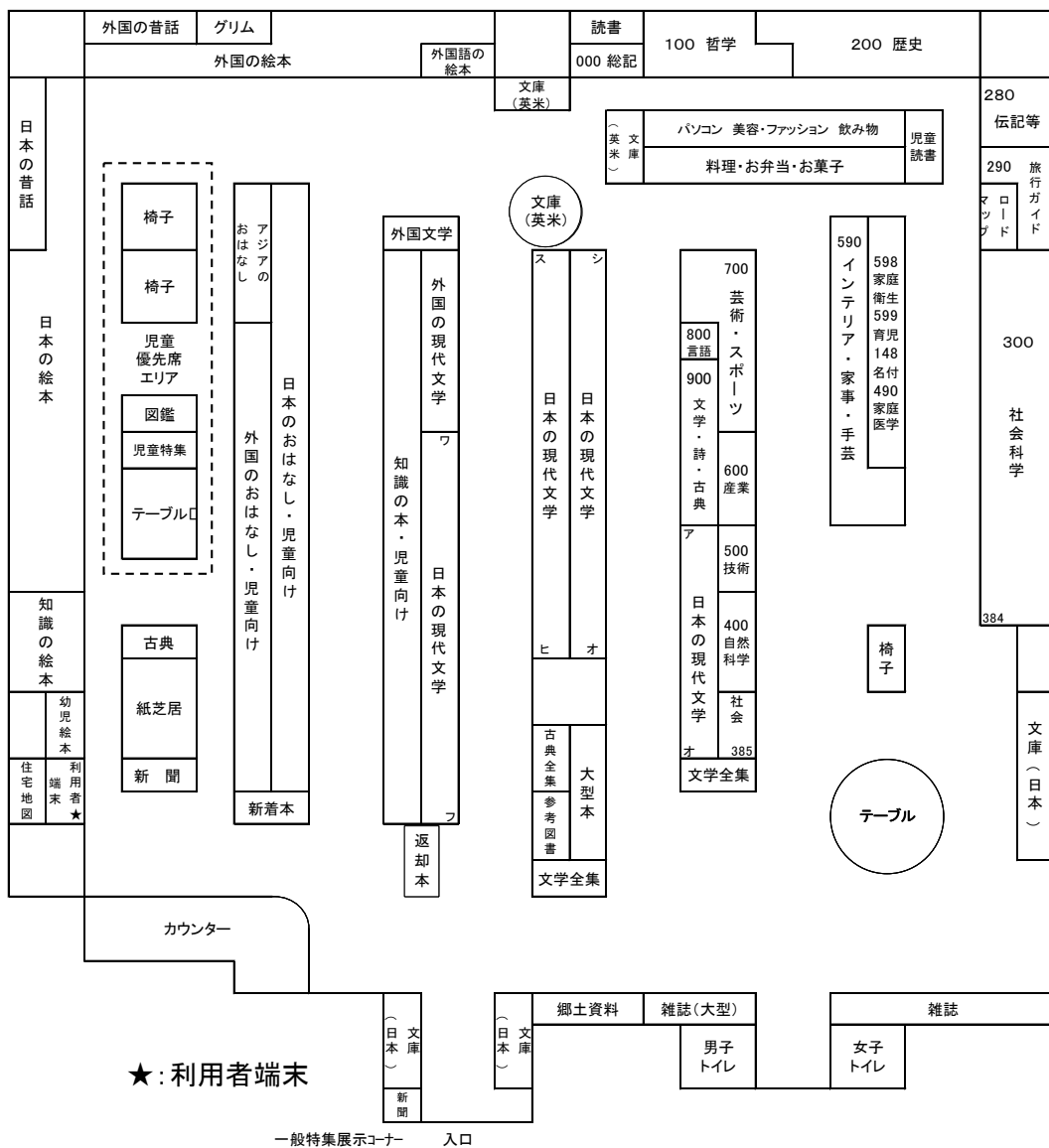
(3) 平田図書室

市川市平田 1-20-16 TEL 047 (321) 2243

FAX 047 (321) 2243



- ・ 交 通 京成菅野駅より徒歩8分
J 本八幡駅より徒歩10分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00

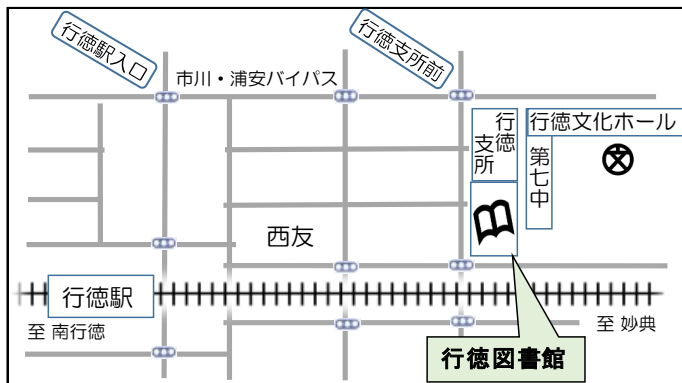


(4) 行徳図書館

市川市末広1-1-31

TEL 047 (358) 9011

FAX 047 (358) 9012



・交通 東西線行徳駅より徒歩5分

・開館時間

火曜～金曜

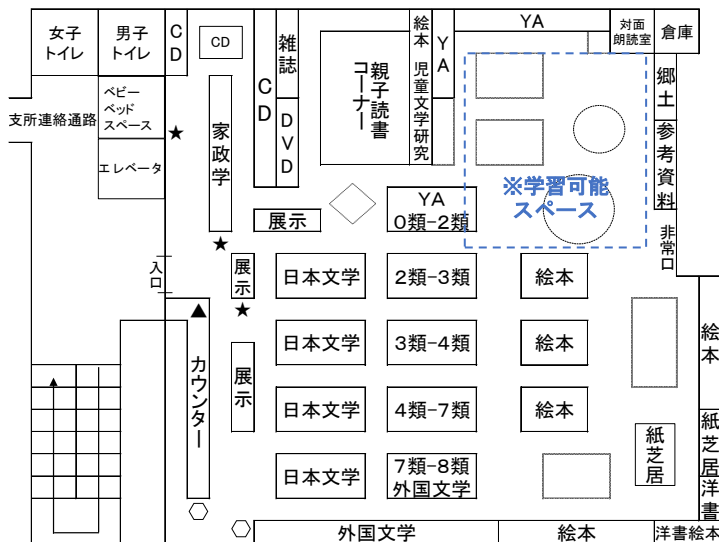
3階フロア・4階閲覧室 10:00～19:30

2階フロア 10:00～18:00

土・日・祝日 10:00～17:00

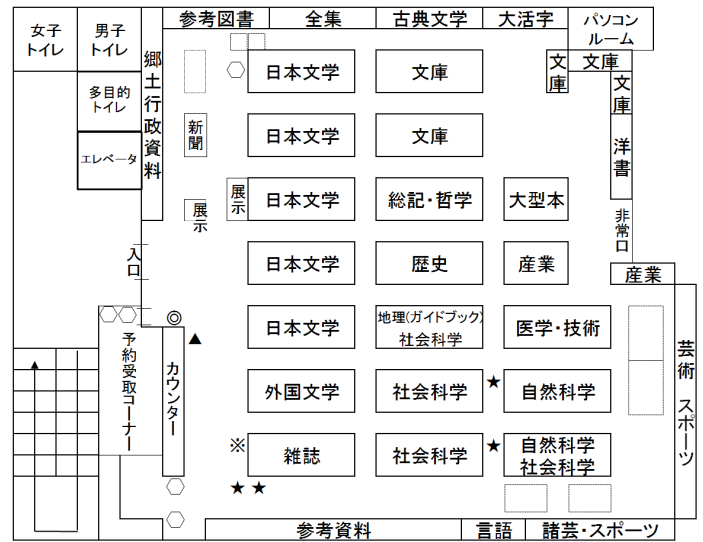


2階 こどもの本のフロア



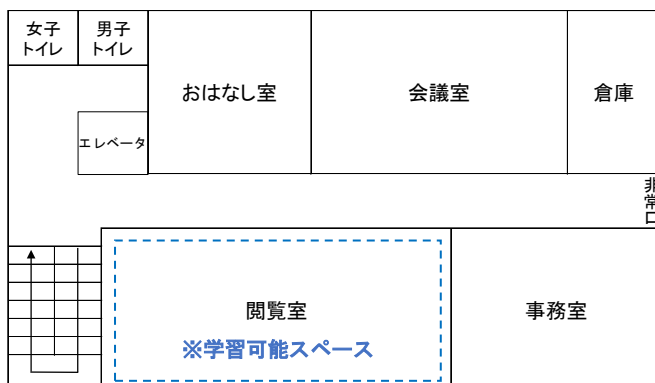
★:利用者端末 ○:自動貸出機 ▲:セルフ返却

3階 おとなの本のフロア

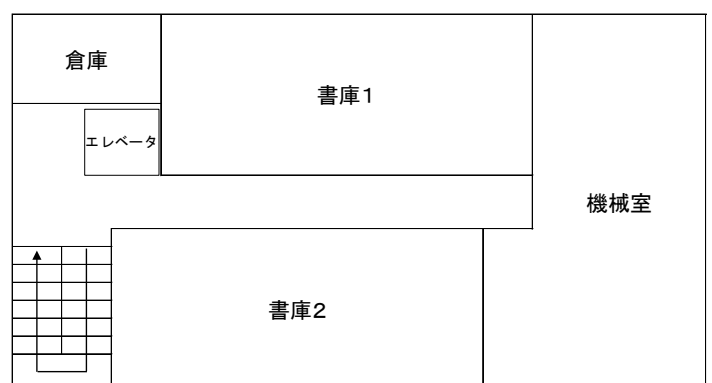


★:利用者端末 ○:自動貸出機 ※:コピー機 ▲:セルフ返却 ◎:予約確認機

4階 閲覧室・事務室など



5階 閉架書庫・機械室



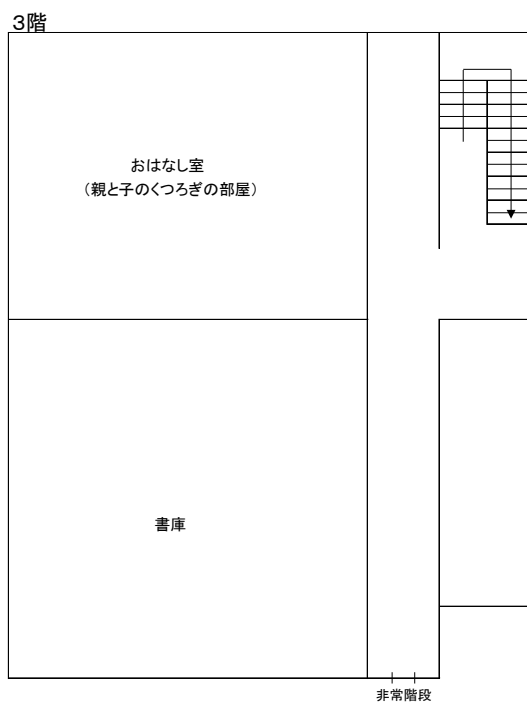
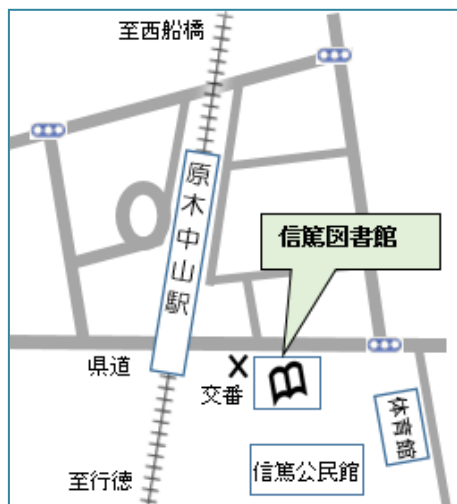
(5) 信篤図書館

市川市高谷 1 - 8 - 1

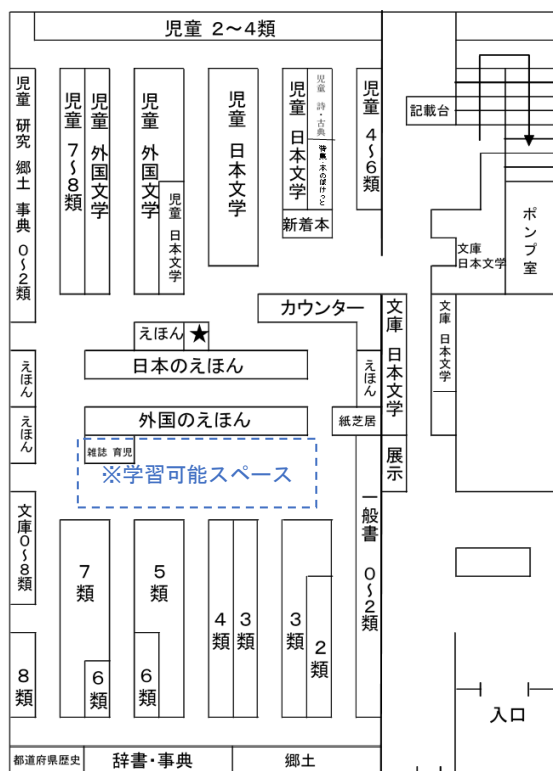
TEL 047 (328) 8831

FAX 047 (328) 8831

- ・ 交 通 東西線原木中山駅より徒歩 2 分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



1階



2階



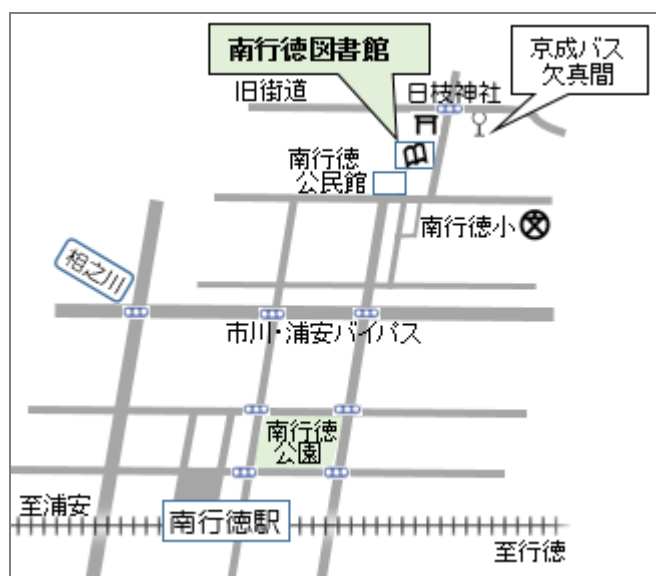
(6) 南行徳図書館

市川市相之川1-2-4

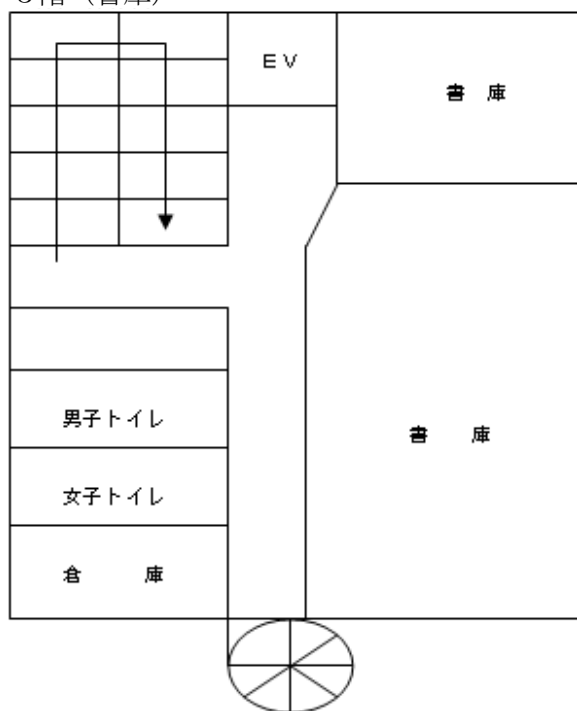
TEL 047 (357) 4188

FAX 047 (357) 4188

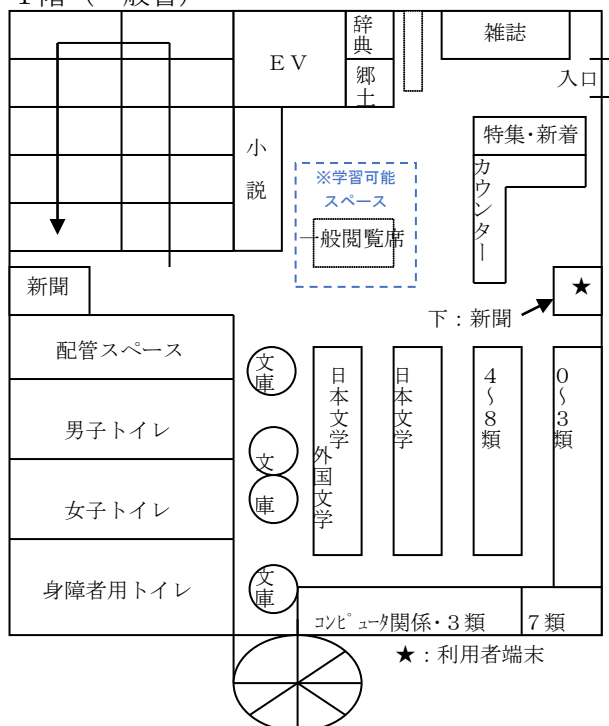
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



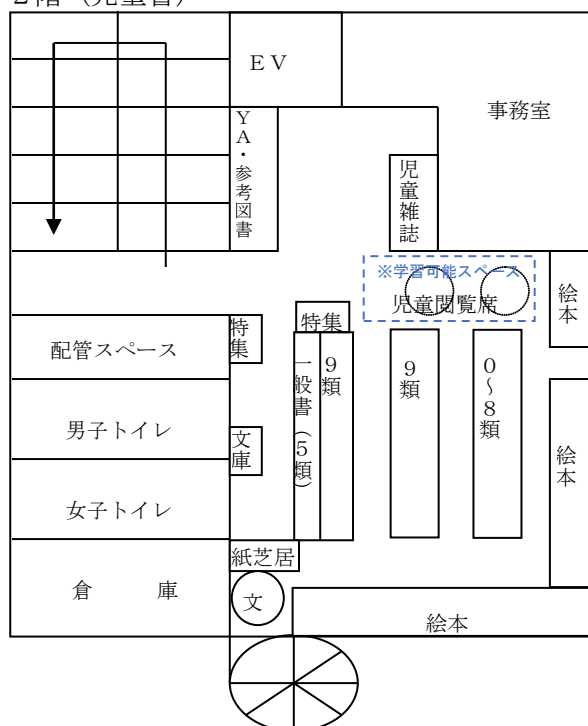
3階（書庫）



1階（一般書）



2階（児童書）



(7) 市川駅南口図書館

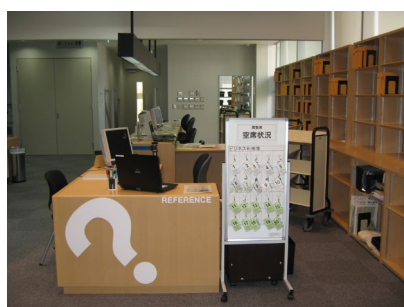
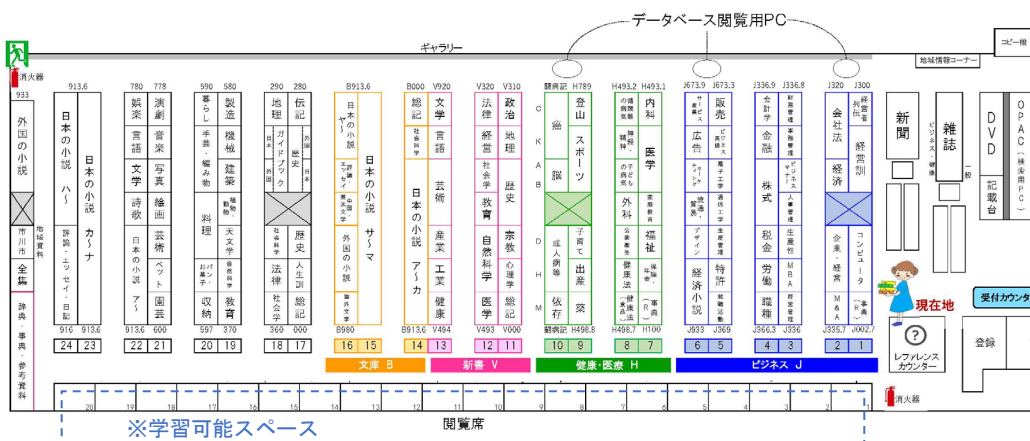
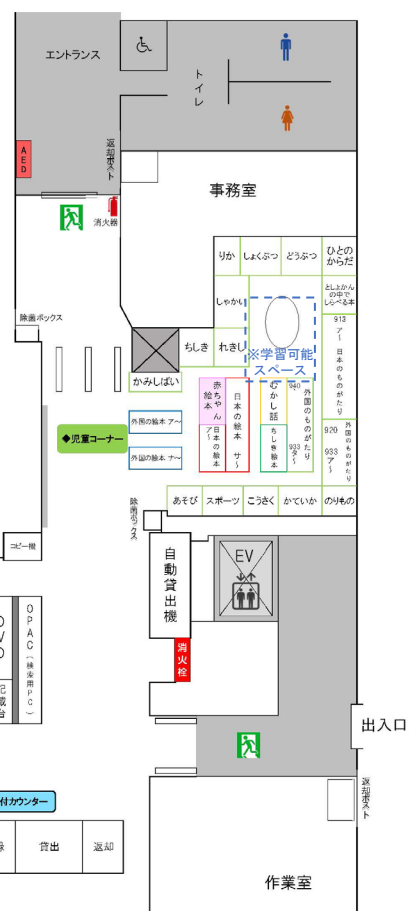
市川市市川南 1-10-1

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウェスト 3階

TEL 047 (325) 6241

FAX 047 (325) 6243

- ・交通 JR市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00
土・日・祝日 9:30～18:00



① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館の設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募 選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

平成22年	11月	平成21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定 21年度全期 第1次評価（担当者 7月9日）第2次評価（委員会 7月26日） 21年度上半期 第1次評価（担当者 1月14/15日）第2次評価（委員会 2月3日）
23年	8月	平成22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増 22年度全期 第1次評価（担当者 7月5日）第2次評価（委員会 7月29日） 22年度上半期 第1次評価（担当者 1月7日）第2次評価（委員会 2月8日）
24年	8月	平成23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日） 23年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（委員会 6月28日） 23年度上半期 第1次評価（担当者 1月6日）第2次評価（委員会 2月17日）
25年	2月	評価委員による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	7月	平成24年度選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7月31日） 24年度全期 第1次評価（担当者 6月14日）第2次評価（委員会 7月2日） 新評価項目による24年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 3月8日）
	11月	25年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
26年	8月	平成25年度モニタリング評価の決定 25年度全期第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 6月30日） 「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告（7月）
	12月	26年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 5日）
27年	8月	平成26年度モニタリング評価の決定 26年度全期 第1次評価（担当者 6月19日）第2次評価（評価委員会 7月16日）
	12月	新評価項目での27年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 18日）

平成28年	8月	平成27年度モニタリング評価の決定 27年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価（評価委員会7月14日）
	12月	平成28年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
29年	9月	平成28年度モニタリング評価の決定 28年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価並びに指定期間全体（24年～28年度）の評価（評価委員会 7月13日）
	12月	29年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 21日）
30年	10月	平成29年度モニタリング評価の決定 29年度全期 第1次評価（担当者 6月15日）第2次評価（評価委員会 7月12日）
	11月	平成30年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 27日）
令和元年	10月	平成30年度モニタリング評価の決定 30年度全期 第1次評価（担当者 6月13日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
	11月	令和元年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 14日）
2年	10月	令和元年度モニタリング評価の決定 元年度全期 第1次評価（担当者 6月11日）第2次評価（評価委員会 7月9日）
3年	1月	令和2年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 14日）
	10月	令和2年度モニタリング評価の決定 2年度全期 第1次評価（担当者 6月18日）第2次評価（評価委員会 7月8日）
	12月	令和3年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
4年	10月	令和3年度モニタリング評価の決定 3年度全期 第1次評価（担当者 6月17日）第2次評価並びに指定期間全体（平成29年～令和3年度）の評価（評価委員会 7月12日）
	12月	新評価項目での令和4年度上半期モニタリング第1次評価（担当者 22日）
5年	4月	「指定管理者のモニタリングに関する実施要領」「生涯学習部が所管する公の施設の指定管理者のモニタリングに係る評価委員会運営要領」全部改正
	10月	令和4年度モニタリング評価の決定 4年度全期 生涯学習部による評価（担当者 6月15日）生涯学習部による評価の手続き及び評価結果に関する意見交換（評価委員会 7月13日）

※モニタリングの流れ

指定管理者が前年度の年次報告書を提出（60日以内）
 前年度の全期（一年分の）モニタリング
 生涯学習部による評価（6月頃）
 評価委員会による意見交換（7月頃）
 選定審査会会長である副市長への報告で評価の決定（9～10月頃）

③ 更新

平成23年	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
	8月	指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
	10月	選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
	11月	定例教育委員会（10日）市川市市川駅南口図書館指定管理者の指定について（議案第37号）
	12月	12月議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出 委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決 指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
24年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	2期目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
26年	3月	（税率8%に伴う）変更基本協定書締結（31日）
28年	4月	（行政不服審査法の改訂に伴う）変更基本協定書締結（1日）
	5月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
	7月	指定管理者公募受付（7/7～14）に2社応募
	8月	選考委員会による1次審査（9日）

	10月	選定審査会による２次審査（12日）
	12月	定例教育委員会報告（1日）（第21号）
		12月議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出
		委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決
		指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス
平成29年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	3期目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）
令和元年	9月	（税率10%に伴う）変更基本協定書締結（30日）
3年	6月	公の施設の指定管理者候補者選定審査会（22日）
	8月	指定管理者公募受付（8/5～13）に2社応募
	9月	選考委員会による１次審査（30日）
	10月	選定審査会による２次審査（14日）
	11月	12月議会開会（29日）指定管理者の指定の議案（第50号）提出
	12月	定例教育委員会報告（6日）（第23号）
		委員長報告・本会議議決（7日）、議案第50号可決
		指定管理者の告示及び通知（28日）株式会社ヴィアックス
4年	3月	基本協定書締結（31日）
	4月	4期目の指定管理期間の開始（5年間:4/4/1～9/3/31）

評価一覧表 施設名:市川市市川駅南口図書館 指定管理者:(株)ヴィアックス 適用期間:令和4年度全期

No.	大項目	評価視点	1ヵ年度		上半期	
			評価	評価点	評価	評価点
1	利用者アンケートの実施等に関すること	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B	2	－	－
2	利用者の要望及び苦情に関すること	利用者の要望及び苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	B	2	B	2
3		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2	B	2
4	職員の配置・補充体制に関すること	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2	B	2
5※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2	B	2
6☆		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2	B	2
7	個人情報の保護に関すること	利用者の個人情報は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3	A	3
8☆	指定管理者の経理に関すること	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2	B	2
9☆	文書管理に関すること	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2	B	2
10☆	提出書類に関すること	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2	B	2
11※	施設賠償責任保険の付保に関すること	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2	B	2
12※	第三者への一括委託に関すること	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2	B	2
13※	施設の目的外使用に関すること	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2	B	2
14☆	市の財産の管理に関すること	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2	B	2
15☆	施設・備品の維持管理・修繕に関すること	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2	B	2
16		備品は適正に管理しているか。	B	2	B	2
17	施設の状況に関すること	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2
18	事故・緊急事態の対応に関すること	事故防止、安全対策がされているか。	B	2	B	2
19		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	A	3	B	2
20※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2	B	2
21	公共性の尊重に関すること	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2	B	2
22※	法令等の遵守に関すること	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2	B	2
23	情報の公開に関すること	情報の公開に努めているか。	B	2	B	2
24☆	指定管理者の経営状況に関すること	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2	－	－
25	図書館サービス業務に関すること	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	B	2	A	3
26		市川駅南口図書館の特徴を活かしたサービス(駅前情報拠点、地域との連携)を展開しているか。	A	3	A	3
27		市川駅南口図書館の特徴を活かしたサービス(ビジネス支援、健康・医療情報提供)を展開しているか。	A	3	A	3
28		ICTを活用したサービスを展開しているか。	A	3	A	3
29		非来館・非接触型サービスを展開しているか。	A	3	B	2
30		行事は適切に行われているか。	A	3	A	3
31		PR活動等の努力が行われているか。	A	3	A	3
32☆		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
33		貸出返却業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
34		予約業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
35		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	B	2	B	2
36		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	A	3	B	2
37		資料管理業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
38		書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2
合計点			85		79	
総合評価			良		良	

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

☆:B・C・Dの3段階で評価→6,8～10,14,15,24,32

※:B・Dの2段階で評価→5,11～13,20,22

その他の項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

②総合評価の方法

全38項目(令和4年度全期)

総合評価	合計評価点
優	100点～90点
良	89点～60点
可	59点～ 点
改善	D評価あり

全36項目(令和4年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	95点～85点
良	84点～57点
可	56点～ 点
改善	D評価あり

(8) 関連施設

① 市民図書室 (p. 49)

図書室名	住所・電話番号	開室日・開室時間	床面積	開設年月日
塩 焼 市 民 図 書 室 (塩焼読書センター)	市川市塩焼5-9-8 047 (397) 6823	水・土・日曜 10:00～16:00	135.0㎡	昭和56年10月8日
福 栄 市 民 図 書 室	市川市南行徳2-2-1 047 (395) 5020	水・土・日曜 10:00～16:00	112.5㎡	昭和60年10月5日
大 柏 市 民 図 書 室	市川市大野町2-1877 047 (338) 7897	水・土・日曜 10:00～16:00	315.0㎡	平成3年4月1日

② 公民館図書室 (p. 49)

公民館図書室名	住所・電話番号	貸出日・時間	床面積
大 野 公 民 館 図 書 室	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	水曜～金曜 9:30～12:00 13:00～17:00 火・土・日曜 9:30～17:00	127.0㎡
西 部 公 民 館 図 書 室	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜～日曜 9:30～12:00 13:00～17:00	112.0㎡
曾 谷 公 民 館 図 書 室	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	水・木・土・日曜 9:30～12:00 13:00～16:30	144.0㎡
東 部 公 民 館 図 書 室	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火・水・土曜 9:30～12:00 13:00～16:30	81.0㎡
市 川 公 民 館 図 書 室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	水・土曜 9:30～12:00 13:00～16:30	40.5㎡
市 川 駅 南 公 民 館 図 書 室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	水・日曜 9:30～12:00 13:00～16:30	31.4㎡
本 行 徳 公 民 館 図 書 室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水・金・土・日曜 9:30～12:00 13:00～16:30	170.0㎡

③ 男女共同参画センター(ウィズ)情報資料室 (p. 50)

住所・電話番号	開室日	交通	床面積
市川市市川1-24-2 市川西消防署4階 047 (322) 6700	水・土・日曜(祝日は除く) 9:30～17:00	J R 市川駅 京成市川真間 駅より徒歩5分	93.0㎡

④ いちかわ情報プラザ (p. 50)

住所・電話番号	利用時間	交通
市川市南八幡4-2-5 いちかわ情報プラザ2階 047 (314) 0811	火曜～金曜 10:00～19:30 土・日・祝日 10:00～18:00 (第4日曜日は除く)	J R 本八幡駅南口より徒歩1分

7. 令和6年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	対 前 年 度 比
総 額	279,514,000	268,357,000	11,157,000
一般会計	176,800,000	166,800,000	10,000,000
特別会計	79,795,000	79,027,000	768,000
公営企業会計	22,919,000	22,530,000	389,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	対 前 年 度 比
一般会計のうち教育費	15,349,000 (一般会計の8.7%)	14,602,000 (一般会計の8.8%)	747,000
教育費のうち図書館費	224,594 (教育費の1.5%)	217,185 (教育費の1.5%)	7,409

(3) 図書館費

(単位：千円)

	令和6年度当初予算額	細 節	令和5年度当初予算額
総 計	224,594		217,185
7. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	63
8. 旅 費	6	◎職員旅費 6	6
10. 需 用 費	86,762	◎消耗品費 69,406 ◎定期刊行物費 9,449 ◎印刷製本費 1,581 ◎燃料費 111 ◎光熱水費 3,516 ◎物品等修繕料 300 ◎自動車修繕料 145 ◎施設修繕料 2,250 ◎医薬材料費 4	77,105
11. 役 務 費	1,406	◎通信運搬費 1,035 ◎手数料 371	1,868
12. 委 託 料	114,596	◎委託料 114,596	115,422
13. 使用料及び 賃借料	8,288	◎使用料 5,859 ◎賃借料 2,429	7,315
17. 備品購入費	1,516	◎事業用機械器具費 143 ◎図書費 1,373	3,484
18. 負担金補助 及び交付金	11,932	◎負担金 11,932	11,922
26. 公 課 費	25	◎自動車重量税 25	0

(4) 館別資料費

○ 図 書 館

(単位：千円)

館 名	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
中 央	28,355 (24,687)	1,194 (2,625)	29,549 (27,312)	425 (425)	5,415 (5,185)	35,389 (32,922)
行 徳	7,747 (6,475)	179 (309)	7,926 (6,784)	304 (304)	1,690 (1,607)	9,920 (8,695)
信 篤	2,696 (1,952)	0 (0)	2,696 (1,952)	0 (0)	557 (528)	3,253 (2,480)
南行徳	2,696 (1,952)	0 (0)	2,696 (1,952)	0 (0)	568 (539)	3,264 (2,491)
平 田	2,696 (1,952)	0 (0)	2,696 (1,952)	0 (0)	524 (495)	3,220 (2,447)
市川駅南口	2,775 (2,575)	0 (0)	2,775 (2,575)	294 (294)	678 (650)	3,747 (3,519)
図書館 リクエスト	14,094 (12,150)	0 (0)	14,094 (12,150)	0 (0)	0 (0)	14,094 (12,150)
合 計	61,059 (51,743)	1,373 (2,934)	62,432 (54,677)	1,023 (1,023)	9,432 (9,004)	72,887 (64,704)

○ 図書館関連施設

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	56 (56)	0 (0)	56 (56)	0 (0)	17 (16)	73 (72)

○ 公民館図書室（大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	2,970 (2,080)	0 (0)	2,970 (2,080)	0 (0)	0 (0)	2,970 (2,080)

消耗品図書に、大野・西部図書室のリクエスト予算160千円分を含む。

○ 市民図書室（塩焼・福栄・大柏の3図書室）

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
市 民 図書室	837 (840)	0 (0)	837 (840)	0 (0)	0 (0)	837 (840)

○ 資料費総計

(単位：千円)

	図 書 費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合 計
	消耗品図書	備品図書	計			
総 計	64,922 (54,719)	1,373 (2,934)	66,295 (57,653)	1,023 (1,023)	9,449 (9,020)	76,767 (67,696)

※ () 内は令和5年度当初予算額

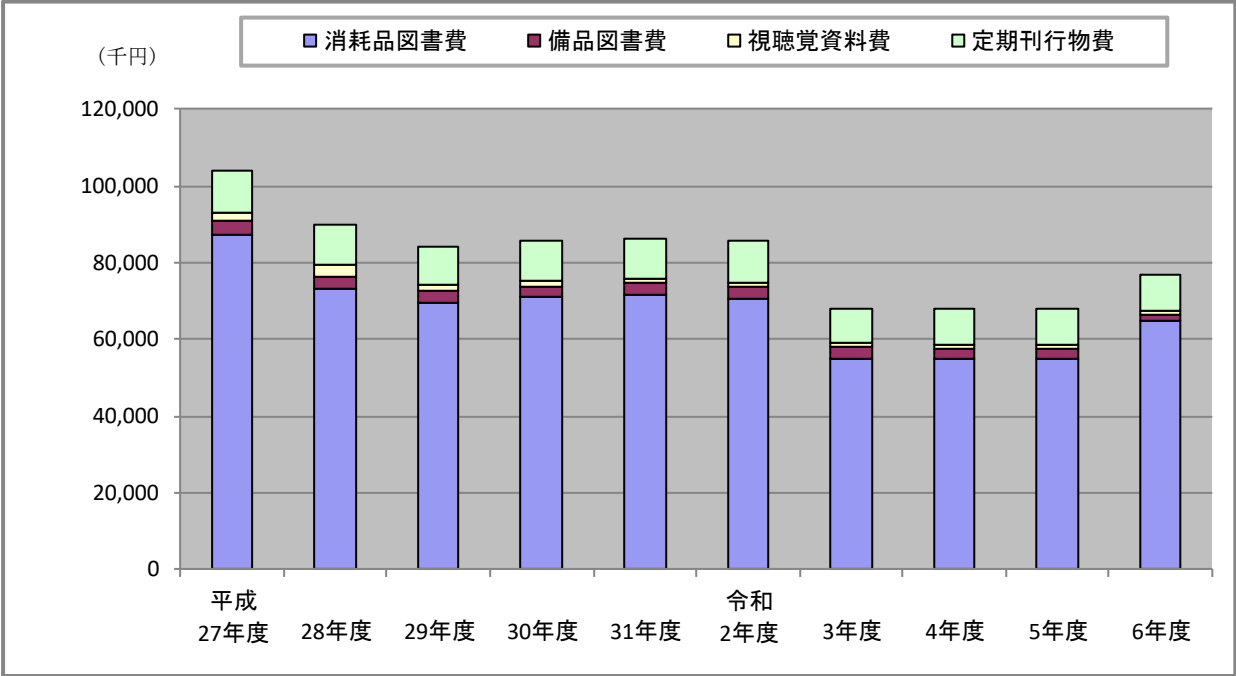
※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

○資料費当初予算額の推移

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
図書費	91,088	76,398	72,564	73,937	74,694	73,650	57,959	57,653	57,653	66,295
消耗品図書費	87,520	72,980	69,549	70,922	71,681	70,562	55,026	54,719	54,719	64,922
備品図書費	3,568	3,418	3,015	3,015	3,013	3,088	2,934	2,934	2,934	1,373
視聴覚資料費	2,121	2,911	1,485	1,306	1,308	1,290	1,216	1,023	1,023	1,023
消耗品費	1,451	2,157	855	793	811	727	496	473	473	880
備品購入費	670	754	630	513	497	563	720	550	550	※143
定期刊行物費	10,645	10,645	10,303	10,343	10,343	10,536	9,032	9,019	9,020	9,449
合 計	103,854	89,954	84,352	85,586	86,345	85,476	68,208	67,695	67,696	76,767

※備品図書の基準価格変更の為



8. 令和5年度統計
(1) 蔵書冊数

(単位：冊)								
一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,724	56	312	2,560	390	325	336	15,703
1哲学	23,910	216	723	3,298	1,170	754	698	30,769
2歴史	32,755	276	1,513	8,900	1,902	1,490	2,167	49,003
3社会科学	59,482	476	2,362	15,619	2,847	2,567	1,520	84,873
4自然科学	29,084	408	1,470	6,184	1,873	1,622	963	41,604
5技術	21,670	1,828	2,853	8,478	3,184	2,741	5,456	46,210
6産業	9,278	115	691	2,938	798	598	839	15,257
7芸術	37,024	343	2,094	9,624	2,655	1,635	2,802	56,177
8言語	10,185	44	389	2,025	493	361	477	13,974
9文学	51,301	7,245	8,845	29,295	11,753	8,587	7,397	124,423
郷土行政	58,291	0	387	4,053	673	545	522	64,471
参考資料	28,163	0	149	2,149	331	219	406	31,417
外国語資料	13,849	0	0	739	0	0	0	14,588
障がい者資料	9,948	260	0	714	0	0	0	10,922
コーナー別資料	283,418	0	4,455	21,764	9,874	6,416	47,127	373,054
一般計	680,082	11,267	26,243	118,340	37,943	27,860	70,710	972,445

(単位：冊)								
児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	542	26	95	285	189	86	69	1,292
1哲学	533	17	108	231	87	68	53	1,097
2歴史	4,649	78	505	1,590	437	516	392	8,167
3社会科学	4,356	106	507	1,601	386	517	404	7,877
4自然科学	9,105	482	1,347	2,924	1,090	1,287	1,135	17,370
5技術	3,063	222	472	1,218	392	470	504	6,341
6産業	1,754	82	254	636	168	251	221	3,366
7芸術	3,711	289	611	1,429	680	587	601	7,908
8言語	987	22	172	350	138	157	131	1,957
9文学	27,226	1,836	3,846	10,306	4,001	4,851	3,022	55,088
E絵本	37,215	2,638	6,515	16,520	5,532	6,179	6,348	80,947
P紙芝居	1,345	142	238	547	140	238	310	2,960
児童郷土	1,258	0	4	330	78	16	0	1,686
児童参考	818	0	17	167	47	23	76	1,148
児童研究	2,866	0	0	594	67	135	0	3,662
児童計	99,428	5,940	14,691	38,728	13,432	15,381	13,266	200,866

図書計	779,510	17,207	40,934	157,068	51,375	43,241	83,976	1,173,311
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)								
図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,876	0	818	6,715	1,265	1,071	1,006	57,751
ビデオ	322	0	0	7	0	0	0	329
DVD	2,037	0	0	502	0	0	982	3,521
CD	11,665	0	0	7,355	0	0	0	19,020
その他付録等	748	0	6	69	2	3	50	878
図書以外計	61,648	0	824	14,648	1,267	1,074	2,038	81,499

総計	841,158	17,207	41,758	171,716	52,642	44,315	86,014	1,254,810
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

		大野公民館図書室	18,021	市川駅南公民館図書室	7,049	図書館以外 市民図書室 公民館図書室 その他 合計	164,400
塩焼市民図書室	19,799	西部公民館図書室	15,777	本行徳公民館図書室	17,735		
福栄市民図書室	20,677	曾谷公民館図書室	13,505	公民館図書室計	92,790		
大柏市民図書室	15,933	東部公民館図書室	11,616	ウィズ情報資料室	15,201		
市民図書室計	56,409	市川公民館図書室	9,087	その他計	15,201		

他施設含む総計 1,419,210

(1-2) 分野別蔵書冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	19,738	0	302	2,557	391	405	383	23,776
千葉県	25,770	0	85	1,496	282	140	139	27,912
市民文庫	6,562	0	0	0	0	0	0	6,562
特別コレクション	6,221	0	0	0	0	0	0	6,221
合計	58,291	0	387	4,053	673	545	522	64,471

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,592	0	0	703	0	0	0	7,295
中国語	3,955	0	0	9	0	0	0	3,964
韓国語	1,642	0	0	20	0	0	0	1,662
ドイツ語	126	0	0	1	0	0	0	127
フランス語	360	0	0	1	0	0	0	361
スペイン語	309	0	0	1	0	0	0	310
ポルトガル語	123	0	0	1	0	0	0	124
イタリア語	223	0	0	0	0	0	0	223
西洋の諸言語	52	0	0	3	0	0	0	55
東洋の諸言語	467	0	0	0	0	0	0	467
合計	13,849	0	0	739	0	0	0	14,588

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,460	0	0	0	0	0	0	3,460
音訳図書	1,336	0	0	0	0	0	0	1,336
DAISY図書	695	0	0	0	0	0	0	695
大活字本	3,063	260	0	714	0	0	0	4,037
CDブック	1,170	0	0	0	0	0	0	1,170
文芸カセット	13	0	0	0	0	0	0	13
布の絵本	137	0	0	0	0	0	0	137
その他	74	0	0	0	0	0	0	74
合計	9,948	260	0	714	0	0	0	10,922

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	20,222	0	0	2,551	31	1,577	0	24,381
B文庫	56,435	0	4,394	18,606	9,843	4,839	12,706	106,823
V新書	14,811	0	61	607	0	0	12,704	28,183
M外国文学	18,806	0	0	0	0	0	0	18,806
N環境	4,979	0	0	0	0	0	0	4,979
Jビジネス	34,727	0	0	0	0	0	12,585	47,312
X日本文学	57,833	0	0	0	0	0	0	57,833
W平和	9,263	0	0	0	0	0	0	9,263
H暮らし	30,297	0	0	0	0	0	※ 9,132	39,429
D趣味	20,970	0	0	0	0	0	0	20,970
Sスポーツ	5,670	0	0	0	0	0	0	5,670
G旅行	9,405	0	0	0	0	0	0	9,405
合計	283,418	0	4,455	21,764	9,874	6,416	47,127	373,054

※市川駅南口のHは「健康医療」

(1-3) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	98,974	1,029,770
令和元年度	646,925	10,197	25,998	120,091	34,197	27,034	73,967	96,449	1,034,858
令和2年度	654,645	10,597	26,999	121,161	35,217	27,528	73,647	103,933	1,053,727
令和3年度	662,731	10,644	26,632	117,967	35,284	27,650	72,929	90,177	1,044,014
令和4年度	672,331	10,947	26,754	118,428	36,742	27,843	72,196	90,554	1,055,795
令和5年度	680,082	11,267	26,243	118,340	37,943	27,860	70,710	90,996	1,063,441

b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	77,514	272,911
令和元年度	93,599	6,444	14,319	36,446	12,586	15,019	14,596	77,817	270,826
令和2年度	96,381	6,701	14,692	37,437	12,868	15,268	13,537	75,683	272,567
令和3年度	96,193	5,839	14,885	37,622	12,898	15,472	13,739	71,679	268,327
令和4年度	98,106	5,783	14,971	38,381	13,196	15,567	13,628	71,720	271,352
令和5年度	99,428	5,940	14,691	38,728	13,432	15,381	13,266	72,382	273,248

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	176,488	1,302,681
令和元年度	740,524	16,641	40,317	156,537	46,783	42,053	88,563	174,266	1,305,684
令和2年度	751,026	17,298	41,691	158,598	48,085	42,796	87,184	170,163	1,316,841
令和3年度	758,924	16,483	41,517	155,589	48,182	43,122	86,668	161,856	1,312,341
令和4年度	770,437	16,730	41,725	156,809	49,938	43,410	85,824	162,274	1,327,147
令和5年度	779,510	17,207	40,934	157,068	51,375	43,241	83,976	163,378	1,336,689

d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	60,669	0	1,349	14,057	1,515	1,165	2,311	1,683	81,066
令和元年度	60,728	0	741	13,568	1,676	1,133	2,289	888	80,135
令和2年度	61,284	0	858	13,255	1,751	1,245	2,326	942	80,719
令和3年度	61,212	0	808	12,530	1,597	1,203	2,117	968	79,467
令和4年度	61,411	0	792	13,203	1,262	1,117	2,081	944	80,860
令和5年度	61,648	0	824	14,648	1,267	1,074	2,038	1,022	82,521

e) 総計の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	796,723	16,567	41,973	170,657	47,283	43,715	90,341	178,171	1,385,430
令和元年度	801,252	16,641	41,058	170,105	48,459	43,186	90,852	175,154	1,386,707
令和2年度	812,310	17,298	42,549	171,853	49,836	44,041	89,510	171,105	1,398,502
令和3年度	820,136	16,483	42,325	168,119	49,779	44,325	88,785	162,824	1,392,776
令和4年度	831,848	16,730	42,517	170,012	51,200	44,527	87,905	163,268	1,418,007
令和5年度	841,158	17,207	41,758	171,716	52,642	44,315	86,014	164,400	1,419,210

(2) 分類別貸出冊数

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	4,745	64	532	5,073	376	563	1,831	13,184
1哲学	23,192	325	1,370	12,838	1,615	1,777	8,452	49,569
2歴史	18,652	653	3,054	25,340	3,314	3,050	18,192	72,255
3社会科学	32,316	455	2,648	28,228	3,173	3,870	13,010	83,700
4自然科学	18,090	360	1,659	13,430	1,898	1,926	6,417	43,780
5技術	16,274	1,807	4,378	26,694	3,980	4,749	22,575	80,457
6産業	4,730	215	541	5,051	673	1,002	2,964	15,176
7芸術	16,608	231	1,215	11,964	2,058	1,744	8,689	42,509
8言語	9,747	78	409	4,316	686	547	2,676	18,459
9文学	23,764	7,465	9,478	61,237	10,361	10,268	38,911	161,484
郷土行政	3,670	8	117	921	102	120	982	5,920
参考資料	602	0	4	26	2	4	50	688
外国語資料	2,303	16	46	745	41	48	280	3,479
障がい者資料	5,377	250	22	1,267	14	49	427	7,406
コーナー別資料	467,618	2,075	17,385	124,336	30,945	21,157	171,306	834,822
一般計	647,688	14,002	42,858	321,466	59,238	50,874	296,762	1,432,888

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1,016	22	109	547	106	180	442	2,422
1哲学	1,334	53	152	724	106	84	430	2,883
2歴史	6,121	52	288	2,292	280	342	1,830	11,205
3社会科学	6,776	89	493	2,996	444	411	2,257	13,466
4自然科学	18,153	462	1,215	9,799	1,191	1,136	5,548	37,504
5技術	8,376	272	1,144	5,283	776	1,020	4,005	20,876
6産業	2,774	86	359	1,801	177	330	1,117	6,644
7芸術	8,702	526	943	4,841	722	682	3,463	19,879
8言語	1,530	22	134	808	105	169	563	3,331
9文学	70,956	2,277	8,431	35,486	4,860	5,496	26,580	154,086
E絵本	180,490	4,128	15,419	98,128	15,461	13,213	63,826	390,665
P紙芝居	5,165	167	275	2,718	233	382	1,557	10,497
児童郷土	441	1	2	206	10	0	13	673
児童参考	24	0	0	6	2	0	12	44
児童研究	769	5	11	339	11	16	115	1,266
児童計	312,627	8,162	28,975	165,974	24,484	23,461	111,758	675,441

図書計	960,315	22,164	71,833	487,440	83,722	74,335	408,520	2,108,329
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	37,410	256	2,610	20,479	3,266	4,808	10,400	79,229
ビデオ	57	0	1	26	0	0	1	85
DVD	9,024	0	54	1,982	91	185	3,691	15,027
CD	18,656	0	307	11,497	327	450	1,600	32,837
その他付録等	2,640	25	273	7,451	221	240	26,988	37,838
図書以外計	67,787	281	3,245	41,435	3,905	5,683	42,680	165,016

総計	1,028,102	22,445	75,078	528,875	87,627	80,018	451,200	2,273,345
----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

		大野公民館図書室	79,254	ウィズ情報資料室	3,382	図書館以外	
塩焼市民図書室	4,553	西部公民館図書室	56,957	情報プラザ	48,439	市民図書室	
福栄市民図書室	6,205	曽谷公民館図書室	9,024	千葉商科大学図書館	0	公民館図書室	
大柏市民図書室	1,367	東部公民館図書室	4,509	宅配	241	その他	
市民図書室計	12,125	公民館図書室計	149,744	その他計	52,062	合計	213,931

他施設含む総計 2,487,276

(2-2) 分野別貸出冊数内訳

(単位：冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,289	2	59	507	53	72	550	2,532
千葉県	901	3	20	286	34	14	217	1,475
市民文庫	813	1	26	85	8	17	114	1,064
特別コレクション	667	2	12	43	7	17	101	849
合計	3,670	8	117	921	102	120	982	5,920

(単位：冊)

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	1,533	12	45	669	34	40	201	2,534
中国語	643	4	1	43	6	2	61	760
韓国語	34	0	0	6	1	0	4	45
ドイツ語	10	0	0	13	0	0	3	26
フランス語	24	0	0	7	0	0	7	38
スペイン語	31	0	0	3	0	2	1	37
ポルトガル語	1	0	0	0	0	0	0	1
イタリア語	17	0	0	0	0	4	1	22
西洋の諸言語	4	0	0	4	0	0	1	9
東洋の諸言語	6	0	0	0	0	0	1	7
合計	2,303	16	46	745	41	48	280	3,479

(単位：冊)

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	225	8	1	9	0	6	8	257
音訳図書	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書	28	0	0	0	0	0	0	28
大活字本	3,250	242	16	1,101	14	39	316	4,978
CDブック	1,773	0	4	152	0	3	91	2,023
文芸カセット	0	0	0	0	0	0	0	0
布の絵本等	101	0	1	5	0	1	12	120
合計	5,377	250	22	1,267	14	49	427	7,406

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

(単位：冊)

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	270	0	0	0	0	0	0	270
音訳図書郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
DAISY図書郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
CDブック郵送	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	270	0	0	0	0	0	0	270

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

(単位：冊)

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	25,510	79	737	5,768	481	777	2,845	36,197
B文庫	141,010	649	11,191	89,639	24,693	14,590	93,574	375,346
V新書	9,867	69	593	1,907	413	379	15,451	28,679
M外国文学	7,312	28	143	826	136	159	1,297	9,901
N環境	1,234	1	22	95	16	20	117	1,505
Jビジネス	37,100	184	1,009	5,994	1,082	1,305	22,426	69,100
X日本文学	91,803	360	1,532	9,902	1,561	1,639	8,768	115,565
W平和	2,022	5	45	206	23	31	215	2,547
H暮らし	80,457	557	1,293	5,793	1,396	1,288	21,022	111,806
D趣味	26,519	77	309	1,641	556	359	2,387	31,848
Sスポーツ	8,258	29	82	619	201	72	561	9,822
G旅行	36,526	37	429	1,945	387	538	2,643	42,505
W1ウ行政	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	467,618	2,075	17,385	124,336	30,945	21,157	171,306	834,822

(2-3) 貸出冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	108,344	1,776,596
令和元年度	669,481	10,546	41,430	327,622	59,911	50,000	325,075	116,816	1,600,881
令和2年度	483,635	10,399	31,726	297,348	40,961	35,305	238,523	91,220	1,229,117
令和3年度	657,140	13,366	44,063	326,250	59,421	52,969	320,704	133,076	1,606,989
令和4年度	656,978	13,444	44,158	324,729	61,405	52,633	305,321	138,028	1,596,696
令和5年度	647,688	14,002	42,858	321,466	59,238	50,874	296,762	139,854	1,572,742

b) 児童書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	40,987	752,083
令和元年度	301,475	11,199	23,916	170,290	22,772	23,014	101,201	58,093	711,960
令和2年度	232,703	10,085	22,177	174,842	13,773	14,950	87,132	40,041	595,703
令和3年度	351,795	12,097	31,252	195,557	23,851	28,184	130,153	66,478	839,367
令和4年度	324,994	9,861	28,945	179,505	25,203	27,699	115,376	69,904	781,487
令和5年度	312,627	8,162	28,975	165,974	24,484	23,461	111,758	66,987	742,428

c) 全体(図書)の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	1,109,715	19,700	72,923	545,753	92,237	81,160	457,860	142,260	2,521,608
令和元年度	970,956	21,745	65,346	497,912	82,683	73,014	426,276	149,331	2,287,263
令和2年度	716,338	20,484	53,903	472,190	54,734	50,255	325,655	174,909	1,868,468
令和3年度	1,008,935	25,463	75,315	521,807	83,272	81,153	450,857	199,554	2,446,356
令和4年度	981,972	23,305	73,103	504,234	86,608	80,332	420,697	207,932	2,378,183
令和5年度	960,315	22,164	71,833	487,440	83,722	74,335	408,520	206,841	2,315,170

d) 図書以外の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	119,057	67	4,307	50,851	5,182	6,719	49,695	5,215	241,093
令和元年度	86,332	90	3,357	42,207	4,263	5,932	43,774	4,293	190,248
令和2年度	60,803	140	3,466	36,493	2,999	4,788	17,454	3,975	130,118
令和3年度	80,503	334	4,224	39,380	4,531	6,704	33,278	5,854	174,808
令和4年度	72,041	247	4,100	39,427	4,065	6,409	40,234	6,670	173,193
令和5年度	67,787	281	3,245	41,435	3,905	5,683	42,680	7,090	172,106

e) 総計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	154,546	2,769,772
令和元年度	1,057,288	21,835	68,703	540,119	86,946	78,946	470,050	179,202	2,503,089
令和2年度	777,141	20,624	57,369	508,683	57,733	55,043	343,109	135,236	1,954,938
令和3年度	1,089,438	25,797	79,539	561,187	87,803	87,857	484,135	205,408	2,621,164
令和4年度	1,054,013	23,552	77,203	543,661	90,673	86,741	460,931	214,602	2,551,376
令和5年度	1,028,102	22,445	75,078	528,875	87,627	80,018	451,200	213,931	2,487,276

(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.40	1.14	1.71	1.98	0.96	1.73	5.45	0.84
1哲学	0.97	1.50	1.89	3.89	1.38	2.36	12.11	1.61
2歴史	0.57	2.37	2.02	2.85	1.74	2.05	8.40	1.47
3社会科学	0.54	0.96	1.12	1.81	1.11	1.51	8.56	0.99
4自然科学	0.62	0.88	1.13	2.17	1.01	1.19	6.66	1.05
5技術	0.75	0.99	1.53	3.15	1.25	1.73	4.14	1.74
6産業	0.51	1.87	0.78	1.72	0.84	1.68	3.53	0.99
7芸術	0.45	0.67	0.58	1.24	0.78	1.07	3.10	0.76
8言語	0.96	1.77	1.05	2.13	1.39	1.52	5.61	1.32
9文学	0.46	1.03	1.07	2.09	0.88	1.20	5.26	1.30
郷土行政	0.06	---	0.30	0.23	0.15	0.22	1.88	0.09
参考資料	0.02	---	0.03	0.01	0.01	0.02	0.12	0.02
外国語資料	0.17	---	---	1.01	---	---	---	0.24
障がい者資料	0.54	0.96	---	1.77	---	---	---	0.68
ポピュラー	1.65	---	3.90	5.71	3.13	3.30	3.63	2.24
一般計	0.95	1.24	1.63	2.72	1.56	1.83	4.20	1.47

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
ポピュラー	1.26	2.50	0.67	0.39	0.25	1.07
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
1.65	1.59	0.22	2.66	1.26	1.46	3.88

市川駅南口	Jビジネス	H健康・医療	B文庫	V新書
コーナー別資料	1.78	2.30	7.36	1.22

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1.87	0.85	1.15	1.92	0.56	2.09	6.41	1.87
1哲学	2.50	3.12	1.41	3.13	1.22	1.24	8.11	2.63
2歴史	1.32	0.67	0.57	1.44	0.64	0.66	4.67	1.37
3社会科学	1.56	0.84	0.97	1.87	1.15	0.79	5.59	1.71
4自然科学	1.99	0.96	0.90	3.35	1.09	0.88	4.89	2.16
5技術	2.73	1.23	2.42	4.34	1.98	2.17	7.95	3.29
6産業	1.58	1.05	1.41	2.83	1.05	1.31	5.05	1.97
7芸術	2.34	1.82	1.54	3.39	1.06	1.16	5.76	2.51
8言語	1.55	1.00	0.78	2.31	0.76	1.08	4.30	1.70
9文学	2.61	1.24	2.19	3.44	1.21	1.13	8.80	2.80
E絵本	4.85	1.56	2.37	5.94	2.79	2.14	10.05	4.83
P紙芝居	3.84	1.18	1.16	4.97	1.66	1.61	5.02	3.55
児童郷土	0.35	---	0.50	0.62	0.13	0.00	---	0.40
児童参考	0.03	---	0.00	0.04	0.04	0.00	0.16	0.04
児童研究	0.27	---	---	0.57	0.16	0.12	---	0.35
児童計	3.14	1.37	1.97	4.29	1.82	1.53	8.42	3.36

図書計	1.23	1.29	1.75	3.10	1.63	1.72	4.86	1.80
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	0.80	---	3.19	3.05	2.58	4.49	10.34	1.37
ビデオ	0.18	---	---	3.71	---	---	---	0.26
DVD	4.43	---	---	3.95	---	---	3.76	4.27
CD	1.60	---	---	1.56	---	---	---	1.73

総計	1.22	1.30	1.80	3.08	1.66	1.81	5.25	1.81
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒ 1.98

◎年度推移

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
2.29	2.07	1.59	2.13	2.05	1.98

(4) リクエスト統計

令和5年度リクエスト受付施設別件数
(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	受付件数	構成比	前年比
中央	161,860	24.86%	96.0%
自動車	4,778	0.73%	107.3%
平田	21,111	3.24%	97.3%
行徳	141,253	21.69%	97.7%
信篤	23,652	3.63%	101.4%
南行徳	24,535	3.77%	93.8%
市川駅南口	155,435	23.87%	101.2%
図書館合計	532,624	81.80%	98.2%
ウィズ	1,758	0.27%	101.7%
情報プラザ	46,925	7.21%	102.3%
塩焼市民	4,007	0.62%	90.7%
福栄市民	5,845	0.90%	122.8%
大柏市民	1,431	0.22%	96.2%
大野公民	27,963	4.29%	96.0%
西部公民	17,205	2.64%	109.2%
曾谷公民	8,829	1.36%	110.5%
東部公民	4,270	0.66%	103.3%
千葉商大	30	0.005%	-
宅配	224	0.03%	81.2%
関連施設合計	118,487	18.20%	102.5%
総 計	651,111	100%	99.0%

リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
令和4年度	657,960	12,941	670,901
令和5年度	651,111	10,916	662,027

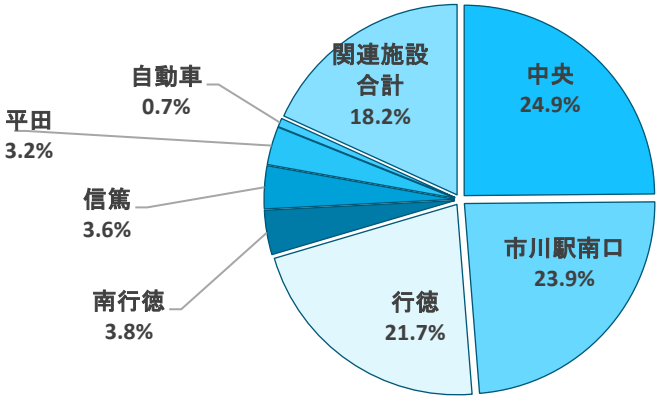
リクエスト処理別件数(図書・雑誌)

	市内 所蔵	購入	市外 借用	提供 不能	合計
平成30年度	480,591	8,076	5,527	450	494,644
令和元年度	493,412	8,217	4,847	388	506,864
令和2年度	574,680	8,217	3,152	282	585,134
令和3年度	675,941	8,315	6,365	384	691,005
令和4年度	643,363	8,232	5,999	366	657,960
令和5年度	636,211	8,420	6,176	304	651,111

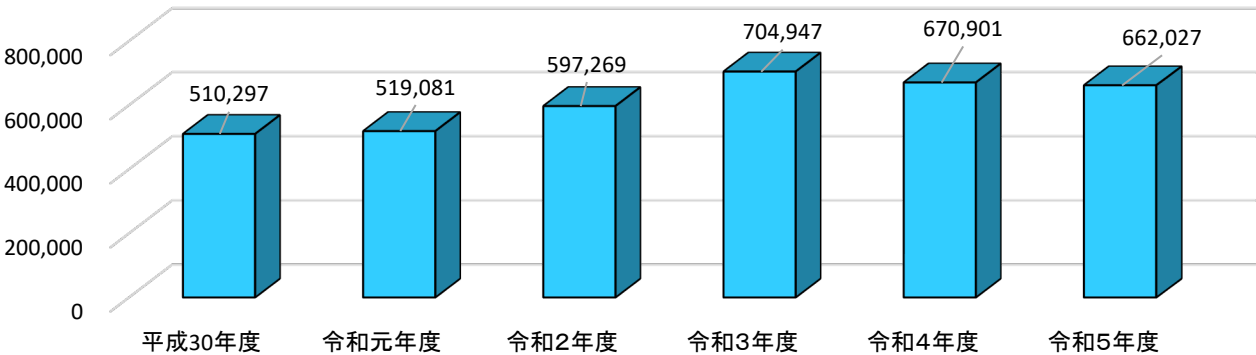
リクエスト資料別件数(視聴覚資料)

	C D	ビデオ	D V D	合計
平成30年度	12,895	118	2,640	15,653
令和元年度	9,846	77	2,294	12,217
令和2年度	9,063	4	3,068	12,135
令和3年度	10,746	9	3,187	13,942
令和4年度	10,119	6	2,816	12,941
令和5年度	8,240	3	2,673	10,916

リクエスト受付施設別件数構成比



リクエスト資料別総数の推移



(5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
令和2年度	3,678	65	118	1,650	181	212	1,457	14	140	47	7,562
令和3年度	6,059	71	182	2,690	291	356	2,416	4	229	103	12,401
令和4年度	5,737	79	177	2,542	247	341	2,540	4	236	120	12,023
令和5年度	5,552	46	131	2,504	270	321	2,355	4	216	97	11,496
計	21,026	261	608	9,386	989	1,230	8,768	26	821	367	43,482

有効登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	西部公	全館
令和2年度	45,348	351	1,625	17,505	2,485	2,552	19,591	127	2,029	579	92,192
令和3年度	40,840	342	1,688	17,075	2,294	2,199	18,751	120	2,136	838	86,283
令和4年度	39,578	321	1,777	17,903	2,194	1,971	18,979	116	2,238	1,006	86,083
令和5年度	39,099	277	1,750	18,127	2,270	1,964	18,908	87	2,280	1,038	85,800
内12歳以下	4,658	65	256	2,036	225	258	1,322	2	296	178	9,296

実利用者数	25,544	197	1,305	12,443	1,647	1,464	13,119	59	1,667	791	58,236
累積登録者数											656,043
更新者数											12,904

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。
※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)
※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。
※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)
※更新者数：令和5年度に更新した登録者数。
※数値には団体登録等も含む。

有効期限内隣接地域登録者 (単位：人)

	隣接	在勤	在学	障がい	計
船橋市	2,795	273	142	2	3,212
松戸市	630	95	60	0	785
鎌ヶ谷市	87	28	7	1	123
浦安市	77	24	20	0	121
江戸川区	208	0	0	0	208
計	3,797	420	229	3	4,449

※隣接地域登録者
隣接地域に居住している方は登録可。
図書5冊まで。視聴覚の貸出不可。予約不可。

(6) 延べ利用者数の推移

※令和3年度より公民館等図書室には各施設の蔵書の利用者数も含めている。
(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	公民館等図書室	全館
平成30年度	293,330	3,774	20,886	159,897	30,237	23,633	185,940	56,516	774,213
令和元年度	253,320	4,410	18,813	146,520	26,522	21,396	174,046	61,864	706,891
令和2年度	188,849	4,142	14,821	112,712	17,267	15,257	115,813	47,555	516,416
令和3年度	265,086	5,331	21,263	153,731	26,065	23,110	169,523	114,140	778,249
令和4年度	272,249	4,859	21,442	157,579	26,687	23,507	173,928	116,795	797,046
令和5年度	269,264	4,619	21,010	158,028	26,546	22,675	174,462	125,016	801,620

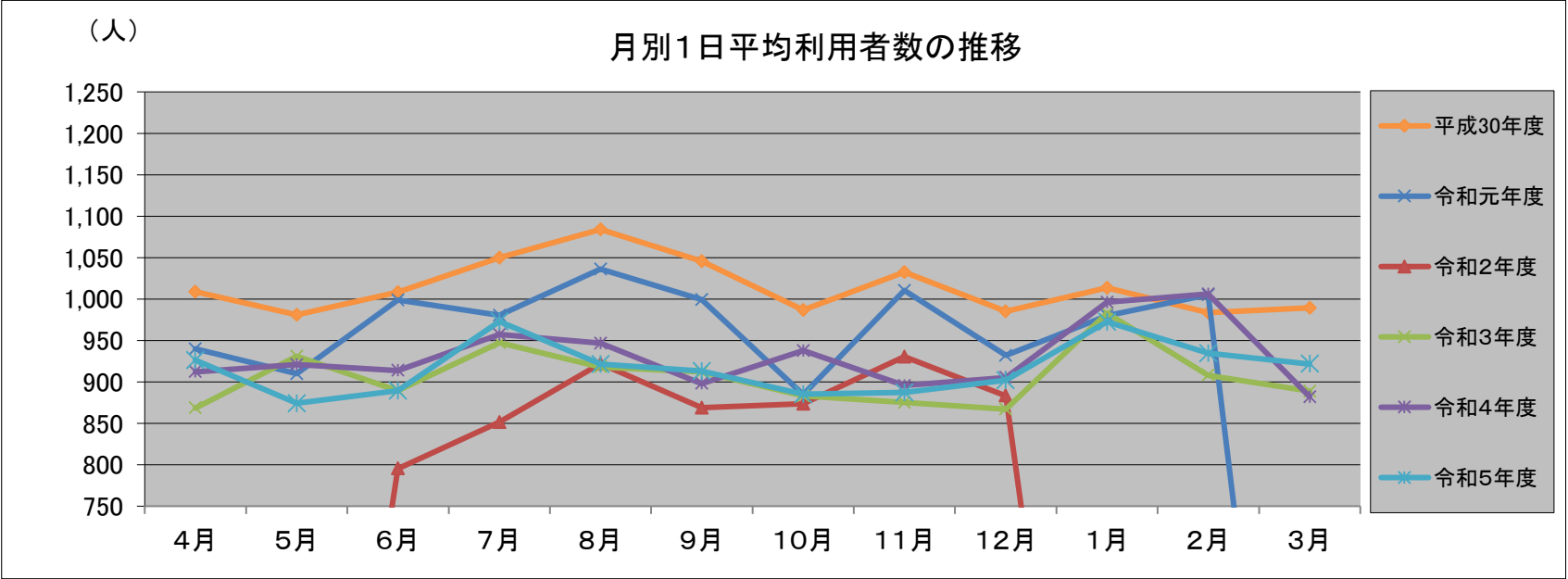
（ 7 ） 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※1 地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。
※2 令和2年度4月1日～5月31日、1月8日～3月21日 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館。
※3 令和2年度の数值には、臨時休館中に開設した臨時窓口での利用者数、貸出点数を含んでいる。

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	25	25	25	25	27	25	25	22	19	22	23	26	291
令和元年度	25	26	25	25	27	23	26	17	22	22	23	0	289
令和2年度	0	0	24	26	26	25	26	24	24	3	0	7	261
令和3年度	25	25	25	26	26	25	26	24	23	19	23	26	185
令和4年度	25	25	25	26	26	25	25	25	23	22	20	26	293
令和5年度	25	25	25	25	27	25	25	25	23	21	22	26	294

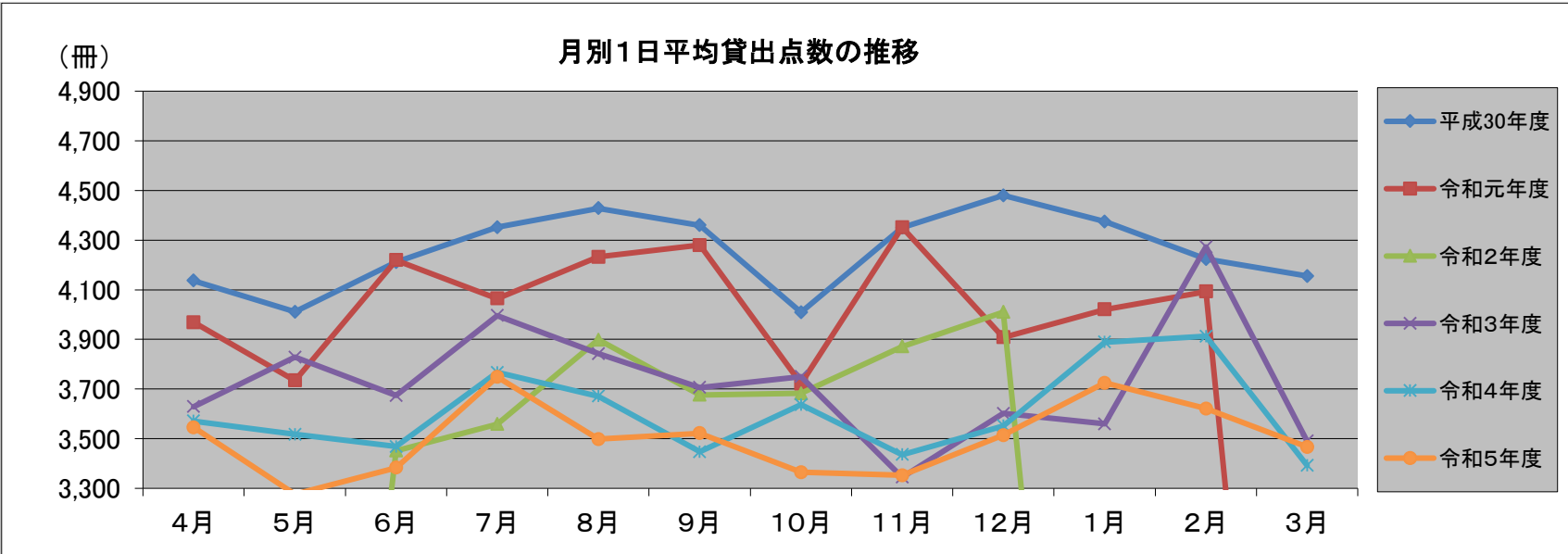
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	25,217	24,523	25,206	26,250	29,268	26,137	24,663	22,718	18,718	22,293	22,617	25,720	293,330
令和元年度	1,009	981	1,008	1,050	1,084	1,045	987	1,033	985	1,013	983	989	1,015
令和2年度	23,499	23,656	24,974	24,506	27,977	22,988	23,006	17,178	20,504	21,557	23,113	362	253,320
令和3年度	940	910	999	980	1,036	999	885	1,010	932	980	1,005	－	971
令和4年度	2,143	1,363	19,090	22,137	23,975	21,716	22,717	22,331	21,199	10,248	8,939	12,991	188,849
令和5年度	－	－	795	851	922	869	874	930	883	－	－	－	1,021
令和6年度	21,715	23,272	22,239	24,624	23,869	22,796	22,953	20,989	19,942	18,681	20,892	23,114	265,086
令和7年度	869	931	890	947	918	912	883	875	867	983	908	889	905
令和8年度	22,806	23,025	22,845	24,884	24,618	22,450	23,440	22,388	20,825	21,911	20,122	22,935	272,249
令和9年度	912	921	914	957	947	898	938	896	905	996	1,006	882	929
令和10年度	23,154	21,857	22,232	24,324	24,875	22,821	22,133	22,181	20,742	20,418	20,562	23,965	269,264
令和11年度	926	874	889	973	921	913	885	887	902	972	935	922	916

※下段は一日平均



貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	103,417	100,269	105,283	108,802	119,552	108,987	100,228	95,706	85,122	96,234	97,132	108,040	1,228,772
令和元年度	4,137	4,011	4,211	4,352	4,428	4,359	4,009	4,350	4,480	4,374	4,223	4,155	4,252
令和2年度	99,212	97,084	105,480	101,616	114,268	98,423	96,743	73,973	85,979	88,448	94,132	1,930	1,057,288
令和3年度	3,968	3,734	4,219	4,065	4,232	4,279	3,721	4,351	3,908	4,020	4,093	－	4,051
令和4年度	6,778	4,992	86,281	92,518	101,354	91,902	95,747	92,918	92,225	35,205	26,385	50,836	777,141
令和5年度	－	－	3,451	3,558	3,898	3,676	3,683	3,872	4,010	－	－	－	2,652
令和6年度	90,723	95,698	91,847	103,897	99,896	92,662	93,759	83,614	82,836	78,305	85,451	90,750	1,089,438
令和7年度	3,629	3,828	3,674	3,996	3,842	3,706	3,750	3,345	3,602	3,559	4,273	3,490	3,718
令和8年度	89,273	87,928	86,716	97,938	95,451	86,186	90,929	85,897	81,688	85,555	78,255	88,197	1,054,013
令和9年度	3,571	3,517	3,469	3,767	3,671	3,447	3,637	3,436	3,552	3,889	3,913	3,392	3,597
令和10年度	88,647	81,905	84,572	93,719	94,447	88,047	84,113	83,798	80,828	78,228	79,659	90,139	1,028,102
令和11年度	3,546	3,276	3,383	3,749	3,498	3,522	3,365	3,352	3,514	3,725	3,621	3,467	3,497

※下段は一日平均



(8) 受入・除籍冊数

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	149	19	39	6	135	1	1	0	0	2	13	1	25	-8	-19	104	16	104	5	21
1哲学	375	22	145	11	263	3	0	0	0	3	34	10	70	0	-26	151	20	357	8	-178
2歴史	478	27	190	82	397	13	0	0	0	13	79	4	124	2	-39	488	19	371	-8	128
3社会科学	1,139	73	357	34	889	12	1	0	0	13	93	23	179	5	-58	658	32	991	14	-287
4自然科学	483	17	74	36	462	4	2	2	0	4	77	14	105	1	-13	251	23	121	0	153
5技術	357	11	137	50	281	66	4	1	0	69	103	11	142	2	-26	359	13	403	5	-26
6産業	144	6	130	-1	19	10	0	0	0	10	21	3	38	-2	-16	84	5	47	-5	37
7芸術	353	68	74	1	348	4	2	0	0	6	34	13	63	0	-16	195	15	100	-5	105
8言語	175	6	30	16	167	0	0	0	0	0	8	1	23	0	-14	46	3	43	2	8
9文学	207	32	171	92	160	154	54	14	0	194	394	12	660	0	-254	960	130	1,105	3	-12
郷土行政	161	911	21	272	1,323	0	0	0	0	0	2	28	4	-19	7	3	148	4	-27	120
参考資料	356	24	5	-10	365	0	0	0	0	0	3	0	1	4	6	41	1	9	6	39
外国語資料	57	1	14	2	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	2
障がい者資料	87	115	15	1	188	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	12	0	0	0	12
ポピュラー	7,790	866	6,450	502	2,708	0	0	0	0	0	166	91	297	-3	-43	922	396	1,563	34	-211
一般計	12,311	2,198	7,852	1,094	7,751	273	64	17	0	320	1,027	211	1,731	-18	-511	4,276	822	5,220	33	-89

中央 ポピュラー内訳					Aヤング					B文庫					V新書				
					393	48	316	88	213	1,694	588	3,710	155	-1,273	323	6	111	90	308
X日本文学					W平和					H暮らし					D趣味				
1,670	101	253	24	1,542	27	12	3	1	37	1,116	35	660	57	548	501	23	106	16	434

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	16	2	2	2	18	0	0	1	0	-1	4	0	2	0	2	9	1	3	-1	6
1哲学	9	3	10	3	5	0	0	1	0	-1	1	1	1	0	1	5	0	2	0	3
2歴史	35	30	68	24	21	4	0	6	0	-2	5	1	6	0	0	20	2	4	2	20
3社会科学	91	22	111	13	15	1	0	0	0	1	7	20	31	0	-4	21	6	47	8	-12
4自然科学	184	50	96	27	165	6	0	3	0	3	13	1	21	0	-7	67	12	26	4	57
5技術	98	19	69	19	67	6	0	1	0	5	4	9	12	0	1	30	19	20	0	29
6産業	35	3	25	2	15	1	0	0	0	1	2	1	4	0	-1	23	2	5	-2	18
7芸術	83	11	49	12	57	3	0	0	0	3	12	1	18	0	-5	24	2	24	0	2
8言語	12	1	11	2	4	0	0	0	0	0	2	0	3	0	-1	2	0	4	0	-2
9文学	816	225	758	49	332	86	0	28	-8	50	64	6	211	0	-141	233	121	397	-12	-55
E絵本	1,146	244	781	92	701	118	1	20	-1	98	143	22	290	-1	-126	599	183	551	4	235
P紙芝居	44	0	5	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2	2	0	21
児童郷土	2	14	36	-114	-134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	15
児童参考	6	0	1	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
児童研究	14	17	14	-7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	1	2	10
児童計	2,591	641	2,036	126	1,322	225	1	60	-9	157	257	62	599	-1	-281	1,062	367	1,086	5	348

図書計	14,902	2,839	9,888	1,220	9,073	498	65	77	-9	477	1,284	273	2,330	-19	-792	5,338	1,189	6,306	38	259
-----	--------	-------	-------	-------	-------	-----	----	----	----	-----	-------	-----	-------	-----	------	-------	-------	-------	----	-----

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	3,686	387	3,929	94	238	0	0	0	0	0	444	0	411	0	33	1,428	5	36	0	1,397
ビデオ	0	0	4	0	-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	22	16	41	19	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2	1	0	22
CD	23	0	32	-4	-13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	24	20	0	27
その他付録等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	-1
図書以外計	3,731	403	4,006	109	237	0	0	0	0	0	444	0	411	0	33	1,472	31	59	1	1,445

総計	18,633	3,242	13,894	1,329	9,310	498	65	77	-9	477	1,728	273	2,741	-19	-759	6,810	1,220	6,365	39	1,704
----	--------	-------	--------	-------	-------	-----	----	----	----	-----	-------	-----	-------	-----	------	-------	-------	-------	----	-------

	大野公民館図書室					西部公民館図書室					市川公民館図書室					市川駅南公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	177	860	281	2	758	189	133	57	-3	262	74	82	12	0	144	66	37	91	0	12
児童	162	73	98	-106	31	125	38	223	-18	-78	1	71	12	0	60	15	19	19	0	15
計	339	933	379	-104	789	314	171	280	-21	184	75	153	24	0	204	81	56	110	0	27

	塩焼市民図書室					福栄市民図書室					大柏市民図書室					ウイズ情報資料室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	47	189	145	0	91	84	262	182	0	164	86	60	1508	0	-1362	48	12	15	1	46
児童	135	113	12	0	236	99	248	115	0	232	102	142	307	0	-63	2	0	0	-1	1
計	182	302	157	0	327	183	510	297	0	396	188	202	1815	0	-1425	50	12	15	0	47

一般書	信篇					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	19	2	0	0	21	13	3	33	1	-16	3	0	23	-8	-28	302	42	224	-4	116
1哲学	27	4	4	-1	26	39	3	28	2	16	13	0	38	-13	-38	642	59	642	7	66
2歴史	89	7	64	1	33	122	4	143	0	-17	173	4	602	-89	-514	1,442	65	1,494	-12	1
3社会科学	140	15	21	2	136	109	18	142	4	-11	31	4	115	-18	-98	2,182	166	1,805	41	584
4自然科学	85	10	5	0	90	67	10	58	0	19	14	4	61	-44	-87	981	80	426	-7	628
5技術	149	7	25	1	132	114	7	210	0	-89	83	1	199	-54	-169	1,231	54	1,117	4	172
6産業	24	2	2	-1	23	21	4	34	-1	-10	10	1	21	-4	-14	314	21	272	-14	49
7芸術	65	6	27	0	44	40	6	39	-3	4	29	1	49	-16	-35	720	111	352	-23	456
8言語	26	3	4	0	25	7	3	3	0	7	7	0	8	-17	-18	269	16	111	1	175
9文学	331	32	67	95	391	373	21	431	-1	-38	251	3	284	-60	-90	2,670	284	2,732	129	351
郷土行政	2	26	3	2	27	2	24	10	0	16	3	44	19	-24	4	173	1,181	61	204	1,497
参考資料	9	0	3	-2	4	9	0	3	-7	-1	10	0	2	-5	3	428	25	23	-14	416
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	2	16	3	48
障がい者資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	115	15	1	206
ポピュラー	156	360	170	-97	249	154	221	247	9	137	908	63	1,134	-239	-402	10,096	1,997	9,861	206	2,438
一般計	1,122	474	395	0	1,201	1,070	324	1,381	4	17	1,535	125	2,555	-591	-1,486	21,614	4,218	19,151	522	7,203

M外国文学					N環境					Jビジネス				
252	12	108	26	182	64	0	21	2	45	1,024	29	236	81	898
Sスポーツ					G旅行					W1ウ行政				
148	7	75	6	86	614	5	735	-14	-130	0	0	0	0	0

児童書	信篇					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	6	1	0	0	7	2	0	4	1	-1	8	0	12	-2	-6	45	4	24	0	25
1哲学	1	0	1	0	0	2	0	3	-1	-2	0	0	4	-2	-6	18	4	22	0	0
2歴史	6	0	9	1	-2	6	1	14	0	-7	6	0	13	-22	-29	82	34	120	5	1
3社会科学	12	3	5	0	10	3	4	9	0	-2	4	3	27	-6	-26	139	58	230	15	-18
4自然科学	11	7	5	0	13	15	2	67	0	-50	13	2	57	-9	-51	309	74	275	22	130
5技術	5	2	3	0	4	8	10	40	0	-22	20	10	48	-2	-20	171	69	193	17	64
6産業	2	1	0	0	3	4	2	9	0	-3	3	2	9	0	-4	70	11	52	0	29
7芸術	2	0	3	0	-1	4	0	19	0	-15	5	2	39	0	-32	133	16	152	12	9
8言語	7	0	1	0	6	2	0	2	0	0	7	0	1	0	6	32	1	22	2	13
9文学	93	2	12	1	84	73	2	206	1	-130	122	12	225	-8	-99	1,487	368	1,837	23	41
E絵本	203	7	99	1	112	182	12	159	0	35	215	27	322	-14	-94	2,606	496	2,222	81	961
P紙芝居	0	0	0	0	0	11	0	0	0	11	0	0	0	0	0	76	2	7	0	71
児童郷土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	29	36	-114	-119
児童参考	0	0	0	0	0	2	0	0	-2	0	4	0	3	-2	-1	13	0	4	-2	7
児童研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	19	15	-5	20
児童計	348	23	138	3	236	314	33	532	-1	-186	407	58	760	-67	-362	5,204	1,185	5,211	56	1,234

図書計	1,470	497	533	3	1,437	1,384	357	1,913	3	-169	1,942	183	3,315	-658	-1,848	26,818	5,403	24,362	578	8,437
-----	-------	-----	-----	---	-------	-------	-----	-------	---	------	-------	-----	-------	------	--------	--------	-------	--------	-----	-------

図書以外	信篇					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	461	2	458	0	5	466	1	509	-1	-43	558	0	483	-101	-26	7,043	395	5,826	-8	1,604
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	-4
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	40	-19	-17	85	18	82	0	21
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	24	52	-4	14
その他付録等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	-1
図書以外計	461	2	458	0	5	466	1	509	-1	-43	600	0	523	-120	-43	7,174	437	5,966	-11	1,634

総計	1,931	499	991	3	1,442	1,850	358	2,422	2	-212	2,542	183	3,838	-778	-1,891	33,992	5,840	30,328	567	10,071
----	-------	-----	-----	---	-------	-------	-----	-------	---	------	-------	-----	-------	------	--------	--------	-------	--------	-----	--------

	曽谷公民館図書室					東部公民館図書室					本行徳公民館図書室				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	106	145	175	0	76	115	142	64	0	193	51	45	0	0	96
児童	78	109	30	0	157	66	30	68	0	28	32	11	0	0	43
計	184	254	205	0	233	181	172	132	0	221	83	56	0	0	139

	他施設計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	1,043	1,967	2,530	0	480
児童	817	854	884	-125	662
計	1,860	2,821	3,414	-125	1,142

	他施設含む総計				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
一般	22,657	6,185	21,681	522	7,683
児童	6,021	2,039	6,095	-69	1,896
図書以外	7,174	437	5,966	-11	1,634
計	35,852	8,661	33,742	442	11,213

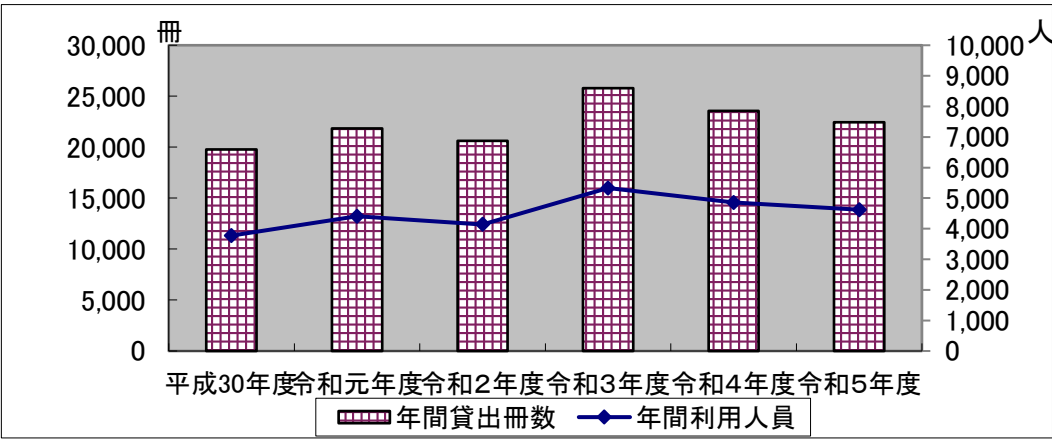
(9) 自動車図書館ステーション別統計

	ステーション名	巡回数	貸出冊数			利用人員		
				一日平均	前年度比(%)		一日平均	前年度比(%)
1	市営大町第1団地	23	639	27.8	101.9	128	5.6	94.1
2	市営大町第2団地	21	700	33.3	89.7	144	6.9	89.4
3	養護老人ホームいこい荘	9	47	5.2	13.4	25	2.8	19.4
4	柏井小学校	21	830	39.5	98.9	127	6.0	78.4
5	大野小学校	21	313	14.9	74.9	78	3.7	76.5
6	宮久保小学校	23	3,516	152.9	91.1	425	18.5	101.2
7	若宮児童公園	22	556	25.3	94.4	89	4.0	80.2
8	北国分2丁目公園	24	1,736	72.3	113.1	256	10.7	104.9
9	堀之内公園	42	2,756	65.6	129.2	647	15.4	127.6
10	歴史博物館	23	508	22.1	80.6	107	4.7	87.7
11	国府台児童公園	20	996	49.8	90.2	179	9.0	82.9
12	山王公園	22	816	37.1	74.5	140	6.4	76.1
13	宮久保プレーパーク	13	506	38.9	47.5	124	9.5	50.4
14	菅野小学校	21	424	20.2	50.7	77	3.7	57.5
15	㈱クボタ菅野ハイツ	25	579	23.2	53.5	129	5.2	66.8
16	塩浜団地商店街広場	47	3,889	82.7	97.6	1,187	25.3	103.4
17	島尻西公園	14	87	6.2	27.8	31	2.2	45.6
18	稲越小学校	22	441	20.0	91.9	107	4.9	88.4
19	タムス市川リハビリテーション病院	2	9	4.5	180.0	2	1.0	200.0
20	市営曽谷第1団地	14	92	6.6	126.0	21	1.5	75.0
21	市川真間グループホーム	15	86	5.7	409.5	23	1.5	287.5
22	石橋下公園	21	1,331	63.4	147.4	233	11.1	128.7
23	北方第2公園	20	629	31.5	173.3	138	6.9	148.4
24	大洲防災公園	21	248	11.8	73.2	64	3.0	79.0
25	行徳児童公園	2	7	3.5	87.5	3	1.5	100.0
26	みかど公園	8	27	3.4	-	12	1.5	-
27	西ノ下公園	11	318	28.9	-	70	6.4	-
	ステーション外利用	-	359	-	299.2	53	-	88.3
	合 計	527	22,445	42.6	95.3	4,619	8.8	95.1

※3、13:令和5年9月末で廃止ステーション

※26、27:令和5年10月以降の新規ステーション

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間巡回日数	148	139	141	150	160	150
年間ステーション巡回数	395	376	367	417	525	527
年間貸出冊数	19,767	21,835	20,624	25,797	23,552	22,445
一日平均	133.6	157.1	146.3	172.0	147.2	149.6
一ステーション平均	50.0	58.1	56.2	58.4	44.9	42.6
年間利用人員	3,774	4,410	4,142	5,331	4,859	4,619
一日平均	25.5	31.7	29.4	35.5	30.4	30.8
一ステーション平均	9.6	11.7	11.3	12.1	9.3	8.8



(10) 市川市の図書館サービス指標

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人口1人当たりの貸出点数(点)	貸出点数	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276
	人口	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654
		5.6	5.04	3.93	5.28	5.13	4.99
登録率(単位:%)	登録者数	107,810	103,907	92,192	86,283	86,083	85,800
	人口	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654
		21.8	20.9	18.5	17.4	17.3	17.2
実質貸出密度(点)	貸出点数	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276
	登録者数	107,810	103,907	92,192	86,283	86,083	85,800
		25.69	24.12	21.21	30.4	29.6	29.0
蔵書回転率(単位:回)	貸出点数	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276
	資料点数	1,207,259	1,211,553	1,227,397	1,229,952	1,244,739	1,254,810
		2.29	2.07	1.59	2.13	2.05	1.98
人口1人当たりの年間購入点数(点)	年間購入点数	45,881	44,952	43,157	35,731	35,472	33,992
	人口	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654
		0.09	0.09	0.09	0.07	0.07	0.07
人口1人当たりの資料点数(点)	資料点数	1,207,259	1,211,553	1,227,397	1,229,952	1,244,739	1,254,810
	人口	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654
		2.44	2.44	2.47	2.48	2.50	2.52
人口1人当たりの資料費(円)	資料購入費:A	84,299,522	85,019,418	84,091,182	65,897,561	66,827,253	66,798,131
	人口	494,161	497,268	497,731	496,104	497,048	498,654
		171	171	169	133	134	134
行政効果(単位:円)	資料購入費:B	81,089,632	81,659,337	80,710,694	63,564,766	64,419,724	64,193,526
	÷購入点数	45,881	44,952	43,157	35,731	35,472	33,992
	×貸出点数	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276
	ー総経費	801,582,365	823,080,224	717,559,221	571,919,293	592,550,650	534,589,160
		4,093,685,659	3,729,287,936	2,938,496,638	4,091,081,359	4,040,933,161	4,162,604,785
貸出コスト(単位:円)	総経費	801,582,365	823,080,224	717,559,221	571,919,293	592,550,650	534,589,160
	貸出点数	2,769,772	2,505,997	1,954,938	2,621,164	2,551,376	2,487,276
		289.4	328.4	367	218.2	232.2	214.9

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数は視聴覚資料・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

※令和3年度から、諸経費のなかの図書館電算システムに関する経費は情報部門に移管されている。

(11) 開館日数

1	中央図書館	294日
2	行徳図書館	292日
3	信徳図書館	284日
4	南行徳図書館	284日
5	平田図書室	284日
6	市川駅南口図書館	296日

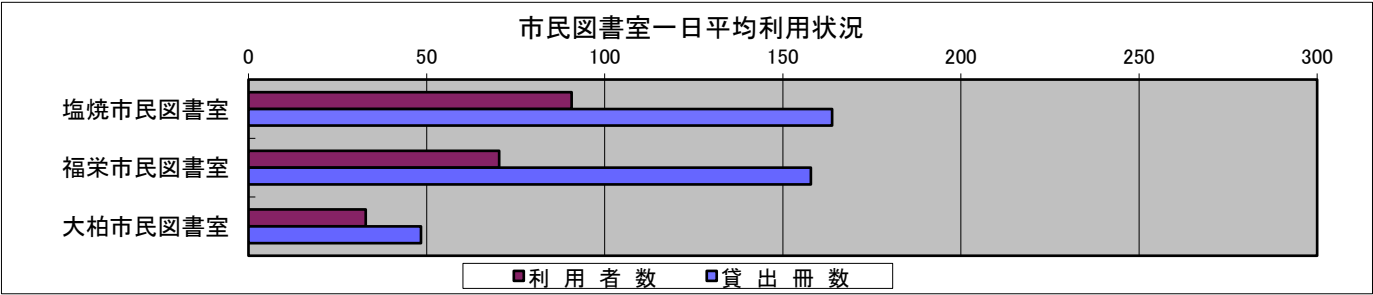
※市民図書室・公民館図書室等は
(12) 関連施設統計の各々を参照。

(12) 関連施設統計

①市民図書室

	開 日	室 数	利 用 者 数		貸 出 日 数	貸 出 冊 数		受 入 冊 数	除 籍 冊 数	蔵 書 冊 数
			一日平均			一日平均				
塩焼市民図書室		149	13,511	90.7	149	24,406	163.8	484	157	19,799
福栄市民図書室		153	10,763	70.3	153	24,155	157.9	693	297	20,677
大柏市民図書室		149	4,907	32.9	149	7,215	48.4	390	1,815	15,933
計		451	29,181	64.7	451	55,776	123.7	1,567	2,269	56,409

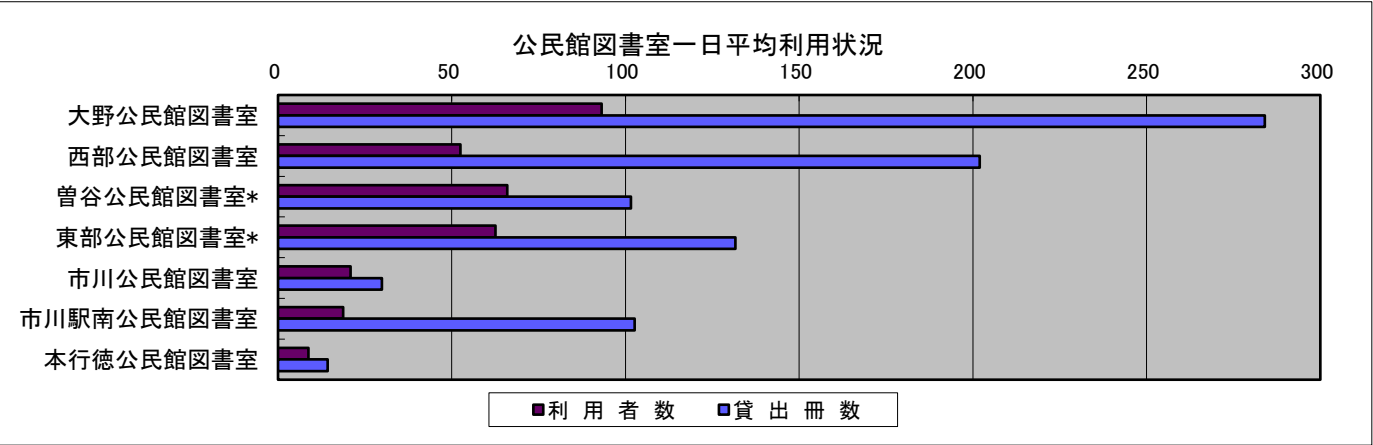
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書室

	開 日	室 数	利 用 者 数		貸 出 日	貸 出 冊 数		受 入 冊 数	除 籍 冊 数	蔵 書 冊 数
			一日平均	日 数		一日平均	冊 数			
大野公民館図書室		279	25,996	93.2	279	79,254	284.1	1,272	379	18,021
西部公民館図書室		282	14,792	52.5	282	56,957	202.0	485	280	15,777
曾谷公民館図書室*		201	13,258	66.0	201	20,422	101.6	438	215	13,505
東部公民館図書室*		150	9,394	62.6	150	19,754	131.7	353	132	11,616
市川公民館図書室		99	2,069	20.9	99	2,962	29.9	228	24	9,087
市川駅南公民館図書室		101	1,892	18.7	101	10,364	102.6	137	110	7,049
本行徳公民館図書室		198	1,743	8.8	198	2,827	14.3	139	0	17,735
計		1,310	69,144	52.8	1,310	192,540	147.0	3,052	1,140	92,790

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



③返却ポスト

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	59,790	28.2%
市川公民館	7,114	3.4%
歴史博物館	1,473	0.7%
ベルクス市川堀之内	13,416	6.3%
中山窓口連絡所	3,810	1.8%
市役所本庁舎	18,365	8.7%
イオン市川妙典	65,177	30.8%
南行徳市民センター	32,643	15.4%
塩浜市民体育館	3,173	1.5%
菅野公民館	6,586	3.1%
若宮公民館	54	0.0%
千葉商大	233	0.1%
合計	211,834	100.0%

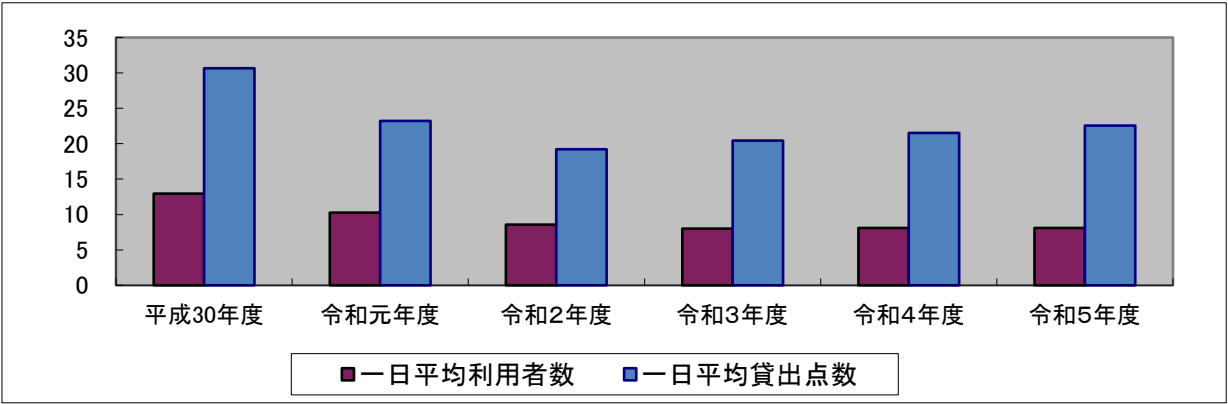
(上記のうち、市民図書室・公民館図書室での図書館資料の利用統計)

	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書室	1,869	4,553	4,828	4,027
福栄市民図書室	2,586	6,205	6,037	5,887
大柏市民図書室	726	1,367	9,620	1,433
市民図書室小計	5,181	12,125	20,485	11,347
大野公民館図書室	25,996	79,254	88,734	28,482
西部公民館図書室	14,792	56,957	54,330	17,535
曾谷公民館図書室	4,053	9,024	13,920	8,829
東部公民館図書室	2,128	4,509	8,196	4,270
公民館図書室小計	46,969	149,744	165,180	59,116
合計	52,150	161,869	185,665	70,463

④男女共同参画センター(ウィズ)情報資料室

※令和2年度より週3日(水・土・日)の開室

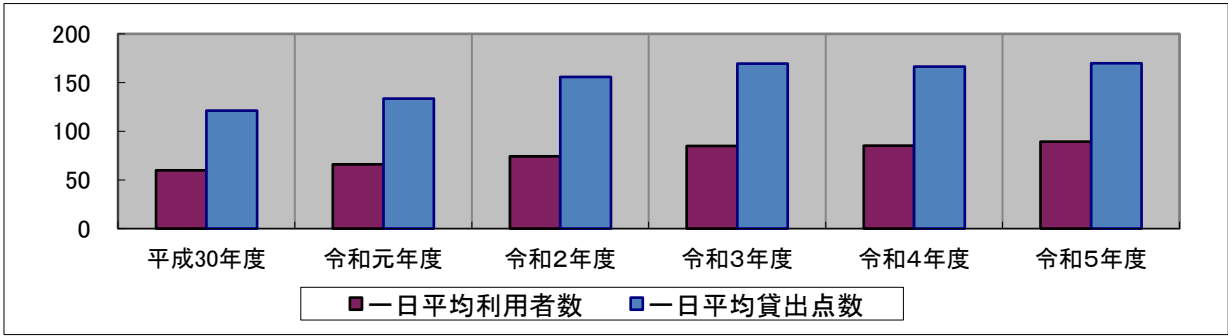
	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
		一 日 平 均		一 日 平 均				
平成30年度	263	3,409	13.0	7,947	30.7	180	788	15,243
令和元年度	242	2,483	10.3	8,061	23.2	776	1,112	14,907
令和2年度	167	1,428	8.6	5,614	19.2	208	32	15,083
令和3年度	157	1,255	8.0	3,205	20.4	75	54	15,104
令和4年度	149	1,205	8.1	3,209	21.5	61	11	15,154
令和5年度	150	1,217	8.1	3,382	22.5	62	15	15,201



⑤情報プラザ

	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数	
		一 日 平 均		一 日 平 均	
平成30年度	277	16,547	59.7	33,520	121.0
令和元年度	261	17,244	66.1	34,853	133.5
令和2年度	248	18,392	74.2	38,649	155.8
令和3年度	284	24,075	84.8	48,130	169.5
令和4年度	284	24,189	85.2	47,282	166.5
令和5年度	285	25,433	89.2	48,439	170.0

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学付属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利 用 者 数		貸 出 点 数	
		一 日 平 均		一 日 平 均	
平成30年度	252	311	1.2	811	3.2
令和元年度	236	316	1.3	971	4.1
令和2年度	0	0	-	0	-
令和3年度	0	0	-	0	-
令和4年度	0	0	-	0	-
令和5年度	0	0	-	0	-

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

※令和2年度～5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
平成30年度	33	242
令和元年度	41	266
令和2年度	39	177
令和3年度	65	445
令和4年度	46	288
令和5年度	41	241

※平成18年10月より宅配サービス開始

※一時休止後、平成25年7月より再開

9. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和 60 年にコンピュータシステムを導入。その後の更新により、市内全域へのネットワーク拡大、Web メニューの多機能化に加え、中央図書館での座席管理システム、デジタルサイネージ、書庫出納管理システムの導入を実施した。現在は富士通の図書館システム iLisfera を使用している。

また、IC タグによる蔵書管理システム iLiscomp を市川駅南口図書館、行徳図書館で先行して導入、令和元年 12 月に中央図書館ほか市内全図書館で導入を完了した。関連施設では、男女共同参画センター情報資料室、大野・西部各公民館図書室にも導入している。市川駅南口図書館、行徳図書館、中央図書館には、IC タグ対応のセキュリティゲートや自動貸出機等を設置したほか、令和元年度には、中央図書館、行徳図書館に自動返却機と予約受取棚等を設置し、窓口業務の効率化を推進した。

令和 4 年度には、市川駅南口図書館及び行徳図書館の IC タグ関連機器を更新した。行徳図書館には自動貸出機を 1 台増設し更なる利便性の向上を図った。同時に蔵書点検用機器を無線型に変更し作業の効率化を目指している。

(2) インターネットでのサービス

平成 12 年 10 月よりインターネットで蔵書情報を公開し、ID とパスワードにより貸出状況・予約状況の照会が可能となった。

その後もメールでのレファレンス受付、インターネットからの予約受付や貸出延長、利用者登録申請、貸出履歴の保存、Web 上の My 本棚の作成、図書館利用券のスマートフォン対応等サービスを拡大し、図書検索結果への書影表示、国立国会図書館等との横断検索、デジタルアーカイブの公開、「青空文庫」等の電子テキストと所蔵資料との一括検索等、Web サービスの多機能化を進めている。

(3) ネットワークの拡充

平成 12 年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能になった。以降、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設している。

現在、図書館 5 館 1 室のほか、関連施設として、男女共同参画センター情報資料室、公民館図書室 2 室（大野・西部）では、蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、書誌情報と蔵書の一元管理を行っている。

また、いちかわ情報プラザ、公民館図書室 2 室（曾谷・東部）、市立小学校に併設の市民図書室 3 室（塩焼・福栄・大柏）、千葉商科大学付属図書館では、図書館の予約資料受渡し拠点として、図書館 PC を設置している。（千葉商科大学附属図書館はコロナ禍以降中止）

平成 29 年全庁的に情報セキュリティ強靱化対策が実施され、図書館システムは「三層分離」のうち、インターネット接続系となった。

(4) 館内インターネット接続サービス等

図書館内には、利用者用の蔵書検索端末を設置しており、Web-OPAC では蔵書検索以外にも My ページにログインし、Web サービスを利用することができる。

中央及び行徳、市川駅南口図書館には、新聞社等のデータベースを導入しており、データベース端末で閲覧及びプリントアウトができる。

中央及び行徳図書館では、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」の利用が可能で、中央図書館ではその複写サービスや「歴史的音源」の利用もできる。

市川駅南口図書館では、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを導入し、令和 4 年度から ID 貸出をしている。

中央図書館では、他の図書館や類縁機関、新聞社等のインターネットでの情報源を調べることが可能な「調べもの用インターネットブース」が設

置されている。

利用者の持ち込みパソコンのインターネット接続環境の整備として、中央図書館ビジネスルームには有線LANと無線のPOPCHAT、行徳図書館パソコンルームには無線のフリースポット、市川駅南口図書館閲覧席には有線LANと無線のフリースポットを導入している。

また、市内の公共施設には、通信会社のWi-Fiスポット（公衆無線LAN）が設置されており、中央・行徳・南行徳・信篤図書館及び平田図書室では、

ソフトバンク（SoftBank）、NTTドコモ、auの回線契約をしている機器で、それぞれのWi-Fiスポットを利用できる。

令和4年6月に中央図書館に市川フリーWi-Fiを設置。館内でインターネット接続できるエリアが広がった。

① 図書館情報システム機器台数内訳

- サーバ 中央 15 台 市川駅南口 1 台
- レーザープリンタ 30 台。他にレシートプリンタが各パソコンに付随する
- 利用者用コインベンダ複合機 中央 1 台 行徳 1 台

※機器台数は令和6年4月1日現在

パソコン用途 館名・施設名		業務用		利用者用						
		デスク トップ	ノート パソコン	館内 OPAC	Web-OPAC	データベース等 閲覧用 PC	デジタル サイネージ	その他		
蔵書 管理	中央	2 3	1 1	2	6	8 ※1	2	6 ※2		
	(こども)	3	2	2			1			
	(BM)	1	2							
	(宅配用)		1							
	行徳	7	8	3	3	1				
	市川駅南口	8	1	3	1	3	1			
	信篤	1	2	1		※1 レファレンス横 3台 レファレンス窓口 ノート1台 調べものPC 4台				
	南行徳	1	2	1						
	平田	1	2	1						
	ウィズ	1								
	大野	1	1		1	※2 座席管理パソコン 5台 障がい者用パソコン 1台				
西部	1	1	1							
受 取 拠 点	曽谷・東部	2								
	市民図書室 3 室	3								
	情報プラザ	1								
	千葉商大	1								
合計		5 5	3 3	1 4	1 1	1 2	4	6		

パソコン合計 135 台

② ICタグ関連機器

機器名 館名	自動 貸出機	自動 返却機	ゲート	予約棚コーナー				ゲート 監視PC	蔵書点検用機器	
				予約棚	予約 確認機	自動 貸出機	ゲート		点検用 PC	無線型
中央	5	4	2	19	2	2	1	1	6	8
(こども)	2	2	1					1		
行徳	5	2	2	10	1	2	1	3		
市川駅南口	3		2					2		
合計	19	8	9	29	3	左記の同一機器に含める		7	6	8

※他に蔵書管理館のパソコンに付随するICリーダライタ及びアンテナが77台

③オンラインサービス・データベース導入一覧

令和6年4月1日現在

	データベースタイトル	中央			行徳			駅南		
		業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴
①	朝日新聞クロスサーチ：朝日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
②	ヨミダス歴史館：読売新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
③	毎索：毎日新聞記事データベース	○	○		○	○		○	○	
④	日経テレコン 21〔図書館向け〕	○	○		○	○		○	○	
⑤	D1-Law.com:第一法規 法情報総合データベース	○	○		○	○		○	○	
⑥	官報情報検索サービス	○	○		○	○		○	○	
⑦	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		○	○				
⑧	国立国会図書館「歴史的音源」	○		○						
⑨	日経ヴェリタス電子版		○							
⑩	ナクソス・ミュージック・ライブラリー									○

④データベース・プリント枚数(令和5年度)

館	枚数	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス複写枚数
中央	975 枚	220 枚
行徳	12 枚	—
駅南	138 枚	—

10. 令和5年度事業概要

概況

令和5年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響（以下「コロナ禍」と略す）からイベントや各サービスを本格的に再開し、コロナ禍以前に復することに努めた。

・イベントの再開

従来の読み聞かせの会の回数を増やすとともに、出張サービスを再開し、幼稚園・保育園・学校に留まらず、公民館や博物館、子育て施設等の依頼にも応じた。特に「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画が初年度であることを踏まえ、乳幼児サービスの一環として、乳幼児の保護者向けの読み聞かせ講座を開き、新たなリーフレットを作成して配布した。

リサイクルブック市は、4年度の再開時から事前予約制としており、これを私立保育園・介護福祉施設も含めて団体枠にも適用した。

・地域連携

千葉県の県政150周年にあわせて、現代産業科学館の呼びかけにより、コルトンプラザと生涯学習センターとの三者連携が「おにたかとらい」として再開され、相互にイベントや関連展示を行った。

また、JR本八幡駅で、フード&ブックドライブが1月14日に実施され、駅に寄せられた約2,000冊の本の寄贈を受けた。

・市民協働

市民協働の取り組みとして、本を題材として施設の間を提供する「市民提案型 図書館推し活企画」を公募したところ、10件の応募があった。なかでも「いちかわのほほん古本市」は年2回開催され、一箱古本市やマルシェ、キッチンカー等と呼ばれ、人が集まることで地域やコミュニティに新たな活気を与える「にぎわい創出」という、市民協働のあり方を示した。他にボードゲーム大会、市内作家トーク&サイン会といったイベントに加え、毎月定例の読み聞かせ会、店主の本棚、お手紙読書会など、企画の内容は多彩であった。

・北部地域へのサービス

柏井公民館や若宮公民館、西部公民館などに新たに返却ポストを設置した。また、千葉商科大学での予約資料の受取サービス再開に向けて、連携協定の内容を変更する等、大学側と調整がなされた。

（１）資料収集と利用状況

①図書館の利用状況

令和5年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ情報資料室・宅配）の貸出点数は、2,487,276点、延べ利用者数は801,620人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は662,027件であった。

②資料収集

図書費（装備費を含む）については、コロナ禍で令和3年度に大幅な減額があり、令和5年度も昨年度と同様、5,766万円に留まった。新刊書の購入を厳選し、寄贈図書の活用や予約の多い資料の複本数を抑える等の対策をしながら、必要な資料の収集に努めた。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架担当制度を設け、各担当で破損本の買い替えや書架整理等、棚揃えの管理を行っている。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行っている。

年に一度行う蔵書点検は、市川駅南口図書館、行徳図書館に続き、令和2年度より全館でＩＣ機器を用いて実施している。令和5年度の中央図書館の蔵書点検は1月30日から2月2日に実施した。

（２）リクエストサービス

①リクエストサービス

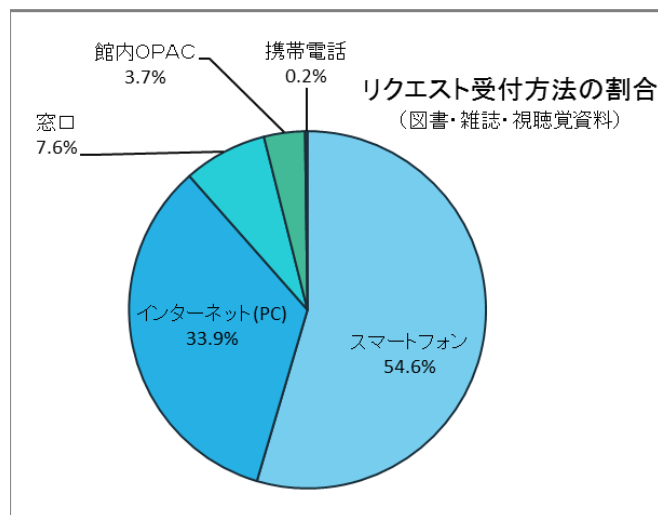
令和５年度のリクエスト受付件数は、前年度比 98.7%と横ばいになっており、コロナ禍以前と比較すると依然として高い水準で推移している。

受付方法別では、スマートフォンからの予約が 54.6%と、前年同様、全体の半数を超えている。インターネット（パソコン）での予約から、スマートフォンでの予約への移行が進んでいることが分かる。

リクエスト受付方法別総数

（図書・雑誌・視聴覚資料）

受付方法	件数	前年度比
窓 口	50,195	100.2%
インターネット（pc）	224,414	92.9%
スマートフォン	361,361	102.4%
館内OPAC	24,623	99.3%
携帯電話	1,434	86.7%
合 計	662,027	98.7%



②国・県・市町村図書館との相互協力

相互協力の貸出冊数は前年度比107.5%、借用冊数は前年度比103.0%となった。貸出と借用の比は 1：1.5となっており、一貫して借受超過の状態が続いている。図書費減の影響が続き、リクエスト提供における相互協力の占める割合が増加している。

令和３年度から相互協力利用が可能になった大野公民館図書室、西部公民館図書室においては引き続き借用数が増加しており、大野公民館図書室で前年度比116.7%、西部公民館図書室では前年度比250.0%となった。利用の促進が伺える。

他自治体への貸出冊数

	令和４年度	令和５年度
千葉県立図書館	133	106
県内 市町村立図書館	3,726	4,040
その他（県外含）	17	20
合 計	3,876	4,166

借受け先別の借用冊数

	令和４年度	令和５年度
国立国会図書館	7	10
千葉県立図書館	1,384	1,296
県内 市町村立図書館	4,558	4,828
その他	50	42
合 計	5,999	6,176

借用冊数館別内訳

	令和４年度	令和５年度
中央図書館	2,038	2,047
自動車図書館	42	32
平田図書室	308	256
行徳図書館	1,330	1,227
信篤図書館	290	195
南行徳図書館	197	239
市川駅南口図書館	1,386	1,640
大野公民館図書室	360	420
西部公民館図書室	48	120
合 計	5,999	6,176

（３）レファレンスサービス

令和５年度は、42,793件の質問が寄せられた。昨年度と同様にメールレファレンスが活用されており、内容的には詳細な調査を要する質問が多くあった。

電話やメールレファレンスも含めて、利用者から受けた質問及びその調査過程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「あれこれふぁ（新・参考業務月報）」として編集し、「レファレンス事例集」としてウェブサイトに掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。市川市立図書館からのレファレンス事例提供数が多かったことから、令和６年３月に、国立国会図書館より市川市中央図書館へ15度目の礼状が贈られた。さらに１年分をまとめて冊子「あれこれふぁ（新・参考業務年報）」として市役所内部はじめ関係機関へ配布している。

また、「パスファインダー」の作成を継続し、令和５年度には６点のパスファインダーを新規に作成・配布した。

一般	認知症について調べるには	新規
	企業情報について調べるには	改訂
	防災について調べるには	改訂
地域資料	市川と相撲	新規
こども	お金や経済についてしらべよう	新規
	防災についてしらべよう	新規

レファレンスの用に供するため、10種類のオンライン・データベースを導入している。新聞記事検索、官報検索がよく利用され、平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスの利用も定着している。

デジタル化資料複写枚数（５年間の推移）

年度	令和元	令和２	令和３	令和４	令和５
件数	376	566	879	92	220

※令和4年度よりデジタル化資料の複写が、一部個人登録者でも可能となったため減少傾向にある。

地域館におけるレファレンスについては、中央図

書館がバックアップするなどし、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

レファレンス受付館別件数

中央図書館	20,512	信篤図書館	2,344
行徳図書館	10,908	平田図書室	1,490
南行徳図書館	2,005	市川駅南口図書館	5,534
合計			42,793

（４）関連施設・類縁機関との連携

①市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校４校に設置され、併設されている学校図書室と読書教育の推進を担ってきた。

平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の会計年度任用職員が市民ボランティア（ブラウン方式の貸出返却、本の整理等）の協力を得て図書室の運営を行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなど、それぞれ地域住民の活動の場として機能している。

- ・市立図書館とは別に、それぞれの図書室で（ブラウン方式）貸出の利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。
- ・図書館とオンライン化されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができ、その手続きは会計年度任用職員が行っている。
- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回。
- ・令和３年11月１日より図書館利用券の更新サービスを開始した。
- ・令和４年11月18日より視聴覚資料の貸出・返却・予約受け渡し等の取り扱いサービスを開始した。

②公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の７館に公民館図書室が設置されている。公民館図書室の運営については、公民館を所管する社会教育課が社会教育指

導員を配置している。

但し、市北部地域の図書館サービスを拡充するため、大野・西部公民館図書室は中央図書館が所管し、会計年度任用職員が運営している（令和5年度も引き続き大野に再任用1名を配置）

なお、公民館図書室7室の図書費は図書館が予算化し、選書の審議を行っている。

令和5年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の5室の公民館図書室は、貸出日のみ開室とした。

ア. 大野・西部公民館図書室…図書館システムによる蔵書管理

大野公民館図書室は平成28年12月から、西部公民館図書室は平成31年3月から、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館の利用券で共通に利用できることとし、図書の貸出点数は、市立図書館と同じ20冊までとなった。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

- ・平成31年4月からの視聴覚資料の返却可能に続いて、令和3年6月から、大野・西部公民館図書室は、視聴覚資料の予約受付を開始した。
- ・令和3年10月から、西部公民館図書室は火曜日を開室し、貸出を週6日に拡大した。
- ・令和4年1月5日から、大野・西部公民館図書室は、リクエスト（所蔵しない図書の予約）受付を開始した。
- ・令和5年6月に返却ポストを西部公民館入口に設置した。

イ. 曾谷・東部公民館図書室…受取拠点

貸出方法は、ブラウン方式（1人2冊）を採用しており、それぞれの図書室で利用登録が必要。その返却は、借りた図書室に限定。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書検索、市立図書館の図書・雑誌の返却と予約の受付・受取ができる。

市立図書館の物流便は週2回巡回。

令和4年8月から開室と貸出時間を変更。

	午前	午後
開室時間	9:00～12:00	13:00～17:00
貸出時間	9:30～12:00	13:00～16:30

ウ. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

貸出方法は、曾谷・東部公民館図書室と同様。市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

市川・市川駅南公民館図書室は、集会室の不足を補うため、規模が縮小されている。

また令和4年8月から、市川・市川駅南・本行徳公民館図書室は、開室時間と貸出時間を曾谷・東部公民館図書室と同様に変更した。

③男女共同参画センター（ウィズ）情報資料室

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。蔵書と利用者管理を図書館システムに一元化しており、市立図書館利用券で利用できる。また、市立図書館の蔵書を予約・受取も可能。

水・土・日曜日の週3日のみを貸出日として開室。

施設の所管は、総務部ダイバーシティ推進課だが、図書購入費及び会計年度任用職員の人件費は図書館費。

市立図書館の物流便は、毎週水・日曜日に巡回。

④いちかわ情報プラザ2階

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の資料の予約貸出のみを委託業者が行っている。なお、図書・雑誌の返却は窓口横に設置されている返却ポストに投函。

市立図書館の物流便は、ほぼ毎日巡回。

⑤「学校図書館支援センター事業」に参加

公共と学校、また学校間が相互に連携し、図書資料や情報を流通させることで、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用している。学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

ア. 参加校数

市川市立の義務教育課程の学校55校（小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校）

及び幼稚園 6 園。

イ. ネットワーク用資料の整備

中央図書館や市内図書館所蔵の資料のほかに、複数の学校からの要望にも対応するため、ネットワーク専用資料10,941冊（令和6年3月末現在）を中央図書館で所蔵している。令和5年度は購入、寄贈等により189冊の受入れを行った。

ウ. 資料提供

参加校（園）の教職員からの依頼により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館及び参加校（園）に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は、自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、当該校に貸出をする。配送は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校とを結んでいる。

物流回数		70回
貸出冊数		3905冊
依頼件数 435件	内訳	小学校 292件
		中学校 96件
		義務教育学校 4件
		幼稚園 11件
		特別支援学校 32件

エ. 指導研究・調整事務

毎年行われる教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者による学校図書館研修会では、教育センターの職員から資料の配布と確認事項の説明を行ってもらった。

⑥大学図書館及び他機関とのネットワーク事業

ア. 千葉商科大学付属図書館

18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学付属図書館の利用（閲覧、貸出、複写）が可能となり、現年度有効の図書館利用券が発行される。

大学付属図書館の窓口には、市立図書館システムの端末が設置されており、市川市図書館の図書・雑

誌の予約・受取ができる。また、図書館入口の返却ポストが設置されている。

令和5年度は、コロナ禍で入構制限を行っていたが、8月21日より、大学外部利用者の入構制限を一部解除し、返却ポストの利用を再開した。また、連携サービス再開に向けて、CUCライブラリーカードの交付を受けなくても、市立図書館の所蔵する資料の予約受取の際は入館できるなど、中央図書館と千葉商科大学との連携協定書を一部変更し、令和6年4月からの本格再開に向けて大学側と調整を行った。

イ. 和洋女子大学図書館

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学図書館所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互の物流は、搬送する図書・文書等があるときのみ、金曜日に中央図書館の物流便で行っている。

コロナ禍で大学関係者以外の入構制限を行っていたが、令和5年5月8日より再開となった。図書の貸出・借受けは0件であった。

ウ. その他

市川市民（在勤含む）が前記以外の大学図書館等を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

令和5年度に発行した紹介状は0件であった。

⑦三者連携「おにたかとらい」

千葉県立現代産業科学館、ニッケコルトンプラザ、市川市生涯学習センターの三者での連携は、以前に「さんしゃまつり」を実施していたが、新たに地域教育活動の拠点として連携する事業「おにたかとらい」として再開した。鬼高地区に新たな価値を生むべく挑戦し、地域の活性化と発展のために寄与することを目的とする。

令和5年度（幹事館：現代産業科学館）は、13事業を展開（別表参照）。例えば、7月には「知的好

奇心を刺激する本」と題して、科学館の学芸員がおすすめする科学の本を中央図書館でPOP形式で紹介した。

⑧市の包括協定等での連携

ア. 明治安田生命保険相互株式会社

市川市と明治安田生命保険相互会社は、それぞれが緊密な相互連携と協働による活動を推進し、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、市民の健康増進や市民サービスの向上を図ることを目的として、包括的な連携に関する協定を令和3年7月1日に締結している。

令和5年度は、以下の二つの講座を依頼。

○わたしと家族の「そうぞく」講座（7月4日）

○親子で学ぶ！こども航空教室（2月3日）

イ. 株式会社千葉ジェッツふなばし

市川市は「スポーツを通じて活力ある地域社会の形成及び市民の向上を図ること」を目的として、株式会社千葉ジェッツふなばしと包括連携に関するブースタウン協定を締結し、市川市民デーをはじめとした様々な事業を実施している（所管：スポーツ計画課）

この一環として、12月1日から1月28日まで、中央図書館絵画ラックに千葉ジェッツ選手の紹介写真パネルと選手・コーチからの愛読書紹介メッセージを展示。

ウ. 和洋女子大学

和洋女子大学こども発達学科と家政福祉学科の有志学生が1月21日に子ども向けワークショップをこどもとしょかんで開催。このワークショップは、千葉県誕生150周年記念「いちかわ芸術祭」の記念イベントの一環であり、読み聞かせや工作等を行った。参加人数は78名であった。

（５）対象別サービス

①児童サービス

「市川市子どもの読書活動推進計画」の第二次計画が令和5年度より施行されたことに基づき、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるように、推薦図書リストの継続的な作成やイベント等を開催し、教育センター、こども館など行政各部門と連携して、子どもの読書活動を推進している。

ア. 推薦図書リストなどの発行

子どもの年齢や学年ごとにお薦めの本のリストやリーフレットを作成し、配布している。

小学生向けおすすめの本リストである「本のぼけっと」は、2023年版を新たに作成、基本版2号を増刷し、学校等に配布した。

保護者を対象に絵本の選び方を解説した「本のほかほかだより」0～13号と付録（読み聞かせの本リスト1号・2号）、「新一年生の保護者の方へ」は継続して配布している。

イ. 本の紹介展示による読書啓発

こどもとしょかんや地域館の児童コーナーで、季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

こどもが参加できる企画として、従来の母の日、父の日、七夕の短冊願いに加えて、絵本「ぐりとぐら」刊行60周年の塗り絵や写真撮影スポットを設置した。

ウ. 定例の読み聞かせ会の再開

各図書館では、コロナ禍で読み聞かせ等イベントの回数を減らし人数を制限していたが、本格的な再開に向けて様々な取組を実施した。

こどもとしょかんの「わらべうたであそぼう」「おはなし会」、行徳図書館の「えほんの会」を再開した。

市川駅南口図書館では、隣接するキッズステーションでの読み聞かせ12回のほか、市川駅北口にあるMIRATZ市川保育園（在園児対象）に、奇数月に6回開催した。

館	イベント名	対象年齢	回数	人数
中央	えほんの会	4歳～小学生親子	41	447
	らっこの会	0～3歳親子	24	403
	わらべうたであそぼう	0～3歳親子	21	193
	おはなし会	4歳～小学生	11	175
行徳	えほんの会	4歳～小学生親子	24	425
	小さい子のためのえほんの会	0～3歳親子	10	73
信篤	えほんの会	3歳～小学生親子	11	13
南行	えほんの会	3歳～小学生親子	6	20
駅南	えほんの会	0～3歳親子	18	325

エ. 本に親しむイベントの実施

※（7）④館内行事／児童・ヤングアダルトを参照

定例の読み聞かせの会のほかに、本に親しみをもち、新たな本との出会いを創出するイベントを、順次再開した。

夏休みの企画として、中央図書館で「キミも1日図書館員」を開催した。

行徳図書館では、コロナ禍前にこどもとしょかんで実施していた「ぬいぐるみおとまり会」を再開しSNSで好評だった。

中央図書館のイベントでは体験型やクイズ形式の企画は人気が高く「小学生向けとしょかんツアー」（10月）、「えほん福笑い」（2月）を実施した。

庁内各課との連携企画も、行徳図書館では、恒例の自然博物館の学芸員以外に、野鳥観察舎あいねすと「行徳の野鳥とともにだちになろう」、臨海整備課「海苔ってどうやってつくるのかな？」等、地域性を活かした取組を実施した。

外部講師に依頼した企画として、「ヨガとえほんをたのしもう！」（9月）、明治安田生命保険相互会社による「親子で学ぶ！こども航空教室」（3月）などを中央図書館で開催した。

オ. 乳幼児サービス

中央図書館では、コロナ禍で中止していた「わらべうたであそぼう」（0歳から3歳までの親子対象）を再開した。また、乳幼児の保護者対象の講座「はじめまして赤ちゃん絵本」を年2回開催し、新たにリーフレットを作成した。

市川駅南口図書館では、「親子でうたってあそぼう 手あそびわらべうた」（4月）を実施した。

カ. 読書環境の整備

市内の認定こども園、小規模保育事業所の読書環境の整備を目的に、リサイクルブック市で優先的に絵本を選んでもらえるように招待した。こども部の担当課を通じて、ウェブサイトで事前予約申込ができるようにQRコード付きのメール送信を依頼した。

若宮公民館児童ルームでは、寄贈本を活用して本棚の約800冊の本の総入替を行い、こけらおとしとして公民館文化祭で中央図書館の職員が読み聞かせを行った。

大柏川ビジターセンターでは、学校司書で構成される「てんとうむしの会」が、図書館推し活企画として、定例で読み聞かせを行い、また、絵本コーナーの壁面構成を改めた。

キ. 大型絵本・大型紙芝居

コロナ禍で密接せず、遠くからも見える大型絵本と大型紙芝居は、非接触サービスの一環として大きな役割を果たした。従来、団体への貸出利用に限定していたが、令和3年11月から市内在住・在勤・在学の個人利用者への貸出を始めた。

所蔵タイトル数：大型絵本111冊、大型紙芝居16点

保育園従事者への利用を促すため、教職員貸出の利用案内の改訂を行った。

また、3月には市民より大型絵本架1台の寄贈を受けた。

ク. 出張サービス

コロナ禍で中止していた市内の小学校・保育園・幼稚園を対象に、出張おはなし会「おはなしバスケット」を再開したが、依頼は少なかった。

日時	館名	校名・園名	対象	人数
6/23	中央	デイジー保育園	3～5才	27人
7/13	中央	菅野小学校	1年生	約100人
10/2	行徳	塩焼幼稚園	年少・年長	85人
11/1	中央	南新浜小学校	1・2年生	約200人
1/17	中央	新浜幼稚園	年少・年長	36人
12/13	信篤	信篤幼稚園	年少・年長	47人

そのほか、現代産業科学館や歴史博物館のイベント、公民館の文化祭等にも読み聞かせに赴いた。

ント、公民館の文化祭等にも読み聞かせに赴いた。

ケ. まちたんけん・地域学習

小学生が地域への意識を高める授業の一環であり、訪問先として近くの図書館を選択しており、各館で受入れした。

日時	館名	学校名	回	人数
11/18	中央	鬼高小学校2年	1	3
11/16	行徳	新浜小学校2年	1	16
11/25	南行徳	南行徳小学校2年	2	21
10/19	駅南	宮田小学校2年	1	4
11/9	駅南	宮田小学校2年	1	4
11/14	駅南	市川小学校2年	2	12

コ. 職場体験

児童生徒が「働くこと」への関心をもち意欲を高めるとともに、図書館の担う役割や読書の大切さを理解してもらうために、学校の職場体験学習に協力している。

日時	館名	学校名	人数
7/13	行徳	日出学園中等部2年	1
7/13	駅南	日出学園中等部2年	1
10/12	駅南	宮田小学校6年	3
10/12～13	中央	第三中学校2年	3
10/17～20 10/24～25	駅南	県立特別支援学校 市川大野高等学園1年	1
11/22	行徳	第七中学校2年	6
2/8	中央	筑波大学附属聴覚特別 支援学校 中学部2年	2

サ. 学級文庫

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った(学校ネットワーク物流便利用)。

学校種別	貸出冊数	(内特別支援)
小学校	2,140冊	(340冊)
中学校	100冊	(100冊)
義務教育学校	0冊	

シ. 市川よみっこ運動

作家の故・井上ひさしが提唱し、読書を通じて子どもたちと大人が交流を深め社会貢献をする地域運動「市川よみっこ運動」から、ビブリオバトルで集めた募金による本94冊(中央38、行徳36、市川駅南口20)の寄贈を受けた。

また、図書館推し活企画として「よみっこひろば」が定例で毎月開かれている。

ス. その他

SNSでの要望に応じて、令和4年2月にこどもとしょかん内に大人の本を載せたブックトラックを1台設置した。趣味や手芸等の本を主とし、子どもが本を選ぶ間に、親が手にして貸出もできるため好評であり、令和5年度の貸出冊数は、2,476冊であった。

また、子ども向けの英語多読資料として、Oxford Reading Tree等のシリーズを、寄贈本を活用して受入し、洋書絵本棚の一面に配置した。

②ヤングアダルトサービス

中学生以上19歳までの世代を、Young Adult(若い大人)としてとらえサービスを行っている。

中央図書館では、児童と一般の枠にとらわれず、対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般フロアの一面に設けている。コーナーでは、3か月ごとにテーマを決めて特集展示を行い、展示ポスターは市内の中学生から募集している。

行徳と南行徳図書館においては、児童フロアの一面に書棚を設けている。行徳図書館は、年に4、5回程度テーマを決め特集展示を行っている。資料は、中学生以上向けの児童書である。南行徳図書館では中高生向けの文庫が中心である。

ア. 発行物「Young Adult通信」

中高生向けのブックリストとして、年1回作成。令和5年度は第84号を発行し、市内公立中学校の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布し、図書館ウェブサイトにも掲載している。

「入門編」は、中高生向けの利用案内として、図書館内で配布するほかに、市内公立中学校1年生を対象に5月頃に配布。

「てっぱんせれくと号」は、10代のうちに会ってほしいおすすめの本のリストであり、市内公立中学校2年生を対象に夏休み前に配布。

「号外 新生活応援号」は、卒業する市内公立中学校3年生を対象に春休み前に配布。

イ. イベント

・YA“夏季”氷本

8月に、涼しく感じられる本をホラー系とクール系に分け、かき氷のイラストをつけて1冊ずつ包み用意し、32セット貸出した。

・YAマイブックシェルフ イチヒガ

8月31日に千葉県立市川東高等学校の図書委員会生徒5名が来館し、おすすめの本を集めた棚を作成した。そこで紹介された本は、常に貸出され好評だった。

・YA“めで”たいやき本

12月～1月に、「暖かい」「熱い」の二つのテーマに分け、1冊ずつ包み中身を隠して用意して、27セット貸出した。

・Yサポ（YAサポーター）大募集

Young Adultコーナーや図書館をPRする活動をするボランティアとして随時募集。本の紹介文POPの作成や、イベント手伝い等の活動を延べ29人、21回行った。

ウ. 学校との連携

市内の中学校（昭和学院、第一中、第三中、第七中、福栄中）及び県立高等学校（国府台、市川南、市川東、市川昂）から校内で作成した本の紹介文POP等を借用し、各校約2～3か月の期間でYoung Adultコーナーや、一般の新作本コーナー横、絵画ラック等に展示し、紹介本は、常に貸出され好評だった。

③障がい者サービス

図書館を利用する上で心身等に何らかの障がいがある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、布の絵本・布のおもちゃ、LLブック等を、購入やボランティア団体の製作によって蔵書として提供している。音訳図書、文芸カセットについては、資料の経年劣化を踏まえ、他媒体での補完も可能であることから令和元年3月末で提供を終了した。

中央図書館障がい者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン（音声読み上げ可能）、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、中央図書館案内カウンター・レファレンスカウンターには聞こえをサポートする対話支援機器comuoon（コミュニケーション）を、中央図書館フロア・行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行っている。視覚障がい者に対しての対面朗読は新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年4月より中止している。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校、県立市川特別支援学校を対象に案内パンフレットを配布し、学校ネットワークを通して貸出を行っている。

令和5年度には、障がい者支援課主催の障がい者週間イベント「I♡あいフェスタ2023」の一環として、第1庁舎1階ファンクションルームにて、障がい者用資料の展示を行った。

障がい者サービス登録者数(年度新規と累積)

状況種別	視覚	聴覚	内部疾患 肢体不自由	外来困難者 その他	合計
新規	0	0	3	6	9
累積	103	146	170	117	536

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

令和5年度は英語図書19冊、中国語図書41冊、その他の言語1冊、児童書洋書175冊を受け入れた。

ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

イ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市から寄贈された韓国語資料のコーナーを設置している。

ウ. 逐次刊行物（市内全館所蔵タイトル数）
洋雑誌：9 新聞：英語 3／中国語 1／韓国語 1

⑤団体へのサービス

ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

・登録・貸出

市川市在住・在勤・在学者を主な構成者とし、継続的に利用し、図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とし、更新は年度ごと。

貸出期間	図書：31日	CD：15日
貸出点数	図書：無制限	CD：3点
予約(窓口のみ)	1日5タイトル、累計20点まで 新規資料の購入はしない	

・活動場所の提供

中央図書館では、図書館関連5団体に活動場所として地下集会室・サークル室を提供している。

イ. 読書会サポート

・資料の提供

読書会で同タイトルの資料が複数必要となる場合は、図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意し、受取希望日の3週間前から予約を受付けている。

読書会向けに同タイトルの本を揃えた県立図書館の「十冊文庫」の依頼は0件であった

年度	令和3	令和4	令和5
登録団体数	36	43	48
貸出冊(点)数	4,291	4,624	6,317

(6) 資料別サービス

①地域資料

ア. 地域行政資料

地域行政資料（市川市、千葉県に関する資料）を収集し、独自の分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

イ. 市民文庫と特別コレクション

市民文庫（市川市に関連する文学者の著作、市民が書いた著作）を受入れ、特別コレクション（永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作）は論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

ウ. 展示

中央図書館では絵画ラックやガラスケースを利用して地域に関連する展示を年4回行った。

例えば10～11月は、千葉県誕生150周年を記念した特集展示「We Love Chiba」にあわせ、ガラスケースで「万葉集と市川」と題して、『手児奈尊靈略縁起』等の手児奈関連の貴重書を公開したほか、絵画ラックでは、「千葉県の大正・昭和・平成」のパネル展示を行った。

また、11～12月には、ガラスケースで「南総里見八犬伝に描かれた市川」と題して、市川を描いた場面の浮世絵を中心に掲載図書を展示した。この展示に関連してSNS（X）で浮世絵に関するパスファインダーを紹介したところリツイートされアクセス数が高かった。

令和6年2～3月には、特集展示「本でたどる「道」」に関連して、ガラスケースと絵画ラックで東山魁夷が描いた「道」の絵の掲載図書やポスターを展示した。

エ. イベント

市川駅南口図書館では、「井上ひさしと市川の街」と題して、劇団こまつ座の井上麻矢氏の講演やウィキペディアタウンで市川の魅力を発見する企画を実施した。

図書館推し活企画では、市川市作家協会が「斉東鉄腸さんトーク&サイン会」を実施し、図書館に本の寄贈をされた。

オ. 電子化とウェブサイトによる情報発信

3月に、地域資料パスファインダー「市川市ってどんな街？7 市川と相撲」を発行し、ウェブサイトに掲載した。また、「大柏川第一調整池緑地だより」のデータの提供を受け、Web-OPACのデジタルアーカイブで館内公開を開始した。

②視聴覚資料

中央図書館ではCD・ビデオ（市の広報のみ）・DVD、行徳図書館ではCD・DVD、市川駅南口図書館ではDVDを所蔵している。

ア．視聴覚資料（CD・広報ビデオ・DVD）の提供に関すること

貸出点数は、1人CD3点、DVD2点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴コーナーの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ．試聴コーナーに関すること

〔設置台数〕中央図書館：CD用（1台）

③その他

中央図書館の視聴覚資料の棚に、健康都市推進課の協力で「SDGsってなんだろう？ SDGsブックコーナー」を令和3年8月から設置している。

同じく令和2年6月から設置した、人気時代小説作家のコーナーは、好評につき作家数を15名に増やして継続している。

（7）主催事業

①リサイクルブック市

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料及び寄贈

資料のうち既に所蔵があるものや資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効活用するため、利用者に無償で提供するリサイクルブック市を開催している。

「市川図書館友の会」が共催し、平成14年度より会場で図書館支援のための募金活動を実施してきた。

令和5年度は、中央図書館の施設対象では、読書環境の整備を目的に子育て施設を優先的に招待するため、施設枠についてグループ順位を整理した。

中央図書館の一般向けでは、生涯学習センターグリーンスタジオを使用し、午前の枠のみを事前抽選制とした。行徳図書館では、小規模図書館で実施してきたリサイクルコーナー設置型を参考に、期間を設けて支所連絡通路や図書館エレベーターホール前で実施した。

そのほか、6月4日に環境フェアがコルトンプラザで開催され「SDGsぷちリサイクルブック市」と称してテントブースで出展し、306人が来場した。

また、1月14日に、JR・都営・京成の鉄道三社が八幡駅で「フードドライブ&ブックドライブ」を開催し、そこで寄せられた約2,000冊の本が、図書館に寄贈された。

令和5年度リサイクルブック市等実施状況

	実 施 日	対象及び参加数	準備冊数及び提供冊数（提供率）	備 考
中央 （第28回）	令和5年10月20日（金）	保育園等 107団体	準備：23,995冊 提供：12,610冊 （提供率：52.6%）	市川図書館友の会協力
	令和5年10月21日（土）	一般市民 798人		
環境フェア	令和5年6月4日（日）	306人	準備：1,540冊 提供：970冊 （提供率：62.9%）	SDGs関係と新書を提供
行徳 （第24回）	令和5年11月3日（金）～11月17日（金）	集計なし	準備：5,624冊 提供：5,508冊 （提供率：97.9%）	リサイクルコーナー設置（支所連絡通路、後にEVホールでの開催）
信篤 （第23回）	令和5年10月21日（土）～11月29日（水）	集計なし	準備：2,449冊 提供：2,424冊 （提供率：99%）	リサイクルコーナー設置（玄関ホール） 但し、初日と二日目は3階「おはなし室」
平田	令和5年11月2日（木）～11月12日（日） 令和5年11月14日（火）～11月29日（水）	集計なし	準備：2,711冊 提供：2,523冊 （提供率：93.1%）	リサイクルコーナー設置（1階）
南行徳	令和5年12月1日（金）～12月3日（日）	集計なし	準備：1,530冊 提供：1,285冊 （提供率：83.9%）	リサイクルコーナー設置

②特集展示

中央図書館特集展示 一般フロア []は連携先

展示月	展示 1	展示 2	小展示・臨時展示	ヤングアダルト 展示	ガラス展示 1	ガラス展示 2	絵画ラック
4 月	日々を記す	数学の日	手紙を書こう	部活しか かたん。	切り絵作家 CHIKU 先生の 楽しい切り絵の世界		日本の花の こよみ
5 月		八十八夜 ～茶と霜～	大人におすすめの 絵本		長雨とともに楽しむ 長い長い物語		
6 月	外へ出よう！		探求心		市川市懐かしい あの頃	市川市 懐かしい あの頃	長雨とともに 楽しむ 長い長い物語
7 月		知的好奇心を刺激する 本/宇宙への憧れ 〔現代産業科学館〕		宙～そら～	市川市の クマゼミ多産地 南大野地区 (推し活)		Y A イラスト展
8 月	小説で夏を 体感しよう！	脳の不思議 〔地域包括 支援課〕	市川市作家協会 会員の本		しかけ絵本の 世界 〔文学ミュージアム〕	関東大震災と 市川市制施行 〔歴史博物館〕	
9 月			さあ心に憩いのひと ときを〔健康支援課〕	宮沢賢治 没後90年	千葉県の大正・昭和・平成		
10月	We Love Chiba	ハチ公 生誕100年 犬といっしょに	はかる 〔現代産業科学館〕	万葉集と市川		南総里見八犬伝 に描かれた市川	Go!JETS!! 千葉ジェットふなばし in市川市中央図書館 千葉ジェットふなばし 包括連携事業 〔スポーツ計画課〕
11月			スポーツを 楽しもう	源氏物語絵巻	浮世絵に描か れた富士		
12月	紫式部と その時代	王	フレイル 〔地域連携課〕			東山魁夷が 描いた「道」	横尾忠則 (推し活)
1 月			和田誠の本 〔文学ミュージアム〕	カコ⇔ミライ			
2 月	本でたどる 「道」	コンピューターと 私たちの暮らし			大正浪漫		
3 月							

「SDG s ってなんだろう? SDG s ブックコーナー」

SDG s (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2016年から2030年までの15年間で、社会分野、経済分野、環境分野の問題を解決することを目指した世界共通の目標。

健康都市推進課との連携で、各分類、児童書から本を選び、元視聴覚資料の棚(展示10)で令和3年8月から開設。



中高生本の紹介文POPの展示

Young Adultコーナーでの展示以外に、吹き抜け下の特集展示前を使用

展示期間	学校名	冊数
6/1(木)～7/27(木)	市川第七中学校	13
7/29(土)～9/28(木)	昭和学院中学校	13
7/29(土)～9/28(木) 1/5(金)～2/28(水)	福栄中学校	36
9/30(土)～12/27(水)	市川第一中学校	5
11/1(水)～12/27(水)	市川第三中学校	23
	千葉県立国府台高等学校	45
1/5(金)～2/28(水)	千葉県立市川南高等学校	17
3/1(金)～4/25(木)	市川昂高等学校	24
	市川東高等学校	40

中央図書館特集展示 こどもとしょかん []は連携先

展示月	メイン展示	ガラスケース (フロア側)	ガラスケース (メイン展示側)	ロビー側	小展示	一般 展示塔
4月	さあ！しゅっぱ つ！！	のりもの	うさぎ	はるがきたよ	新一年生 ／としょかんや本がで てくる本／こどもの日	ババール
5月	ふしぎがいっぱい！ カガクノホン		さかざきはるの 世界	絵をかこう！	おかあさんの本	
6月		さかざきはる の世界 [文学ミュージアム]	むし	雨	おとうさんの本／ 七夕	早野たづ子 [文化芸術課]
7月	本のぼけっと大集合	虫		七夕／星の本		
8月		虫／星と宇宙 [現代産業科学館]		くま館長からの 挑戦状		
9月	ひるまのせかい よるのせかい	早野たづ子 [文化芸術課]	日本の昔話	実りの秋	おじいちゃん おばあちゃん	
10月			ぐりとぐら	実りの秋／はかる [現代産業科学館]	ハロウィン	
11月	クリスマス			クリスマス	クリスマス	—
12月			クリスマス	クリスマス	—	
1月	十二支のいきもの		十二支	雪／ 本となかよし給食 [保健体育課]	お正月／鬼・節 分/和歌山静子	こねこのぴっち
2月			きょうりゅう	和田誠 [文学ミュージアム]	鬼・節分/柚木沙 弥郎/ひなまつり	
3月	はなとみどりいっぱい				ひなまつり/ 新一年生	

行徳図書館特集展示 3階 一般フロア []は連携先

展示月	メイン展示	小展示
4月	令和のベストセラー	㊦開業40周年 東京ディズニーランド/パブロ・ピカソ 没後50年
5月	本でめぐる植物の世界	—
6月		千葉県誕生150周年
7月	むし・ムシ・何の虫	追悼 ミラン・クンデラ
8月		平和への願い/追悼 森村誠一
9月	関東大震災100年 [地域防災課]	宮沢賢治 没後90年/知らせてほしい、心のSOS（自殺予防週間） [健康支援課]
10月		イスラエルとパレスチナ
11月	お札の顔・日本の顔	追悼 酒見賢一
12月		追悼 伊集院静/追悼 山田太一
1月	花開く王朝文化 —平安人の姿—	—
2月		ガリレオ・ガリレイ 生誕460年
3月	運ぶ 届く	高峰秀子 生誕100年

行徳図書館特集展示 2階 児童・ヤングアダルト

展示月	メイン展示	サブ展示	小展示	季節の展示	ヤングアダルト
4月	のびーるのびる	おはながさいたよ	アーノルド・ローベル	本が出てくるお話	パンダが好き
5月	千葉県150周年	おかあさん	詩の絵本	こいのぼり	
6月		雨の季節		おとうさん	考えてみよう お金のこと
7月	さかな うみのいきもの	夏がきた	ハッチンス	たなばた	
8月				平和への願い	アツイ本 ここにあり！
9月	むかしばなしを たのしもう	防災の本 関東大震災から100年	宮沢賢治	月	
10月		あきみつけた		ハロウィン	動物の赤ちゃん
11月	クリスマス		五味太郎	家族っていいね	
12月		あそびましょ わらいましょ		お正月と辰の本	映えスイーツ
1月	しあわせの あまいもの		和歌山静子		
2月		のりものあつまれ		ひなまつり	
3月	春だよぼかぼか		モーリス・センダック		—

信篤図書館 特集展示

展示月	一般	児童
4月	新生活	はる
5月	生誕100年 池波正太郎 遠藤周作	おいしいものすき？ 6月小展示（6月下旬～） あめ
6月		
7月	海の日 山の日	なつのおはなし／本のぼけっと／課題図書 小展示（～7月上旬） あめ
8月		
9月	〇〇の秋 読書/芸術/食欲…	まほう まじょ おばけ
10月		
11月	家族	かぞく
12月	年末年始	クリスマス／おしょうがつ
1月	映画・ドラマになった本	おしょうがつ／ふゆのはなし
2月		小展示（1月中旬～2/4） おに
3月	春から始めよう	おともだち

南行徳図書館 特集展示

展示月	一般	児 童	
4 月	健康	ともだち／幼稚園・保育園・小学校	春／本のぼけっとと基本版
5 月	社会悪		ともだち／本のぼけっとと基本版
6 月		雨	
7 月	芥川賞・直木賞・ 本屋大賞	おばけ	夏／課題図書／本のぼけっと
8 月			秋／おいしいもののほなし
9 月	秋	かぞくっていいね	クリスマス
10月			
11月	家族	ふゆ	お正月・干支（辰）／本のぼけっとと基本版
12月	年末年始		
1 月	夢・野望・志	夜のほん／春	本のぼけっとと基本版／新一年生
2 月			
3 月	はじめまして		

平田図書室 特集展示

展示月	一般		児童
4月	「北海道」を知ろう	笑い	はるがきた
5月	「九州」を知ろう	リラックス	大きい、広い、高い
6月			てんき
7月		妖怪・怪談・幽霊 怖い絵等	おばけっているの？
8月			
9月	宇宙		おしごと
10月			まほう、まじょ
11月	家族		たいせつなかぞく
12月	年末年始		クリスマス
1月	初心者向けハウツー関連の本		たつ・おしょうがつ ふゆのあそび
2月			ともだち
3月	随筆・エッセイ		おてがみ

③その他イベント

講座

開催日	館名	講座名・内容	人数	講師	場所
6/16 (金) 11/17 (金)	中央	はじめまして赤ちゃん絵本	34人	図書館職員	こどもとしょかん
7/4 (火)	中央	わたしと家族の「そうぞく」講座	22人	明治安田生命保険 相互会社 講師	メディアパーク地下集会室
9/18 (月・祝)	中央	(一般向け) 図書館 de ヨガ	14人	水澤千香氏 (ヨガインストラ クター)	メディアパーク地下集会室
		(親子向け) ヨガと絵本をたのしもう！	23人		こどもとしょかん
2/3 (土)	中央	親子で学ぶ！こども航空教室	25人	明治安田生命保険 相互会社 講師	第3研修室
2/16 (金)	中央	スマホで簡単予約！図書館利用講座	9人	図書館職員 (広報公聴課)	メディアパーク地下集会室

おすすめの本のイベント 本を包み、何の本かわからない状態で貸出

館名	対象	イベントタイトル	開催期間	貸出数
中央	中高生 向け	YA “夏季” 氷本	7/29(土)～8/13(日)	32
		YA “めで” たいやき本	12/16(土)～1/8(月)	27
行徳	一般 向け	イチオシBOOK in spring	4/29(土・祝)～5/1(月)	35
		イチオシBOOK in summer	8/11(金・祝)～8/17(木)	50
		イチオシBOOK in autumn	11/1(水)～11/5(日)	50

福袋 (新年のイベント 1月5日～) おすすめの本を袋に詰めて貸出

館名	一般向	子ども向	YA向	備考(タイトル、期間など)
中央	177	400		一般は「本のお楽しみ袋」～12日(金) 子どもは「わくわくいっぱいふくぶくろ」～7日(日)
行徳	45	58	2	「福袋」一般～8日(月・祝)、子ども～6日(土)
南行徳	10	14		「福いち」～7日(日)
信篤	10	20		一般「福壺」～6日(土)。子ども「本のふくぶくろ」～10日(水)

④館内行事／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	児童行事名	人数・貸出数
4/22（土）	中央	はるかぜえほんの会	16人
4/27（木）	行徳	親子でステンドグラス風の こいのぼりをつくろう	24人
6/15（木）	行徳	チャレンジ千葉県の歴史	20人
7/1（土）～7/7（金）	行徳	みんなで天の川をつくろう	延べ111人
7/22（土）	中央	夏のおたのしみ会	65人
7/27（木）	行徳	水中エレベーターをつくってあそぼう	26人
7/30（日）	中央	生きている虫が図書館にやってくる！〔自然博物館共催〕	336人
8/1（火）～31（木）	中央	くま館長からの挑戦状	657冊
8/11（金・祝）	信篤	小学生のためのおはなし会	8人
8/16（水）	中央	小学生のためのこわいおはなし会	12人
8/17（木）・18（金）	中央	キミも1日図書館員	12人
8/24（木）	行徳	夏の虫をかんさつしてみよう〔自然博物館共催〕	196人
8/31（木）	中央	YAマイブックシェルフ by イチヒガ！	5人
10/27（金）～11/9（木）	行徳	むかしばなしクイズ	204人
10/28（土）	中央	秋空えほんの会拡大版「小学生向け図書館ツアー」	20人
11/8（水）	行徳	海苔（のり）ってどうやってつくるのかな？〔臨海整備課共催〕	32人
11/19（日）	中央	「はかる」読み聞かせ会〔現代産業科学館共催〕	24人
12/16（土）～12/23（土）	行徳	ぬいぐるみおとまり会	52人
12/16（土）～12/24（日）	行徳	みんなでクリスマスツリーを作ろう	100人
12/23（土）	中央	冬のおたのしみ会	20人
1/6（土）	中央	絵本ふくわらい	38人
2/14（水）	行徳	行徳の野鳥とともにだちになろう 〔野鳥観察舎あいねすと・自然環境課共催〕	21人
2/25（日）	中央	「おにたかとらい」からの挑戦状	40人
3/23（土）	中央	親子で楽しむ科学遊びの会 空気砲で遊ぼう	70人

⑤館外への出張サービス／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	講座名・内容	人数	場所
5/17（水）	中央	子育て講演会「絵本講座」	11人	富貴島幼稚園
7/21（金）	中央	現代産業科学館での読み聞かせ（おにたかとらい） 「宇宙と星の世界を楽しもう」	27人	現代産業科学館
8/26（土）	中央	「ちょっと？怖い紙芝居・絵本の読み聞かせ」 （博物館ナイトミュージアム）	135人	歴史博物館
10/22（日）	中央	若宮公民館文化祭 こども図書館職員による読み聞かせ会	14人	若宮公民館
12/1（金）	中央	絵本がそばにある子育てっていいね〔東部公民館主催講座〕	19人	東部公民館
12/10（日）	中央	現代産業科学館での読み聞かせ（おにたかとらい） 「ふゆの世界を楽しもう」	43人	現代産業科学館
3/28（木）	中央	「絵本とのはじめての出会い」	28人	八幡親子つどいの広場

〈参考〉令和5年度 三者連携事業「おにたかとらい」実施記録

★は図書館が参加した事業 千葉県立現代産業科学館は表中「現代産業科学館」と略す

No	実施月日	事業名	内 容	状 況	備 考
1 ★	7月1日 ～7月27日	「知的好奇心を刺激 する本」 POP 展示・本紹介	【(会場) 市川市中央図書館—現代産業科学館】 「科学・技術が好きになる本」の紹介を科学館職員が POP を作成して本と共に図書館内に展示。科学に馴染のない利用者が、興味関心をもつきっかけとする。	好評。展示本の貸し出しや、科学館の広報物の持ち帰りの効果があった。	図書館との 協同
2	7月2日	星空フェスタ	【(会場) ニッケコルトンプラザ】 2F タワーコートに移動式のプラネタリウムを設置。 6 回上映×各回 35 名。(参加条件: コルトンこどもクラブスタンプカード or コルトンクラブ会員証画面と当日買い上げレシートの提示で 1 名参加可能) 【(会場掲示) 現代産業科学館】 広報物・ポスター掲示	総参加者数 208 名。 参加者に館広報物およびプラネタリウム上映会チラシ等配付し開催の周知を図った。	広報協力
3	7月15日	出張 科学館わくわく教室	【(会場) ニッケコルトンプラザ—現代産業科学館】 2 階タワーコートで 6 回実施×各回 20 名 「不思議なスタンドグラスをつくろう」工作教室開催。 偏光板と紙コップ、セロテープを使用してスタンドグラスを製作。	総参加者数 125 名。コルトンプラザ→メルマガ・館内掲示で広報。現代→近隣小学校配付チラシ・館ポスター掲示で広報。体験希望者の集客が図れた。	工作教室＋ 広報協力
4 ★	①7月15日 ～8月末 ②7月1日 ～8月31日	1. プラネタ関連 テナント協力 2. プラネタ関連本 紹介	1. 【(会場) ニッケコルトンプラザ内に隣堂書店】 2. 【(会場) 市川市中央図書館・こどもとしょかん】 プラネタリウム関連本紹介	星と宇宙に関連した書籍特設コーナー設置した。 あわせてプラネタリウム上映会ポスターを掲示し、開催の周知を図った。	関連本展示＋ 広報協力
5 ★	7月21日	読み聞かせ 「宇宙と星の世界を たのしもう」	【市川市中央図書館—(会場) 現代産業科学館図書室】 市川市中央図書館(こどもとしょかん) 司書 2 名を招いて、宇宙や星に関する読み聞かせを実施。	総参加者数 26 名。(小学生以下 15 名・保護者 11 名) 館プラネタリウム上映会広報	読み聞かせ ＋広報協力
6 ★	9月30日～ 10月29日	企画展「はかる」 関連本紹介コーナー	【(会場) 市川市中央図書館】 企画展「はかる」に関連する一般向け図書を集め、展示。同時に企画展ポスターを掲示し、開催の周知に協力。	「はかる」の関連 書籍特設コーナー設置等	関連本展示＋ 広報協力
7	10月8日	AI スマートコーチで「うご きを『はかる』」	【(会場) ニッケコルトンプラザ—現代産業科学館】 コルトンプラザ タワーコートを会場に、ソフトバンク「AI スマートコーチ」を用いてスポーツ支援サービス「うごきを『はかる』」体験を実施。	通行者対象。野球・テニス・剣道の動きを映像で分析、フォームを測る体験。終日 200 名の体験者があった。	ニッケコルトン＋ ソフトバンク

No	実施月日	事業名	内 容	状 況	備 考
8 ★	10月14日 ～ 11月29日	企画展「はかる」関 連本紹介コーナー	【(会場) こどもとしょかん】 企画展「はかる」に関連する子ども向け図書を集め、展示。あわせて企画展ポスターを掲示し、開催の周知に協力。	「はかる」をテーマにした絵本のウィンドー展示によって、見る人に興味関心をもってもらい、隣接する科学館の展示の開催を周知させることができた。	関連本展示 ＋広報協力
9	11月3日 ～ 12月25日	モザイクアート	【(会場) ニッケコルトンプラザ】 35 周年記念行事の一環として、画像を提供してモザイクアートに参加。	顔画像を多数集め、それを素材としモザイク壁画を制作。作品テーマは親しみのあるニッケコルトンプラザ正面風景。	事業協力
10 ★	11月19日	読み聞かせ 「はかる」世界をた のしもう」	【(会場) 読み聞かせ: 市川市中央図書館(こどもとしょかん) —(会場) 展示をみる: 現代産業科学館】 「はかる」に関する絵本の読み聞かせの後、希望者は科学館に移動し展示を見ることで、より理解と関心を高める。	総参加者数 24 名 こどもとしょかん内会場 終了後、科学館へは 2 組来館 (小学生以下 14 名、保護者 10 名)	読み聞かせ＋展示見学
11 ★	12月10日	読み聞かせ 「ふゆの世界」を たのしもう」	【(会場) 読み聞かせ: 現代産業科学館— 市川市中央図書館(こどもとしょかん) 司書 2 名を招いて、ふゆにまつわる子どもむけ読み聞かせを実施。 午後 2 時より当日先着順受付 2 時 30 分開始 定員 50 名	総参加者数 43 名。 (小学生以下 25 名、保護者 18 名)	読み聞かせ
12	1月27日	カガクへのとびら	【(会場) 中央こども館—現代産業科学館】 対象: どなたでも⇒未就学児とその保護者 科学館紹介 with ペッパーくん②演示実験(空気砲)⇒ ふしぎのたね・飛ぶ種⇒発明クラブ作品展見学 10 時 30 分～	約 120 名 (小学生 50 名・保護者及び未就学児 70 名)	見学・ 体験 イベント
13 ★	2月25日 13 時～15 時	「おにたかとらい」 からの挑戦状	【(会場) 千葉県立現代産業科学館—市川市生涯学習センター(中央図書館)—ニッケコルトンプラザ】 対象: 小学 3 年生から小学 6 年生(事前予約制/先着 10 名) 科学館・図書館・コルトンプラザ 3 施設の仕事の見学や体験をし、お仕事カードや特製缶バッジをもらう。 ・1ヶ所 30 分ずつ、3か所で、お仕事の見学や体験。	40 名 (小学生 21 名・保護者 19 名)	三施設 合同実施 イベント

(8) 市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）

① 展示

展示月	ギャラリー展示	一般展示	ビジネス展示	健康医療展示	児童展示
4月	市川子ども文化ステーション 子どもがつくるまち・ミニいちかわ 20周年記念展	うれしい たのしい おべんとう	人生の攻略本	ちょこっと 体改革	ともだち たくさん！
5月	高松啓二氏イラスト展 ～市川に住んだ・市川を描いた・作家たち～	読書でここに ビタミンを	あの人の仕事術	暗黒面(イライラ・鬱々)に打ち勝つのじゃ！	レッツゴー！ ハイキング
6月	じゅん菜池春夏秋冬	時空を旅する	SDGsについて 知ろう	生活習慣病を 予防しよう	大空を飛べ！
7月		夏休み、 何読もう？	P D C A × ファシリテーション	検査でわかる こと	牧場は にぎやか！
8月	行徳保護区の水辺から	怖い本。	リモートワークの すすめ	食と健康	さあ行こう！ ふねの旅
9月	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを！～	エキナナ楽器	デザインで 魅せろ！	スマホを使い続けると、 どうなるの？	真夜中の世界
10月	2023 エドロック・カワミューの足跡 ～新しい一歩をふみだそう	選手物語	経営戦略を学ぶ	運動で楽しみながら健康に！	くまさん くまさん
11月	赤レンガから展望する国府台のまちづくり～みんなで紡ぐ国府台物語 まちかどの近代建築写真展 ～全国の銀行建築～	「私のおすすめの一冊」	御社のいいところ ちょっとみてみたい！	ナチュラルな 生活	カラフル！
12月	スポーツによる地域活性化、まちづくり 併設展示～アスリートの寮ごはん～	キレイになって 新年を！	ともに働く	もしもに備える	メリークリスマス！
1月	伝えよう 知っておこう アジア ～マレーシアの住居文化の多様性と魅力～	美しき手仕事	人を動かせ	腸活 はじめました	2024年 たつ年
2月	和洋女子大学 服飾造形学科 卒業制作写真展	EKINAN COLLECTION2024	深みを出す(教養としての〇〇)	痛み	キラキラ 銀世界
3月	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科生徒作品展	暮らし リニューアル	仕事のいろは	認めます、 花粉症。	大切な家族

② 講座

開催日時	講座名	人数	講師	場所
5/14(日) 10:00～11:30	シニア向け iPhone 入門講座	7人	かもめ IT 教室代表 岩間麻帆氏	I-link ホール
8/20(日) 10:00～11:00	行徳保護区 水辺の生き物たち	6人	NPO 行徳自然ほごくらぶ	I-link ルーム
2/16(金) 13:30～15:00	フレイル予防で元気な身体づくり	17人	五関雅子氏	I-link ルーム

③イベント

開催日時	イベント名	人数	講師 等	場所
4/23(日) 10:00～10:30 11:00～11:30	親子でうたってあそぼう 手あそびわらべうた	親子4組 親子3組	市川駅南口図書館職員	市川キッズステーション
6/18(日) 10:00～17:30	駅南ウィキペディアタウン ～ オンライン百科事典で市川の魅力を発見しよう ～	6人	ウィキペディア日本語版 元管理者 海瀬（らっこ）氏	I-link ルーム
6/22(木)～25(日) 10:00～16:00	市川で育ったオオムラサキ観察会	781人	NPO 法人 市川にオオムラサキを生息させる会	市川駅南口図書館
7/1(土)～7(金)	七夕飾り	—	利用者記入の短冊飾りの 展示	市川駅南口図書館
7/27(水) 9:30～12:00	夏休み一日図書館員	小学生6人	市川駅南口図書館職員	市川駅南口図書館
7/28(木) 9:30～12:00		小学生5人		
13:30～16:00		中学生3人		
9/17(日) 10:00～11:30	井上ひさしと市川の街 ～ 劇団こまつ座 井上麻矢 講演会 ～	38人	井上麻矢氏 河西明子氏	I-link ホール
10/15(日) 10:00～11:30	永井荷風『葛飾土産』の世界 ～真間川逍遥の記～長浜奈津子ひとり語り	35人	長浜奈津子氏	I-link ホール
11/1(水)～9(水)	私のおすすめの一冊 (冊子配布)	—	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/17(日) 10:30～12:00	ペーパークラフトを作ろう！	22人	高松啓二氏	I-link ルーム
1/13(土) 10:30～12:00	新春えきなん寄席	55人	桂小すみ氏、雷門音助氏、 桂しゅう治氏	アイ・リンクタウン 展望施設 交流ラウンジ
3/25(月) 15:30～17:00	天井プラネタリウムで春の星座と 2024 年天文イベントを楽しもう ～あなたの手元に星空を/天井プ ラネタリウム～	27人	(株)アストロコネクト 荒井大作氏	I-link ホール

④刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
駅南だより Vol. 79～82	A 4 両面色刷・二つ折り 1 枚 (A 5 サイズ)	4 回／年
きらきらつうしん 子ども向け No. 55～58	A 4 両面色刷・二つ折り 1 枚 (A 5 サイズ)	4 回／年
えきなん音楽だより Vol. 9～12	A 4 片面色刷・1 枚	4 回／年
市川駅南口図書館パスファインダー (調べ案内) ・「こどもの本」について調べる 改訂 ・「健康医療」について調べる 改訂 ・「災害情報」を調べる 改訂 ・「市川市」について調べる 改訂 ・「就職に役立つ情報」を調べる 改訂 ・「世界の国々の情報」について調べる 改訂 ・「相続」について調べる 改訂	A 3 両面印刷・二つ折り 1 枚 (A 4 サイズ)	随時
私のおすすめの一冊	A 5 版 製本冊子 33 p	1 回／年

（９）委員会等

① 研修委員会

ア．図書館サービス外部研修

千葉県公共図書館協会、その他外部機関等が主催する図書館サービス関連の研修には、職員・会計年度任用職員（フルタイム）が参加している。

現地へ参集しての研修は４件、オンライン・遠隔研修は５件、延べ10人が参加し、研鑽に努めた。

イ．異動者対象研修

異動してきた職員等５人に、図書館業務の基本と市川市の図書館についての研修を４月４日に実施した。

ウ．会計年度任用職員対象研修

今年度採用された会計年度任用職員を対象に、４月５日にフルタイム１人・パートタイム８人、９月６日にパートタイム１人の新任研修を行った。

エ．図書館実習・インターンシップ

10月５日から12日にかけて、専修大学の大学生１人を対象に図書館実習を実施した。

また、９月６日から８日に、インターンシップの大学生（和洋女子大学２人）を受け入れた。

オ．職場体験学習

10月12日～13日に、市川市立第六中学校２年生２人の職場体験学習を受け入れた。

また、２月８日に、筑波大学附属聴覚特別支援学校の中学部２年生２人の職場体験学習を受け入れた。

② 広報委員会

ア．図書館刊行物

「図書館だより」については、ウェブ掲載中心に移行し発行部数を減らしたほか、文字情報だけでなくテーマを決めて写真や書影の画像を入れて魅力ある紙面にするため、発行頻度を年２回とし色刷りで発行。

イ．インターネット、SNSでの情報掲載

YouTubeやFacebookを利用した情報発信に加え、令和５年４月から、図書館推し活等イベントの開始を機に、X（旧Twitter）での発信を開始した。フォロワー約470名であり、最高アクセス数は、イベント以外では約9,000件（市川の浮世絵）。

ウ．コミュニティ誌への情報掲載

令和４年度より明光企画が発行するコミュニティ紙「いちかわ新聞」「行徳新聞」に「図書館スタッフさんのオススメ本」と題して、職員による本の紹介記事を連載しており、令和５年度は、12回連載。

エ．市刊行物及びオリジナルグッズの販売

市川市の各課、施設等と連携してその刊行物と、図書館オリジナルエコバッグ・クリアファイル等を販売している。

オ．イベントの開催

子どもへの読み聞かせや本の展示に加え、外部講師を招いて、市民が関心の高いテーマのイベントを開催した。

令和５年度は「市民提案型 図書館推し活企画事業」を実施。市民から図書館の活性化に繋がる本を題材としたイベントの企画を広く公募した結果、10件の応募があり、順次採択し実施された。

→11(2) 令和５年度 市民提案型図書館推し活企画採択事業 を参照。

③ 蔵書構成検討委員会

ア．資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「令和５年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行った。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新（買い換え、除籍等）を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応。
- ・雑誌の休廃刊に対する対応。
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施（毎週）。

イ．資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行。
- ・資料費の執行庶務。

ウ．蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、1月30日から２月２日に特別休館期間を設け、蔵書点検や図書整理を行った。

エ．特集展示の計画の立案と実施

- ・特集展示は年間計画を立てて実施。

- ・市役所内部をはじめ関係機関との連携による展示を実施。
- ・時節に臨機応変に対応した展示を実施。

④その他 千葉県公共図書館協会

令和5年度は、第二ブロック幹事館となった。

ア. ブロック会議（情報や意見の交換）

令和5年11月17日（金）14時～16時 地下集会室

イ. 職員研修会

「図書館等公衆送信サービスの現状と課題」

講師：小池信彦氏（日本図書館協会 著作権委員会委員長）

令和6年1月30日（火）14時～16時 第二研修室

定員50名のうち参加者44名

ウ. その他 委員選出

経営研究委員 主査1名（小川健太郎）

(10) 図書館刊行物

タイトル	形態	刊行頻度
市川市の図書館 2023	A4・製本冊子163p	年1回
市川図書館だより 第112号 もっと便利に！自動車図書館「みどり号」 第113号 ご存知ですか!?小説に登場する「市川」	A3両面色刷印刷・二つ折り1枚 (A4サイズ)	随時
あれこれふぁ（参考業務月報2023年4月号～2024年3月号）	A4両面印刷・1枚	毎月
新・参考業務年報 2022	A4・20枚ホチキス綴じ冊子	年1回
地域資料レファレンス 市川市ってどんな街？ 7. 市川と相撲	A3両面印刷・二つ折り1枚（A4サイズ）	随時
市川市中央図書館調べ案内 4. 防災について調べるには 改訂 6. 企業情報について調べるには 改訂 32. 認知症について調べるには	A4両面印刷・1枚 A3両面印刷・二つ折り1枚（A4サイズ） A3両面印刷・二つ折り1枚（A4サイズ）	随時
各種利用案内 1-3. 利用案内（団体）団体として利用される方へ 改訂 1-4. 利用案内（団体）保育士・教職員として利用される方へ 改訂 1-H2. ハンディキャップ（障がい者）サービス 布の絵本・布のおもちゃのご案内 改訂 1-W. 男女共同参画センター（ウィズ）資料情報室の利用案内 改訂	A4両面印刷・1枚	随時
Young Adult通信 第84号「2023年度 YA特集展示 イラスト展」 号外（入門編）改訂 号外（てっぱん・せれくと号） 号外（新生活応援号）	A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・1枚 A4両面印刷・三つ折り リーフレット A4両面印刷・三つ折り リーフレット	年1回
本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 2023 3・4年生におすすめする本 2023 5・6年生におすすめする本 2023	A4両面印刷・1枚	年1回
市川市子どもとしょかんパスファインダー 6. 防災についてしらべよう 7. お金や経済についてしらべよう	A3両面印刷・二つ折り1枚（A4サイズ）	随時

(11) 図書館作成動画

①読み聞かせ動画の原典があるもの

タイトル	原 典	年度
絵本「曽谷の百合姫」	中津攸子／文，唐沢静／え（すがの会 2007. 11）	R3
絵本「真間の手児奈」	中津攸子／文，唐沢静／絵（すがの会 2008. 8）	R3
絵本「奉免の常盤井姫」	中津攸子／作，唐沢静／絵（すがの会 2009. 7）	R3
絵本「なし作りのぜんろくさん」	唐沢静／え（すがの会 2019. 1）	R4
絵本「かあさんの庭 水木洋子と熊太郎」	宮下公子／絵，水木洋子市民サポーターの会絵本チーム／文・編集（市川市文学ミュージアム 2018. 3）	R4
絵本「ぼくのスカイライナー」	京成電鉄株式会社／さく，いろりこ／え（ポプラ社 2018. 12）	R4
紙芝居「塩じいさん」	南崎晶子／作，茜之介／絵（オフィス坂井 2019. 4）	R3
紙芝居「大波百人」	南崎晶子／作，山口加奈子／絵（オフィス坂井 2017. 3）	R3
環境紙芝居「りゅうた君のクリスマス」	市川市環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2016. 12）	R3
環境紙芝居「りゅうた君の豆まき」	市川市環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2017. 2）	R3
環境紙芝居「りゅうた君のお花見」	市川市環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2017. 4）	R3
環境紙芝居「りゅうたくと緑のカーテン」	市川市環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2017. 5）	R4
環境紙芝居「りゅうたくんのぼうけん ハロウィンの巻」	市川市環境政策課／作・絵（市川市環境政策課 2017. 10）	R4

②くま館長が〇〇してみた！

タイトル	参 考 資 料	年度
チョコケーキ作ってみた！	「マグカップでまぜるだけふわふわケーキ」 宮沢うらら／著（汐文社 2021. 8）	R3
いちご大福作ってみた！	「30分でできる伝統おやつ 1. 春のおやつ」 伝統おやつ研究クラブ／編（偕成社 2016. 7）	R4
お花を観察してみた！	「花のつくりとしくみ観察図鑑 4. 公園・花だんの花」 松原巖樹／著（小峰書店 2010. 4）	R4
サイダーで作るダイヤモンドゼリー作ってみた！	「ルルとララの手作りSweets 夏のお菓子」 あんびるやすこ／監修（岩崎書店 2015. 11） 「ルルとララのきらきらゼリー」 あんびるやすこ／作・絵（岩崎書店 2006. 4）	R4
自然博物館で虫を観察してみた！	「昆虫（講談社の動く図鑑MOVE）」養老孟司／監修（講談社 2018. 6）	R4
『実験』でアイスクリーム作ってみた！	「すごい！うちでもこんな実験ができるんだ！！」 米村でんじろう／監修（主婦と生活社 2006. 10）	R4
はりねずみスイートポテト作ってみた！	「かんたん☆かわいい♥ だいすきクッキング 1. どきどき！プレゼントスイーツ」Goma／作（あかね書房 2016. 3）	R4
エアインチョコ作ってみた！	「おいしい！ふしぎ！理科実験スイーツ とける・ふくらむギフト&デコスイーツ」WILLこども知育研究所／編著，ダンノマリコ／料理 尾嶋好美／科学監修（金の星社 2021. 3）	R4
目覚まし時計を分解してみた！	「分解する図鑑（小学館の図鑑NEO+）」 森下信・石井克枝／監修・指導（小学館 2020. 12）	R5
絵本「ぴょーん」でとびはねてみた！	「ぴょーん（はじめてのぼうけん）」 まつおかたつひで／作・絵（ポプラ社 2000. 6）	R5

③利用案内等

タイトル	内 容	年度
中央図書館イメージ映像（本編）	ドローン撮影による紹介動画（2021. 11. 29撮影 2021. 12. 16～公開中）	R3
くま館長のこどもとしょかん案内	こどもとしょかんの紹介動画（2022. 2～4 撮影）	R4
OPACを使った本の検索方法 基礎編	パワーポイントによるスライド動画。①簡単な検索方法（簡易検索）とは ②細かい検索方法（詳細検索）とは ③タイトルで本を探す方法	R4
OPACを使った本の検索方法 初級編	パワーポイントによるスライド動画。①細かい検索方法（詳細検索）の使い方 ②テーマ（一般件名）で探す方法 ③分野（分類）で探す方法	R4

(12) 市川市立図書館関係記事一覧

図書館紹介記事（Web 掲載記事を含む）

記事見出しタイトル 【コラム名】 『掲載紙』（出版社）掲載年月日 巻号 掲載面またはページ
『市川カタログ 2023-2024』（明光企画）2023 年 9 月 25 日発行 124-126 ページ 図書館と関連施設の紹介
『行徳カタログ 2023-2024』（明光企画）2023 年 6 月 25 日発行 229-231 ページ 図書館と関連施設の紹介
人をつなぐ未来へつなぐ（市川市教育委員会）その 147 「誰もが読書を楽しめる環境を目指して」 『市川よみうり』2023 年 6 月 24 日（土） 2175 号 2 面
図書館の保存機能（書庫とデジタルアーカイブ） 『教育いちかわ』2023 年 7 月 12 日号 No.212
人をつなぐ未来へつなぐ（市川市教育委員会）その 150 「図書館推し活企画」を応援 『市川よみうり』2023 年 9 月 23 日（土） 2187 号 2 面
『読書教育のすすめー学校図書館と人間形成』立田慶裕／編著（学文社）2023 年 9 月発行
第 2 部 読書教育のための学校環境 第 5 章 地域との連携 3. 学校図書館を中心にしたネットワークの構築：千葉縣市川市を事例に
「いちかわのほほん古本市」11 月 5 日、本を介した出会いの場を開催 『ちいき新聞 八幡版』2023 年 10 月 20 日 1066 号 8 面 『ちいき新聞 船橋西版』2023 年 10 月 20 日 1066 号 8 面 『チイコミ』（地域新聞社による運営サイト）2023 年 11 月 2 日 Web 公開ちいき新聞ライター（取材・執筆／松）
図書館員が選んだ「本の福袋」を貸し出し 新年に新たな本との出会いを 『ちいき新聞 八幡版』2023 年 12 月 22 日 1075 号 4 面 『ちいき新聞 市川版』2023 年 12 月 22 日 1067 号 4 面 『チイコミ』（地域新聞社による運営サイト）2023 年 12 月 26 日 Web 公開ちいき新聞ライター（取材・執筆／日々）
生きる力・夢や希望を育む学校図書館ーアセスメント機能を生かした取組み 『学校図書館』2024 年 1 月号（通巻 879 号） ※教育センター職員（稲葉京子）による紹介記事
みんなあつまれ！よみっこひろば【地元のイベント〜キッズにおすすめ〜】 『ポイントペーパーいちかわ新聞』2024 年 3 月 8 日（金） 1022 号 1 面
季節のお役立ち情報〜子供と一緒に読みたい絵本〜 『AELDE 行徳・妙典』（スターツ出版）2024 年 3 月 20 日発行号 11 ページ

職員による本の紹介記事（令和 5 年度）

【コラム名】「紹介本のタイトル」《職員》	『掲載紙』掲載年月日 号数 掲載面	
【図書館スタッフさんのおすすめ本】連載	『ポイントペーパーいちかわ新聞』	『ポイントペーパー行徳新聞』
↓令和 4 年度よりの通し番号		
10. 「スウェーデンの騎士」ペルッツ《山岸》	2023 年 5 月 5 日 980 号 1 面	4 月 28 日 2199 号 5 面
11. 「ラチとらいおん」マーク・ベロニカ《高橋》	2023 年 6 月 9 日 985 号 2 面	5 月 26 日 2203 号 2 面
12. 「歴史のダイヤグラム」原 武史《槇》	2023 年 7 月 7 日 989 号 3 面	6 月 30 日 2208 号 8 面
13. 「熊田千佳慕のハイカラ人生」《齋藤純子》	2023 年 7 月 28 日 992 号 4 面	
14. 「行徳塩焼の郷を訪ねて」《江野》	2023 年 9 月 8 日 997 号 2 面	9 月 1 日 2216 号 2 面
15. 「生きるぼくら」原田マハ《松川》	2023 年 10 月 6 日 1001 号 4 面	9 月 29 日 2220 号 8 面
16. 「いつ殺される」楠田匡介《杉浦》	2023 年 11 月 10 日 1006 号 2 面	11 月 10 日 2226 号 5 面
17. 「中山坂」古井由吉《山岸》	2023 年 12 月 1 日 1009 号 2 面	12 月 1 日 2229 号 4 面
18. 「人類初の南極船 ベルジカ号の記録」《遠藤》	2024 年 1 月 1 日 1013 号 2 面	1 月 1 日 2233 号 6 面
19. 「博物館の少女怪異研究事始め」富安 陽子《小西》	2024 年 2 月 2 日 1017 号 1 面	2 月 2 日 2237 号 4 面
20. 「王への手紙」トンケ・ドラフト《前越》	2024 年 3 月 1 日 1121 号 2 面	3 月 1 日 2241 号 5 面
21. 「ものまね鳥を殺すのは」ハーバー・リー《山岸》	2024 年 4 月 5 日 1126 号 3 面	3 月 29 日 2245 号 8 面

(13) 市川市立図書館関係テレビ番組等一覧

映画・テレビ番組一覧

放送日	放送内容	撮影日	撮影地
2023 年 5 月 9・16・23・30 日 (火曜深夜)	『バイバイ、マイフレンド』 フジテレビの「火曜 ACTION!」枠で放送のテレビ連続ドラマ。 小説家を目指す主人公・麻衣の部屋の本棚で、借用した本が並べられている。	寄贈図書 約 1,000 冊の 借用のみ	なし

(14) 公共デジタルサイネージへの掲載

2023 年 5 月	2023 年 6 月	2023 年 8 月
		
こどもの読書週間	図書館推し活企画 募集中	夏休みはこどもとしゃかん。
2023 年 9 月	2023 年 11 月	2023 年 12 月
		
自動車図書館	読書週間	本の福袋
2024 年 3 月	公共デジタルサイネージとは… 駅前など通行者の多い街頭に立つ電子看板。放映時間は、電車の始発から終電まで。1 回あたり 10 秒間の静止画放映。 また、公共デジタルサイネージとは別に、第 1 庁舎 2 階デジタルサイネージ(デジタルコンテンツシステム)もあり、こちらはチラシ等 PDF のデータ提供が可能。	
	図書館推し活企画 御礼	

(15) 視察・講師派遣、修士論文調査への対応等

① 講師派遣

日	時	テーマ(講師)	集会名、主催団体等(講演場所)
2023 年 6 月 22 日(木)		図書館の経営と評価 事例(1) 市区町村立図書館の実際 (安永 崇 館長)	令和 5 年度 図書館司書専門講座 ※(Zoom によるオンライン形式)

学校・幼稚園等、市内の施設への読み聞かせ出張サービスは除く

② 卒論・修士論文調査への対応等

日	時	学校・研究機関等	研究テーマ
2023 年 12 月		東北学院大学大学院 人間情報学研究科	図書館友の会に焦点をあてた 市民協働による図書館運営
2023 年 12 月		青山学院大学コミュニティ人間学部 コミュニティ人間科	利用者と図書館空間

(16) デジタルアーカイブ

① 館内パソコン公開資料

DB-PC…データベース専用端末 Musetheque V4…キーボード使用の Web-OPAC

タイトル	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市全地図	市川市役所 1954	1102420761	○	
市川市全図	大日本学生連盟 1935	1102249236	○	
市川市教育要覧 市川市教育要覧図	市川毎日新聞社 1953	1102249237	○	
市川驛 東京近傍第三号（第一軍管地方迅速測図）	参謀本部陸軍部測量局 1897	1101410569	○	○
国府台 正式二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410570	○	○
船橋 二万分の一地形図	大日本帝国陸地測量部 1907	1101410568	○	
市川市動態図鑑 昭和 32 年度改訂版	日本都市協会 1957	1100862393	○	
市川市動態図鑑 昭和 36 年度版	日本都市協会市川事務局 1961	1100024561	○	
市川市住宅詳細図 1965（昭和 40）年版	三洋堂 1965	1101943198	○	
市川市動態図鑑 1966（昭和 41）年版	日本広飾企画研究所 1966	1101289194	○	
京成電車 沿線案内 [昭和 5～10]	京成電気軌道株式会社旅客係	1101732706	○	○
京成電車御案内(東京・成田間・沿線名所図)	京成電気軌道株式会社 1926	1101726411	○	○
京成電車 御案内(東京・成田・千葉間沿線名所圖)	京成電気軌道 1929	1102491818		○
京成電車沿線案内(東京・成田・千葉)	京成電気軌道株式会社 1930	1102604930	○	○
京成電車沿線案内	[京成電鉄 1935 頃]	1102359423		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1945 頃]	1102491821		○
沿線案内	京成電鉄 1953	1102491819		○
沿線案内	京成電鉄 1955	1102491820		○
観光市川ハイキング	京成電鉄 [1955 頃]	1102522219		○
京成沿線案内	[京成電鉄 1960 頃]	1102420753		○
観光の市川	市川市観光協会 [195-頃]	1101803572	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市役所商工課 出版年不明	1101803571	○	
いちかわ [観光リーフレット]	市川市 出版年不明	1101803573	○	
手児奈マーチ オーケストラ版 [楽譜]	Rudolf Dittrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
手児奈マーチ 吹奏楽版 [楽譜]	Rudolf Dittrichi/作曲 早川正昭/編曲	—	○	
トンボ通信 創刊号～179（欠 No.16）	房総蜻蛉研究所、行徳トンボ研究室	1102872902	○	
広報いちかわ（市川市広報） 創刊号～800 号	市川市	—		○
大柏川第一調整池緑地だより 1 号～77 号（欠あり）	大柏川第一調整池緑地自然誌研究会	1102903784		R5○

② 音声・映像資料

◎…Web 公開

タイトル	サブタイトル・内容・著者・他	出版社・出版年	書誌番号	DB-PC	Musetheque V4
市川市歌	斉唱・合唱/南行徳中合唱部 吹奏/市消防楽団	市川市 1994	1100792269	○	
行徳音頭	日本民謡全集五巻 関東 日本郷土民謡芸術保存会/唄・お囃子	TOYO SOUND LTD	1102336455	○	
新中山音頭	浄光寺 千町/他	市川市	1100974197	○	
新・市川音頭	市民の歌だよ踊ろじゃないか 小野文雄/他	市川市	1101201992	○	
市川讃歌	「透明の蕊の蕊」 宗左近/他	1999	1100794092	○	
マイタウンいちかわ 2003 年～2017 年（欠あり）	市川市	—			◎

(17) 議会の図書館関係質問一覧（過去五年間）

議会	質問事項
令和元年12月 一般	図書館開館時間の延長について（宮本均議員） 平日21時以降の開館、年間のトータルとして開館時間を増やすことについて
令和2年12月 一般	公用車や公共施設、駐車場の管理・運営について（稲葉健二議員） →メディアパークのバイク置き場はいつまで暫定なのか
令和3年2月 創生市川 代表一般	コロナ禍における図書館サービスについて（稲葉健二議員） ① 図書の貸出、返却の今後の方向性 ② 図書館と図書室の今後の考え方
令和3年2月 日本共産党 代表一般	子どもの読書推進について（金子貞作議員） →子どもの読書推進計画の策定
令和4年9月 公明党 代表	公共施設の学習スペースについて（西村議員・堀越議員） （1）本市の現状、課題について （2）今後の図書館のあり方について
令和4年12月 一般	公共施設の学習スペースについて（宮本均議員）
令和4年12月 一般	図書館運営について（中町けい議員） （1）返却ポストの増設について （2）貸出窓口の増設について （3）北部地域への図書館の設置について
令和4年12月 一般	図書館利用券のセキュリティ対策について（清水みな子議員） （1）現状と課題について （2）対策について
令和4年12月 一般	大柏川第一調節池緑地のビジターセンターについて（秋本のり子議員） （2）「えほんコーナー」の利用状況及び管理について
令和5年6月 市民クラブ 代表	柏井町1丁目社宅団地跡地の今後の活用に対する市の認識について（中町けい議員）→北部地域の図書館施設候補地としての検討
令和5年6月 一般	（2）学生や市民向けのフリースペースの提供について（西村敦議員） →行徳図書館の学習席
令和5年9月 創生市川 代表	就学前幼児の読書について（石原たかゆき議員） （1）保育、幼児教育施設における絵本の整備環境について （2）ブックスタート事業、セカンドブック事業の現状について （3）今後の取組みについて →子どもの読書推進
令和5年9月 一般	市立図書館について（ほとだゆうな議員） （1）利用現状について （2）市民提案型イベント・企画の実施について （3）本市が目指す文教都市としての図書館の在り方について
令和5年12月 一般	今後の図書館について（宮本均議員） これからの図書館像、図書館サービス、取組みについて
令和5年12月 一般	小塚山公園について（清水みな子議員） （3）自動車図書館の巡回先に小塚山公園を加えることはできないか

※代表質問のみ党派を記載

11. ボランティアと市民協働

(1) 市川図書館友の会 FIL(Friends of Ichikawa Library)

①発足

平成6年9月18日

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

③会員数

75人(令和6年4月1日現在)

④役員(令和6年度)

会 長：押樋良樹
副会長：椎名昭洋
会 計：小澤奈香 庄司絵美子
監 事：富田道子 埴清美

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人
会 費 ・個人会員 年額 1,000円
・賛助会員 年額 5,000円
特 典 なし

⑥活動内容(令和5年度)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していた活動を、2023年6月1日(木)から再開した。

(ア) 第1回図書館講座

2023年7月19日(水) 13時30分～14時30分

「配架について〈復習編〉」

講師：齋藤純子副主幹 22名参加

(イ) 第28回リサイクルブック市

図書館と共同開催した。

2023年10月21日(土) グリーンスタジオ

入場者 798人 寄附金 53,316円

(ウ) 「図書館友の会と巡る中央図書館」

図書館推し活事業として企画提案、実施

2024年1月26日(金) 10時30分～12時

⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。

1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業。

2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理他。

3. インフォメーション部

新入会員への館内案内。

総会司会、リサイクルブック市アナウンス。

図書館見学会の企画と実施。

毎月第3水曜日に学習会開催。

4. 広報部

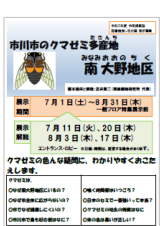
会報「FIL通信」年4回102号まで発行。

5. 総務部

入会申込みと継続会費の受付を毎月第1・第3日曜日に図書館入り口で開催。

(2) 令和5年度 市民提案型図書館推し活企画 採択事業

募集期間：令和5年3月22日～令和6年1月31日 10件を採択

		名称・時期・提案者	主な内容・反響など
1		てんとうむしの会 4/15～(毎月第3土曜) 絵本といきものの会 (代表:湯浅止子)	大柏川ビジターセンター内のえほんコーナーを活用し、学校司書等による絵本の読み聞かせ、おはなし、手遊び、人形劇等を開催。 8月には同ビジターセンターを活動拠点とする環境団体と連携し、環境学習の促進にも寄与。
2		いちかわのほほん古本市 5/27・11/5 いちかわのほほん古本市実行委員会 (代表:田邊保徳)	出店者が決められた区画の中にお気に入りの本を持ち寄って行うフリーマーケット。「一箱古本市」と呼ばれ、出店者と客との交流が深まる地域活性化の取り組みとして注目されている。 キッチンカーや雑貨等のマルシェ、参加者が推し本を語る集いも併せて開催。
3		市川市のクマゼミ多産地 南大野地区 7/1～8/31 展示 7/11・7/20・8/3・8/17 互井賢二	「クマゼミはなぜ南大野地区に多く生息しているのか？」を研究し、その成果をセミ標本とともに展示。展示期間中、提案者による展示解説を4回実施。
4		市川ブックフェア 2023 8/1～6 市川市作家協会 (代表:森真希)	「市川駅南口アーケード街を巡る時間旅行」や「市川大百科事典編纂室」など多彩な企画が盛り込まれたイベント。8/6の「済東鉄腸トーク&サイン会」は話題作『千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないままルーミア語の小説家になった話』の著者。
5		店主の本棚 8/1～3/31 天田卓良	市内で個性的なお店を営む店主のおすすめ本を紹介するコーナーを中央図書館内に設置し、月替わりで展示を行う。1店主2ヵ月展示で8店主を紹介。

		名称・時期・提案者	主な内容・反響など
6		お手紙読書会ふみばこ 11/25～(毎月第4土曜) 市本・みんなの読書会 (代表:なかざわあおば)	本を紹介し「〇〇なあなたへ」手紙を書いて、他の人の手紙と交換することを通じて、新しい本との出会いを創出する。本を通じたゆるやかな繋がりやの創出を目指す試み。
7		メゾン・イチボン 1/5～3/31 市本・みんなの読書会 (代表:なかざわあおば)	令和5年3月に廃止された「学習交流施設 市本」で生まれた読書会「市本みんなの読書会」で紹介された本を、中央図書館の書棚を家(メゾン)に見立てて紹介する展示企画。
8		Brain Park in Library 3/16 つくえといす (代表:片平直樹)	副題「本をテーマにしたボードゲームで遊ぼう」各自が図書館で借りた本を使って楽しむボードゲーム大会。
9		図書館友の会と巡る中央図書館 1/26 市川図書館友の会 (会長:橋場くみ)	館内でボランティア活動を行っている団体が、普段一般利用者が入れない閉架書庫などを案内し、ボランティアならではの視点で紹介する見学ツアー。
10		よみっこひろば 2/18～(毎月第3日曜) よみっこ広場 (代表:加藤可代子)	2007年から展開されている「市川よみっこ運動」の一環として、同運動実行委員会が企画した定期イベント。小学生を対象に、本の紹介など多様な形で参加者同士の交流が図れる場の創出を目指す。

12. 新聞・雑誌一覧

(1) 購入雑誌一覧

令和6年4月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アエ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アエ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②	③			③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アカ	Akachanと!	赤ちゃんとママ社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	
アカ	赤ちゃんとママ	赤ちゃんとママ社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	22年5月号より「Akachanと!」へ変更
アク	アクアライフ	エムビージャー	月刊	①							ウ-4	毎月 11日	
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	20年7月号で休刊
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎							書庫		92年5月29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							エ-1	毎月 10日	
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①					②		ア-3	毎月 20日	
イコ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	季刊					①				1・4・7・10月3日	
イタ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
イン	Interface	CQ出版	月刊						③			毎月 25日	
ウア	25' ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウィ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウィ	with	講談社	不定期					①				不定期	22年3月号で購入中止
ウィ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウィ	WiLL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウェ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウェ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							ケ-3	偶月 18日	
ヴェ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ヴォ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ヴォ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月 20日	
エク	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月 1日	
エコ	エコノミスト	毎日新聞出版	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
エコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
エス	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 25日	
エス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	21年3月号で購入中止
エッ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
エム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	季刊	①							ウ-3	毎月 10日	
エル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	行徳21年4月号で購入中止
エン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
エン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	22年4月号で休刊
オズ	OZ magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オズ	OZ magazine TRIP	スターツ出版	季刊	③							ウ-1	不定期	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパニマシニスト社	年2回	◎		⑤					オ-1	4・10月25日	21年110号で購入中止
オト	男の隠れ家	三栄	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール讀物	文藝春秋	月刊	◎		①		①			ウ-6	毎月 22日	
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	
カカ	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カカ	科学	岩波書店	月刊	③							ク-2	毎月 28日	
カカ	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	ネイチャーエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	
カソ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③		②			イ-1	3・6・9・12月5日	22年夏号で休刊
カッ	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	
カッ	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	
カテ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	関東東北じゃらん	リクルートホールディングス	隔月刊	①							ウ-1	奇月 1日	
キカ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊						⑤			毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 20日	
キャ	CAPA	学研プラス	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キョ	教育	かもがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	20年3月で休刊
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キル	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3,6,9,12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	22年8月号で休刊
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
グ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
グ	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クラ	暮しの手帖	暮しの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クラ	別冊暮しの手帖	暮しの手帖社	不定期	◎							ア-4	不定期	
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	季刊	①		①					ア-4	3,6,9,12月の7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	4・7・10・1月15日	
クロ	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クン	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
ケア	ケアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
ケイ	経済界	経済界	月刊						③			毎月 22日	
ケイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊						③			奇月 27日	
ケイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
ケイ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
ゲテ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊						②			毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							エ-3	毎月 28日	
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
コウ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	季刊	③							ク-1	毎月 15日	23年夏号で休刊
コウ	航空情報	せきれい社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	23年12月号で休刊
コウ	公募ガイド	公募ガイド社	季刊	①							ア-3	1・4・7・10月9日	
コク	国語と国文学	明治書院	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	
コク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
コク	国文学 解釈と教材の研究	学燈社	月刊	◎							エ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊						③			偶月 25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	季刊	③							イ-5	不定期	
コト	月刊子どもの本棚	日本子どもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
コト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							エ-3	不定期	17年VOL.48以降刊行なし
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
コト	こどもとしょかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	行徳21年冬号で購入中止
コト	子どもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	20年冬号で休刊
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎							子供	毎月 25日	
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも (0・1・2)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	信篤21年4月号で購入中止
コト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
コト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
コレ	これからの暮らしby ESSE	フジテレビジョン 扶桑社(発売)	不定期	③							ア-4	不定期	
コワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊						③			毎月 20日	
サタ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	
サツ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	隔月刊	③		①					イ-4	偶月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サヒ	SAPIO	小学館	不定期刊			③							19年4月号で休刊
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	偶月 10日	
サフ	Surftrip JOURNAL	樫出版社	不定期	③							イ-3		20年vol.96で購入中止
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 25日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞出版	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
シエ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
シエ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
シエ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
シエ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シセ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で購入中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	シーディージャーナル	季刊	②							ウ-5	3・6・9・12月20日	
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シヤ	月刊社会教育	旬報社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シヤ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シヤ	Jaz. in	Jaz. in. シンコーミュージック・エンタテイメント(発売)	月刊	①							ウ-5	毎月 21-27日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	23年vol.156より『Jazz in』へ変更
シユ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	23年6/9号で休刊
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シユ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シユ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シユ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	20年5月号で購入中止
シユ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ク-1	偶月 19日	
シユ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 15日	
シユ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シユ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シユ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シユ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	隔月刊	③	①						ウ-2	奇月 21日	
シユ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シヨ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シヨ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シヨ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	20年5月号で休刊
シヨ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①					ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	
シヨ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シヨ	小説宝石	光文社	年10回	◎							ウ-6	毎月 22日(12月、8・9月合併号)	
シヨ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シヨ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		奇月 15日	
シシ	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シシ	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	行徳21年4月号で購入中止
シシ	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シシ	新ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 25日	
シシ	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	
スウ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
スク	SCREEN	近代映画社 ジャパンプリント(発売)	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3,6,9,12月12日	19年春号で休刊
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スマ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					ア-5	奇月 15日	23年6月号で休刊
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
スミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							イ-2	奇月 1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							ア-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							ア-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					ア-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	不定期刊	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							ア-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	隔月刊	③		①					ア-5	奇月 28日	
ソウ	社快	ブティック社	隔月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	sotokoto online	隔月刊	⑤							ア-4	奇月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ケ-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	20年7月号で休刊
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					ア-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	販売元:富士山マガジンサービス	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド ZAi	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			ア-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
タサ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
タレ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①		①			ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①							イ-1	毎月 15日	22年4月号で購入中止
タン	短歌	角川文化振興財団	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タン	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タン	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					ア-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よいい・つよい	ジャパンマニスト社	年2回	◎		⑤					イ-1	1・7月25日	20年128号で購入中止
チイ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎							ア-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							ア-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	21年2月号で購入中止
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	21年3月号で購入中止
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊			①					ア-3	毎月 7日	20年4月号で休刊
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					ア-2	毎月 10日	
チリ	地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
チリ	治療	南山堂	月刊	⑤							ク-3	毎月 1日	
チル	チルチンびと	風土社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							ア-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&動画配信で一た	ムービーウォーカー/KADOKAWA(発売)	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	季刊	③							イ-4	毎月 21日	22年8月号で休刊
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	扶桑社	月刊		①	③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	22年11月号で休刊
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	季刊	③							ク-3	3.6.9.12月20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニッ	日経アーキテクチャ	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							ケ-4	隔週木曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							ケ-2	奇月 24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ケ-4	第2・4月曜日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		ケ-2	毎月 24日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	21年4月号で休刊
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	21年3月号で購入中止
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
ニュ	Newsweek 日本版	CCCメディアハウス	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニュ	月刊Newsがわかる	毎日新聞出版	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニュ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニュ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	
ネコ	猫びより	辰巳出版	季刊	①							ウ-4	3・6・9・12月12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で購入中止
ノジ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノン	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	行徳21年5月号で購入中止
ハイ	俳句	角川文化振興財団	月刊	◎		③					エ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	ピークス/マイナビ出版発売	隔月刊	①		①					ウ-4	奇月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 21日	
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハッ	B-PASS	シンコーミュージック・エンタテイメント	月刊	①							エ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	◎							エ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月刊	①				①			ア-3	毎月 28日	
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①				子供	毎月 3日	
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	◎		①					ウ-6	奇月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハレ	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	◎							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
ハン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ヒシ	Business i. ENECO	日本工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	20年4月号で休刊
ヒシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			偶月 22日	
ヒシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	21年5月号で購入中止
ヒシ	美術手帖	美術出版社	季刊	◎							イ-2	奇月 7日	
ヒテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ヒハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ヒフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	◎							子供		98年30号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ヒヨ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	22年4月号で購入中止
ヒラ	ひらがなタイムズ [英語]	ひらがなタイムズ	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	リンクタイズ	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月刊	③	①	①	①	①			ウ-6	毎月 15日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月7日	19年6月107号で休刊
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フレ	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フレ	PRESIDENT WOMAN Premier	プレジデント社	季刊	②					②		ア-3	不定期	22年秋号で今後の発行未定
フレ	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フレ	Pre-mo	主婦の友社	不定期			①						不定期	21年8月号で購入中止
フレ	プレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	隔月刊	③							ウ-2	奇月 8日	
フン	文学	岩波書店	隔月刊	◎							エ-3	奇月 25日	16年11・12月号で休刊
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎							エ-3	毎月 7日	
フン	文芸	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
フン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 8日	15年3月号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							エ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	CCCメディアハウス	月1回	③							ア-4	毎月 28日	
ホウ	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	
ホウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 12日	
ホウ	訪問看護と介護	医学書院	隔月刊	⑤							ク-3	不定期	
ホウ	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 27日	
ホク	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	22年8月号で休刊
ホビ	Hobby JAPAN	ホビー・ジャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ホーム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月 25日	16年5月号から寄贈へ
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 28日	24年4月号で中止
マッ	Mac Fan	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月 29日	
マト	Mart	光文社	季刊	①				①	③		ア-4	3・6・9・12月28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	21年8月号で休刊
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文学	三田文学会	季刊	◎							エ-3	1.4.7.10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミョ	Myojo	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月 15日	
メノ	目の眼	目の眼	月刊	◎							イ-2	毎月 15日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で冊子版休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	年4回	①							ア-4	3・4・9・10月10日	
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	季刊	①		①					ア-4	毎月 28日	行徳21年5月号で購入中止
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月 3日	
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月 1日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
ヤサ	やさしい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月 3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①				①			ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	23年5月号で休刊
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	隔月刊	①							子供	奇月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light&life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラウ	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ラン	ランナーズ	アールピーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月 22日	
リ	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リュ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3、6、9、12月の10日	
リヨ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月 28日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月 6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月 6日	
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③					②		ウ-5	毎月 20日	23年7月号で休刊
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	③			①				ア-5	毎月 25日	
ロッ	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロッ	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月 1日	
ワン	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回						③			奇月 10日	21年6月号で休刊

購入タイトル数	326	284	29	91	30	30	35	3
---------	-----	-----	----	----	----	----	----	---

注1:所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2:配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3:網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

令和6年4月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
アウ	あうる	図書館振興財団	季刊	◎							ア-1	12年冬号より「図書館の学校」へ変更
アル	ALPS ライフプラン情報誌	地域社会ライフプラン協会	季刊	②登							ア-3	
アワ	Our Story	ノートルモンド社	月刊	②							オ-2	22年12月で休刊
イイ	月刊いちかわ	(株)エピック	月刊			◎登					ア-2	19年5月号で休刊
ウオ	Voters	明るい選挙推進協会	隔月刊	②							オ-3	
エシ	ACE 建設業界	日本建設業連合会	月刊	①登							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニュース・レター	NABA	不定期							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②登							キ-2	
エフ	FFIジャーナル 食品・食品添加物研究誌	FFIジャーナル編集委員会	季刊	②							キ-2	
カカ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤登							キ-3	
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カワ	河	河発行所	月刊	◎登							エ-3	
カン	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カン	季刊 環境研究	日立財団	季刊	◎登							キ-3	17年3月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	年2回	①登							オ-2	
キョ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
クラ	くらし塾きんゆう塾	金融広報中央委員会	季刊	②							カ-2	24年冬号で休刊
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年4回	③登							ク-3	
コウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①登							オ-3	
コウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②登							キ-1	
コウ	皇室	扶桑社	季刊	③登			○				オ-2	
コウ	広報	日本広報協会	月刊	①登							オ-2	
コウ	高齢社会をよくなる女性の会会報	高齢社会をよくなる女性の会	隔月刊							○		
コク	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
コヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協会	不定期	③登							キ-2	21年8月号Vol.101で休刊
コヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コム	The Community	第一生命財団	年2回	②							ア-2	
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②登							オ-3	
サナ	サ～ナ sana	イフ	半年刊	②登							ク-3	
サブ	SUBWAY	日本地下鉄協会	年4回	②登							キ-1	
シグ	Civil Engineering Consultant	建設コンサルタンツ協会	季刊	③							ク-1	
シティ	city & life	第一生命財団	年3回	②登							オ-3	
シニ	しにか	大修館書店	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シヤ	JiCA MAGAZINE	国際協力機構	隔月刊	②							オ-3	
シヤ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シュ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シュ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	18年6月号で休刊
ショ	書齋の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		①	○				ア-1	
シン	人民日報(海外版日本月刊)	日本新華僑通信社	月刊	①登							オ-3	
シン	心理臨床の広場	日本心理臨床学会	年2回	③登							ク-3	
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セキ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	年3回	①							オ-3	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	16年秋号(23号)で終刊
ソウ	総務省	総務省	月刊	②			○				オ-2	
ソハ	蕎麦春秋	リベラルタイム出版社	季刊	②登							カ-1	
ソラ	宇宙のとびら	宇宙航空研究開発機構宇宙教育センター	季刊	③登		①登					エ-1	
タノ	たのくら	明光企画	月刊			◎登						07年12月で休刊
タハ	食べもの通信	食べもの通信社	月刊	①登							キ-2	
チイ	地域防災	日本防火・防災協会	隔月刊	②登							オ-2	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	16年6月から購入
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊
ツウ	通信文化	通信文化協会	月刊	①登							キ-2	
ツハ	翼の王国	ANA「翼の王国」編集部	月刊	①登							ウ-1	
トウ	とうきょうの地域教育	東京都教育委員会	隔月刊	②							オ-1	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登		①	○				ア-1	
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
トト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナハ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ノン	のんびる	バルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句四季	東京四季出版	月刊	③							エ-3	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①登							ク-1	
ハツ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊			◎登					イ-1	13年9・10月より「ママともぶらす」へ変更
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フィ	Fishing Cafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	21年秋号で寄贈中止
フト	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	23年9月号で休刊
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②登							ウ-1	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎登							ア-1	20年12月号で休刊
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	KADOKAWA	月刊	◎登							ア-1	19年7月号で休刊
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともぶらす	明光企画	季刊	②登		◎登					イ-1	21年春号で休刊
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
マン	マンション管理センター通信	公益財団法人マンション管理センター	月刊	①登							ク-1	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	23年8月号で休刊
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②登							キ-1	
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	21年6月号より「JICA MAGAZINE」へ変更
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①登							オ-2	
レキ	歴史の旅人	歴史街道倶楽部事務局	季刊	③登							オ-2	
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数	66	64	0	4	4	0	0	2
-----------	----	----	---	---	---	---	---	---

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

令和6年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	AELDE(アエルデ)行徳・妙典	スターツ出版	BOX(AELDE行徳・妙典)
2	あいねすと通信	市川市行徳野鳥観察会あいねすと	緑ファイル
3	eパートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
4	いちかわ 商工会議所会報	市川商工会議所	緑ファイル
5	市川浦安よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川浦安よみうり)
6	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
7	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
8	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル
9	市景 瓦版	まち並み景観整備課	緑ファイル
10	いちほ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市市民部ボランティア・NPO課	ファイル(I/N0)
11	Event Guide: 市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
12	ウィズレター	市川市総務部多様性社会推進課	緑ファイル
13	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
14	浦安市障がい者就労支援センター通信	浦安市障がい者就労支援センター	ピンクファイル
15	沖	沖発行所	BOX(沖)
16	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
17	ガーデニング通信	市川市まちなみ景観整備課	緑ファイル
18	かいづか	市川市博物館友の会	緑ファイル
19	科学館ニュース(千葉県立現代産業科学館)	千葉県立現代産業科学館	青ファイル
20	かずさDNA研究所ニュースレター	かずさDNA研究所	BOX(かずさDNA研究ニュースレター)
21	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	ファイル(I/Q4)
22	鎌ヶ谷市郷土資料館だより	鎌ヶ谷市郷土資料館	ピンクファイル
23	監査結果	千葉県監査委員	ファイル(G10/F7)
24	監査結果の公表について	市川市監査委員会	ファイル(I/F7)
25	北千葉道路だより	北千葉道路広報ワーキンググループ	ファイル(I/S2)
26	教育いちかわ	市川市教育委員会	ファイル(I/Q1)
27	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
28	行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
29	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県監査委員	ファイル(G10/F7)
30	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	緑ファイル
31	フォーティライフいちかわ	市川市消費生活センター	緑ファイル
32	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX(Green Port Report)
33	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
34	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
35	研究紀要	千葉市立郷土博物館	図書登録(C21.1/R3)
36	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協力会	青ファイル
37	県水だより:千葉県営水道広報誌	千葉県企業局	BOX(県水だより)
38	考古・歴史博物館だより	市川考古博物館/市川歴史博物館	緑ファイル
39	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
40	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
41	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
42	子どもの読書活動推進センター通信	千葉県立図書館	青ファイル
43	探連:千葉市美術館研究紀要	千葉市美術館	図書登録(C21.1/R4)
44	THE CHIBA OJ 放送大学千葉学習センター機関紙	放送大学千葉学習センター	黄ファイル
45	三番瀬署名ニュース	三番瀬を守る署名ネットワーク	クリアファイル(I/T0)
46	いむじな:房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
47	CUC:View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
48	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
49	JW・Jの会(勉強会)	JW・Jの会	ファイル(Z/W5)
50	市史研究いちかわ	市川市文化スポーツ部文化振興課	図書登録(I/B0)
51	社会的連帯経済	ちば社会的連帯経済研究所	黄ファイル
52	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
53	生涯学習研究所だより 聖徳大学生涯学習研究所	聖徳大学生涯学習研究所	黄ファイル
54	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
55	市立いちかわ自然博物館だより	市立市川自然博物館	緑ファイル
56	知るぼると	千葉県金融広報委員会	青ファイル
57	新・参考業務月報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
58	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
59	すずがも通信:認定NPO行徳自然ほごくらぶ会報	行徳自然ほごくらぶ	緑ファイル
60	聖徳大学生涯学習研究所紀要	聖徳大学	図書登録(C22.8/Q3)
61	生命のにぎわいとつながり:生物多様性ちばニュースレター	千葉県生物多様性センター	青ファイル
62	清和大学短期大学部紀要	清和大学短期大学部	図書登録(C35.1/Q3)
63	赤十字NOW 千葉	日本赤十字社千葉県支部	黄ファイル
64	袖ヶ浦市史研究	袖ヶ浦市郷土博物館	図書登録(C35.3/B0)
65	たかつぼ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
66	ちいき新聞 市川版	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
67	ちいき新聞 八幡版	地域新聞船橋支社	BOX(ちいき新聞)
68	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
69	ちば:教育と文化	千葉県教育文化研究センター	図書登録(C10/Q0)
70	千葉教育	千葉県総合教育センター	図書登録(C10/Q0)
71	ちば経済季報	千葉経済センター	図書登録(C10/K0)
72	千葉県環境研究センター・環境だより	千葉県環境研究センター	青ファイル
73	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
74	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(ちば県議会だより)
75	千葉県財政事情	千葉県総務部財政課	ファイル(C10/G2)
76	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県監査委員	ファイル(C10/F7)
77	千葉県新聞組合市川支部だより	千葉県新聞組合市川支部	黄ファイル
78	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
79	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
80	ちば市史編さんだより	千葉市立郷土博物館	ピンクファイル
81	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
82	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	ファイル(C10/M1)
83	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
84	CHI~BA Magazine テーマガ	サンケイ・アド・インクワイアリ	図書登録(C10/A5)
85	ちばまなびの森:千葉市生涯学習情報誌	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
86	千防協NEWS	千葉県建設防水工事業協同組合	黄ファイル
87	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
88	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
89	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部・現代教養学部	図書登録(C22.1/Q3)
90	定年時代:千葉版	朝日新聞編集センター	BOX(定年時代)
91	ときがね(東金市文化団体協議会会報)	東金市教育委員会生涯学習課文化学習振興係	ピンクファイル
92	図書館だよりぼーれぼーれ	千葉県立保健医療大学図書館	青ファイル
93	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05/B0)
94	友の会のお知らせ/市川博物館友の会	市川博物館友の会	緑ファイル
95	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
96	流山市史研究	流山市教育委員会	図書登録(C22.5/B0)
97	なのはな通信	アイビー千葉	BOX(なのはな通信)
98	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2/X2)
99	成田市史研究	成田市教育委員会	図書登録(C23.2/B0)
100	NEWS LETTER 中央学院大学社会システム研究所	中央学院大学システム研究所	黄ファイル
101	Net Work通信	千葉市図書館情報ネットワーク協議会	ピンクファイル
102	野田市史研究	野田市	図書登録(C22.6/B0)
103	干潟を守る	千葉の干潟を守る会	ファイル(I/T0)
104	ひまわり倶楽部	ちばぎん総合研究所	BOX(ひまわり倶楽部)
105	FIL通信	市川市図書館友の会	緑ファイル
106	フォリオ 和洋女子大学司書課程・司書教諭課程年報	和洋女子大学司書課程・司書教諭課程	図書登録(1/Q3)
107	福祉ちば	千葉県社会福祉協議会	青ファイル
108	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
109	ふれあい毎日	東葛毎日新聞社	BOX(ふれあい毎日)
110	ポイントペーパーいちかわ新聞	明光企画	BOX(ポイントペーパーいちかわ新聞)
111	ポイントペーパー行徳新聞	明光企画	BOX(ポイントペーパー行徳新聞)
112	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
113	ほくそう	北総鉄道	BOX(ほくそう)
114	Hokso Smile ほくそうすまいる	北総鉄道	BOX(ほくそう)
115	まいたうん:市川・本八幡版 ⇒(2020年3月号〜「市川よみうり」に合併)	加藤新聞舗	BOX(まいたうん市川・本八幡)
116	楨:文学同人誌	文学グループ楨の会	図書登録(C34.1/W0)
117	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
118	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
119	松戸市立博物館紀要	松戸市立博物館	図書登録(C22.8/R3)
120	ミーティアムガイド:市川市公民館講座情報紙	市川市教育委員会社会教育課	BOX(ミーティアムガイド)
121	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
122	ミュージアムレター(市川市文学ミュージアム)	市川市文学ミュージアム	緑ファイル
123	みる かたる つくる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
124	Mille feuilles(ちば文化だよりミルフィーユ)	千葉県文化振興財団	青ファイル
125	ミレニアム	千葉県医師会	BOX(ミレニアム)
126	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
127	ようちえんのひろば:市川市私立幼稚園協会広報	市川市私立幼稚園協会	黄ファイル
128	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
129	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(LOUNGE)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
130	LINK: 千葉学園広報誌	千葉学園	BOX(LINK)
131	例月出納検査結果報告	市川市監査委員	ファイル(L/F7)
132	REKIHAKU	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	図書登録(C23.1/R3)

※ 配架・分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

令和6年4月1日現在

記号	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南
アサ	Asahi Weekly[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中高生新聞	○					
オヤ	おやばと(寄贈)	○		①			
カン	官報	⑤		⑤			
キャ	Campus Scope(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シャ	JAX's(寄贈)	○					
シュ	週刊読書人	○					
シュ	自由民主(寄贈)	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○					
スホ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
チハ	千葉県報(寄贈)	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
テン	点字毎日	○					
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○		○			
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス	○					○
ニッ	日経産業新聞	○					
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
ニュ	The New York Times[英語]	○		○			
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	◎		○			
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○
リッ	立憲民主(寄贈)	○					

注1: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存
注2: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)、駅南(3ヶ月)

※朝日、読売、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

中央: 平成22年1月～所蔵

「萬朝報」 明治25年11月～大正9年12月

「日本」 明治22年2月～明治39年6月

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月～

以下、欠号

昭和13年1～2月、昭和14年9月

昭和15年5月、昭和17年2月

昭和27年11月、昭和29年4月

昭和30年12月

昭和31年3月、5～12月

昭和34年11月、昭和35年11月

昭和39年10月

昭和41年8月、昭和45年11月

昭和49年6月、8月

昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月～

欠号: 昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月～12月

昭和56年3月～昭和59年12月

平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月～昭和54年12月

昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)

昭和52年4月～平成16年3月

以下欠号

昭和60年7月、61年7月、62年7月

昭和63年7月、平成元年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月～12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月～

マイクロフィルム * 現在閲覧休止

「千葉日報」 昭和32年～平成7年

「市川市民新聞」 昭和27年～昭和42年

「京葉新聞」 昭和43年～平成13年

「京葉子ども新聞」 昭和40年～昭和56年

資料編 目次

13. 関連法規（条例・規則等）

○ 市川市立図書館の設置及び管理に関する条例	… 90
○ 市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	… 94
○ 市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例	… 97
○ 市川市中央図書館の管理に関する規則	…104
○ 市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則	…107
○ 市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針	…108
○ 図書館法	…111
○ 子どもの読書活動の推進に関する法律	…114

14. 計画

(1) 市川市教育振興基本計画 ※図書館記載部分抜粋	…116
(2) 市川市立図書館運営基本計画	…120
(3) 令和4年度 市川市立図書館評価報告書	…138
「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果	…139
(4) 市川市子どもの読書活動推進計画第二次（令和5～7年度） ※第2章までと施策体系図を抜粋	…145

15. アンケート・市民要望

(1) 令和5年度市川市立図書館アンケート（eモニ） 未来の図書館に関するアンケート報告書	…154
(2) 令和5年度市川市立図書館来館者アンケート報告書	…157
(3) 市民要望	…164

13. 関連法規（条例・規則等）

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日 条例第39号

改正 平成23年12月 7 日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。
（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）
第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）
（事業）
第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けることができるもの）
第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）
第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 登録の日から起算して3年
- (2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで
- 3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年
- (2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）
（登録の申請等）

第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（開館時間）

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。
ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

（休館日）

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

（入館の制限等）

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

（損害賠償）

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

（指定管理者による管理）

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。
- (6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

- 3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年 3 月31日 教育委員会規則第 6 号

改正 平成23年 3 月25日 教委規則第 2 号

平成24年 3 月14日 教委規則第 2 号

平成28年 3 月31日 教委規則第 5 号

市川市立図書館規則（平成 6 年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第 1 条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第 1 条の 2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 追加）

（蔵書の構築）

第 2 条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適応するか否かを調査し、適合すると認めたときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 一部改正）

（館内利用）

第 2 条の 2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則 2 ・ 追加）

（レファレンスサービス）

第 3 条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第 2 項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則 2 ・ 一部改正）

（登録の申請等）

第 4 条 条例第 6 条第 1 項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第 1 号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第 2 号）及び団体構成員名簿（様式第 3 号）

- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあっては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者において、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあっては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号
（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

	平成6年9月28日	条例第22号
改正	平成15年6月25日	条例第42号
	平成17年9月22日	条例第38号
	平成19年12月20日	条例第44号
	平成20年12月12日	条例第40号
	平成23年12月7日	条例第45号
	平成25年3月25日	条例第20号
	平成28年9月28日	条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール
- (5) 文学研修室

- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。）第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（開館時間）

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（休館日）

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認める

ときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央こども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（駐車場の供用日等）

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

（平20条例40・追加）

（使用権の譲渡等の禁止）

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正）

（使用の停止等）

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央こども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央こども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央こども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央こども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

（平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正）

（入館の制限等）

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車の拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室（以下「平田図書室」という。）の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則）で定める。

(平19条例44・旧第14条繰下、平20条例40・旧第15条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

附 則（抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

（市川市教育センター設置条例の廃止）

- 3 市川市教育センター設置条例（昭和36年条例第9号）は、廃止する。

（市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止）

- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例（昭和63年条例第20号）は、廃止する。

附 則（平成15年6月25日条例第42号）

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成17年9月22日条例第38号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則（平成19年12月20日条例第44号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成20年12月12日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則（平成25年3月25日条例第20号）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行）

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則（平成28年9月28日条例第40号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

（準備行為）

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、改正後の第7条第1項、第2項及び第5項、第8条第1項、第21条第1項並びに第24条の規定の例により行うことができる。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

	平成 6 年 10 月 18 日	教育委員会規則第 9 号
改正	平成 8 年 2 月 7 日	教委規則第 1 号
	平成 10 年 6 月 10 日	教委規則第 7 号
	平成 15 年 8 月 13 日	教委規則第 11 号
	平成 17 年 2 月 16 日	教委規則第 3 号
	平成 18 年 3 月 22 日	教委規則第 1 号
	平成 19 年 10 月 24 日	教委規則第 14 号
	平成 19 年 12 月 20 日	教委規則第 18 号
	平成 21 年 3 月 19 日	教委規則第 4 号
		〔題名改正〕
	平成 23 年 3 月 25 日	教委規則第 2 号
	平成 24 年 3 月 14 日	教委規則第 1 号
	平成 25 年 7 月 12 日	教委規則第 5 号
		〔題名改正〕
	平成 28 年 3 月 31 日	教委規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成 6 年条例第 22 号。以下「条例」という。）第 27 条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平 21 教委規則 4・平 25 教委規則 5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第 2 条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平 24 教委規則 1・追加)

(蔵書の構築)

第 2 条の 2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

- 2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めたときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。
- 3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平 21 教委規則 4・全改、平 24 教委規則 1・旧第 2 条繰下・一部改正)

(館内利用)

第 2 条の 3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

- 2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平 24 教委規則 1・追加)

(レファレンスサービス)

第 3 条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項

(5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不適当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が適当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が適当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)

(2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード

の交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

- 2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

- 3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

- 4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

- 2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センター自動車駐車場管理規則

平成15年 9 月10日教育委員会規則第12号
改正 平成21年 3 月19日 教委規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成 6 年条例第22号。以下「条例」という。）第27条及び市川市教育委員会に対する委任に関する規則（昭和42年規則第20号）第 1 項第 8 号の規定に基づき、生涯学習センター自動車駐車場（以下「駐車場」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則 5 ・一部改正)

(駐車することのできる自動車)

第 2 条 駐車場に駐車することのできる自動車は、市川市生涯学習センターを利用する者が乗車している自動車とし、かつ、道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）別表第 1 に掲げる普通自動車、小型自動車及び軽自動車であって、その大きさが、長さ 5 メートル、幅1.9メートル、高さ2.1メートルをそれぞれ超えないものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(供用の中止)

第 3 条 委員会は、駐車場の維持管理その他の事由により特に必要があると認めるときは、駐車場の全部又は一部の供用を中止することができる。

(平21教委規則 5 ・一部改正)

(利用の手続)

第 4 条 委員会は、駐車場に自動車を駐車するもの（以下「使用者」という。）に対し、その入場の際、駐車券を交付するものとする。

2 条例第 8 条第 3 項ただし書に掲げる自動車を駐車した使用者は、当該自動車を出場させるときまでに、駐車券を提示して、当該自動車を駐車した旨を委員会に申し出るものとする。

3 使用者は、自動車を駐車場から出場させるときは、駐車券を提出して使用料を納付しなければならない。

(平21教委規則 5 ・一部改正)

(駐車券の紛失)

第 5 条 使用者は、駐車券を紛失したときは、駐車券紛失届（別記様式）により委員会に届け出なければならない。

(平21教委規則 5 ・一部改正)

(使用料の算出基礎)

第 6 条 条例第 8 条第 3 項に規定する使用料の額は、駐車場に入場した時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。ただし、使用者が駐車券を紛失した場合については、当該使用者が駐車場に入場した時として委員会が決定したその入場の時から駐車場を出場した時までの駐車時間を基礎として算出するものとする。

(平21教委規則 5 ・一部改正)

附 則

この規則は、平成15年10月 1 日から施行する。

附 則（平成21年 3 月19日教育委員会規則第 5 号）

この規則は、平成21年 4 月 1 日から施行する。

〇市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3 月 30 日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8 月 26 日

(趣旨)

第 1 条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第 6 号）

第 2 条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成 6 年教育委員会規則第 9 号）第 2 条の 2 の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第 2 条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第 3 条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。

3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。

4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。

5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。

6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第 4 条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第 5 条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）

(2) 逐次刊行物

(3) 地域資料

(4) 視聴覚資料

(5) 障害者用資料

(6) 電磁的記録

(7) その他

(資料別収集方針)

第 6 条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 令和元年6月7日法律第26号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関し必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、その長又は教育委員会）に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協

議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長）が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

（図書館の補助）

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

（都道府県の教育委員会との関係）

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

（国及び地方公共団体との関係）

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

（入館料等）

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

（図書館同種施設）

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

○子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日
法律第154号

（目的）

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動

を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

14. 計画(1)

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市教育振興基本計画

【第4期】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和6年1月

市川市教育委員会



1 計画の体系

◆市川の教育の目指す姿は、次の2つとします。

- 互いに認め合い、自分の思いを実現できる子ども
- 誰もが幸せを感じ、ともに学び支え合う、家庭・学校・地域

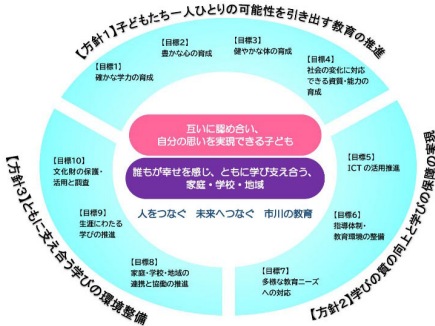
◆市川の教育の目指す姿を実現するため、基本理念を定めます。

「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」

◆各施策の実現にあたり重視する、基本的な3つの考え方を定めます。

- 1 すべての人の可能性を引き出す教育
- 2 家庭・学校・地域の連携
- 3 学びの環境整備(教育DX)

〔目指す姿と基本理念、基本方針及び目標の関係イメージ図〕



◆基本方針、目標、施策の一覧です。

基本方針	目標	施策
〈方針1〉 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進	1 確かな学力の育成	1 幼児期における教育の推進
		2 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進 (「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善)
		3 学校段階間の接続の推進
	2 豊かな心の育成	4 道徳教育・人権教育の充実
		5 読書活動の充実
		6 体験活動・交流活動の充実
	3 健やかな体の育成	7 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進
		8 食育の推進
		9 運動やスポーツに親しむ機会の充実
	4 社会の変化に対応できる 資質・能力の育成	10 社会的・職業的自立
		11 社会参画意識の醸成
		12 グローバル人材育成
〈方針2〉 学びの質の向上と 学びの保障の 実現	5 ICTの活用推進	13 児童生徒の情報活用能力の向上
		14 教育のICT環境整備の充実
		15 教職員のICT活用指導力の向上
	6 指導体制・ 教育環境の整備	16 働き方改革の推進
		17 教職員の指導力の向上
		18 安全・安心で質の高い教育環境の整備
	7 多様な教育 ニーズへの対応	19 特別支援教育の推進
		20 不登校児童生徒への対応
		21 夜間中学の教育的支援と教育活動の充実
		22 教育費負担の軽減に向けた経済的支援
		23 教育的支援が必要な子どもへの対応と相談体制の強化
	〈方針3〉 ともに 支え合う 学びの 環境整備	8 家庭・学校・地域 の連携と協働の推進
25 家庭の教育力の向上		
9 生涯にわたる学び の推進		26 地域の教育力の向上と地域教育資源の活用
		27 生涯学び、活躍できる環境の整備
		28 図書館機能を活用した学習活動の充実
10 文化財の保護・ 活用と調査		29 博物館などの活用を通じた学習活動の推進
		30 公民館の活用
31 文化財の保護・活用と調査の推進		

6 方針

第4期計画では、市川の教育に関わるすべての人が、同じ目標に向かって教育政策を進めることができるよう、目指す子ども像や家庭・学校・地域の姿を示しました。

基本理念と基本的な考え方を踏まえ、目指す姿に向かって、家庭・学校・地域の連携・協働のもと、今後5年間を通して市川市が取り組む教育政策の方針を、次の3つに整理しました。

方針1 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進

方針2 学びの質の向上と学びの保障の実現

方針3 ともに支え合う学びの環境整備

第4期計画の推進にあたっては、教育委員会だけではなく、子ども・保健・福祉部門などの市長部局や、保護者や地域の方々、関係機関や大学・企業など、多様な主体がそれぞれ役割を適切に分担しながら、社会全体が協働して教育の向上に取り組むことを目指し、連携・協働しながら効果的に施策を実施していきます。

第4期計画では、3つの方針のもと、目標と施策を示し、目標の達成状況を確認するための「成果指標」と、その背景を確認するための「参考指標」を設定しました。

ともに支え合う学びの環境整備

すべての人が生きがいや幸福感を感じられるようにするためには、子どもから大人まで、一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じて主体的に学び、活動できるよう、多様な教育的ニーズに応えられる体制づくりが必要です。

また、豊かな地域社会をつくるためには、家庭・学校・地域が連携・協働することが必要です。

そのために、地域コミュニティを核としたあたたかい人と人との関わりの中で、誰もが生涯を通して学び続け、学んだ成果を地域社会に還元することのできる環境を整備します。

そして、夢や希望を持ち、自らの個性を伸ばし可能性を広げられるよう、家庭・地域の教育力の向上を図るとともに、地域の多様な教育資源の活用を進めます。

生涯にわたる学びの推進

豊かで幸福感に溢れた人生を送るためには、生涯にわたり主体的に学び続けることが重要です。

社会の変化が加速化する時代にあって、その変化に対応するためには、新しい知識や技術について絶え間なく学習することが求められています。

また、学習の成果を地域で発揮することは、その人の豊かで幸福度の高い人生を実現するだけではなく、社会全体の健全な発展にもつながります。

教育委員会では、誰もが、人とのつながりの中で主体的に学び、活動を循環できる環境整備や、自らの可能性を最大限伸ばせるような支援を充実させることにより、生涯学習を進めます。

▶施策

27 生涯学び、活躍できる環境の整備

より多くの人が集い、活力ある地域のコミュニティ形成にも寄与できるよう、公民館についての在り方を検討するとともに、「学びの場」である学校や社会教育施設を核とし、生涯学習の推進を図ります。

あわせて、ボランティアや指導者の発掘・育成を進めます。

【主な事業・取組】

- 公民館主催講座活動事業
- いちかわ市民アカデミー講座
- 図書館運営事業
- 博物館展示・教育普及事業
- 特別支援学校との連携
- 公民館の活用
- 青少年指導者育成事業（ユースリーダー講習会）
- コミュニティクラブ事業

28 図書館機能を活用した学習活動の充実

図書館の持つ資料や情報を、居住地や障がいの有無などに関わらず容易に入手でき、学習に生かせる、誰もが利用しやすい図書館を推進するため、デジタルを含む資料の収集強化、貸出や返却の利便性向上、レファレンス機能の拡充、読書バリアフリーの推進など各種サービスの充実を図るとともに、図書館ネットワークのさらなる構築を進めます。

また、地元市川について学び、市川への理解と愛着を深める機会の拡充を図るため、積極的な地域資料の収集と、地域情報の発信を進めます。

【主な事業・取組】

- 図書等整備事業
- 図書館運営事業

29 博物館などの活用を通じた学習活動の推進

博物館の持つ様々な機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを生かした学習活動を進めます。

また、子どもから高齢者までの学習活動を支援するため、博物館以外の社会教育施設や学校との連携を図ります。

【主な事業・取組】

- 博物館保管研究事業
- 博物館展示・教育普及事業
- 博物館の体験学習を支援するボランティアの養成
- 博物館企画展事業

30 公民館の活用の推進

地域の身近な学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効活用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し連携することにより、地域に密着した公民館運営を進めます。

【主な事業・取組】

- 公民館主催講座活動事業
- 公民館の活用

▶指標

	成果指標	関連施策 (目標・施策)
58	「地域には学ぶ場と機会(文化活動やスポーツ活動を含む)が十分にある」と回答する人の割合	9-27
59	「生涯学習に関する情報提供がある」と回答する障がいの割合	9-27
60	「探していた情報や知識を得ることができた」と回答する図書館利用者の割合	9-28
61	「本の探し方や、知識・情報の調べ方が分かった」と回答する図書館利用者の割合	9-28
62	博物館の講座参加率	9-29
63	博物館の講座参加者の満足度	9-29
64	公民館主催講座のうち、「学校・地域との連携」を念頭に実施されたものの割合	9-30
65	公民館(部屋)の利用率	9-30
66	公民館主催講座の受講者の満足度	9-30

点検・評価報告書

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和5年6月
市川市教育委員会

いつも新しい流れがある 市川

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

目標6 人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

人生100年時代の到来を見据え、誰もが、主体的に学び、これまで以上に知識や能力を身に付けることや、人とつながり学びや活動を循環させることにより、人生を豊かにしていくことができるよう、“自分らしく輝くための学び”を推進します。

教育に支援が必要な幼児児童生徒に対し、その時点で最も教育的ニーズに応じた指導が提供できるよう、市川市では、特別支援学級などの教育の場を設置していますが、障がいのある方々が自らの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参画に必要な力を培うためには、学校卒業後における学びの支援も重要です。家庭・学校・地域の連携・協働の下、誰もが“自分らしく輝くための学び”により、自らの可能性を最大限伸ばせるよう支援します。

○目標6に属する施策とその評価

施策	評価
施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実	○
施策2 学校卒業後における障がい者の学びの支援	○
施策3 図書館機能を活用した学習活動の充実	○
施策4 博物館などの活用を通じた学習活動の推進	○
施策5 公民館を活用した地域の学習拠点づくり	○
施策6 文化財の保護と活用	○

▶施策1 “自分らしく輝くための学び”の機会の充実

一人一人が生涯にわたり、さまざまな場や機会において、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる学びを充実させるとともに、学習情報の発信を積極的に行います。

【主な事業・取組の実績】

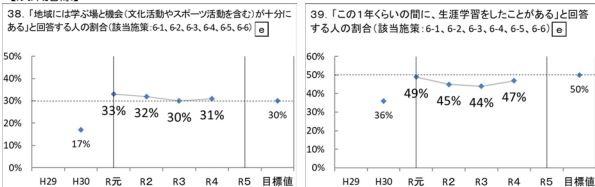
- 公民館主催講座は、対面型の講座とオンライン講座を実施した。
対面型講座 214講座 474回 延べ受講者数 5,244人
オンライン講座
市公式YouTubeチャンネルによる動画配信
18講座 22本 再生総回数 15,640回
双方向型オンライン講座 (Web 会議システム)
1講座 2回 延べ受講者数 10人
- 市民アカデミー講座はコロナ禍のため、引き続き開講時期を遅らせ、規模を縮小して実施したが、1大学は対面式、2大学はウェブ会議システムの活用という形態となった。
3大学 各6回 延べ受講者数 253人
- 公民館主催講座は、令和4年度は年間で全 212 講座を実施し、従来の往復ハガキ申込に加え、スマートフォンやパソコンから応募できる web 申込を実施した。
- 学習交流施設「市本」は、主に社会人や大学生を対象に、本を介して、利用者同士が学び、交流を深めることができる施設として、供用を開始したが、成果や事業の優先順位の低下などに鑑みて、令和5年3月をもって廃止した。
- 図書館ネットワークの活用では、自動車図書館の運行、また公民館図書室や市民図書室等との連携により、市民が図書に触れる機会を提供した。自動車図書館の車両入れ替えによる小型化に伴い、巡回場所を 18 箇所から 25 箇所が増加し、市民が図書に触れる機会を拡大した。
- CD や DVD など AV 資料の予約受取を市民図書室や男女共同参画センター情報資料室でもできるようにサービスを充実させた。
- 市内3つの圏指定文化財について、多言語による音声ガイドなどを活用した紹介情報を発信した。

評価	評価の理由
○	成果指標 38 は目標値を達成しており、39 は、概ね目標値付近で推移している。対面型及びオンライン型の講座の実施等広い年代層への学習機会の提供に努めたことなどから、施策の実現が概ね図られてきている。

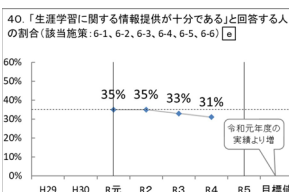
【今後の方向性】

- コロナ禍の状況が落ち着きつつあり、令和4年度は公民館で行う対面型の主催講座を再開した。集団的な学習は公民館講座の主体となるもので、従来型の学習機会が確保され、今後、受講者の増加が見込まれる。(社会教育課)
- 学習効果や受講者拡大を図るうえで、オンライン講座は、「いつでも」「どこでも」「何度でも」学べる利点がある。対面型の充実と併用して、各館で企画と制作を続けることに課題が残るが、可能な範囲で取組を継続していく。また、給食に関するテーマでWeb会議システムを活用した双方向型講座の開催は、講師との対話やグループワークによる情報共有ができ、受講者に好評であった。(社会教育課)
- 自動車図書館の運行や公民館図書室等との連携により市全域での図書館サービスの充実を図った。(中央図書館)
- 今後も、公民館図書室等との連携により、市全域で図書館サービスが提供できるよう努めていく。(中央図書館)

【成果指標】

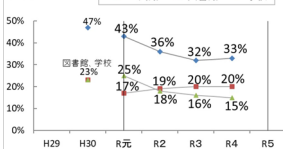


※平成30年度から成果指標の選択肢の一部を変更したため単純比較はできない。
第3期計画策定時から選択肢を一部変更。
策定時「ある」「ない」「わからない」
変更後「十分である」「どちらかといえば十分である」「どちらかといえば不十分である」「不十分である」「どちらともいえない」

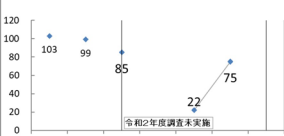


【参考指標】

【参考指標9】6-1、6-2関連 生涯学習をしたことがある場所や形態の把握 ☒



【参考指標10】6-1、6-5関連 公民館が学校や地域と連携した講座数 ☒



※コロナ禍により、主催講座を実施しなかったことから、令和2年度の数値は算定不能。

▶実施3 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{※1}の充実、図書館ネットワーク^{※2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

【主な事業・取組の実績】

- ・IC関連機器を使った蔵書管理の実施により効率的、効果的な図書館運営を進めることができた。
- ・年間の収集方針に基づき、計画的な資料の収集と更新を実施した。
- ・一部の閲覧席について、自習ができる学習席として利用できるようにし、市民が自習できる環境づくりに取り組んだ。
- ・読み聞かせの会や図書館ツアーなどの行事を実施、また読み聞かせ動画の配信も引き続き行なうなど、子どもの読書活動推進のための取組を行った。

評価	評価の理由
○	成果指標 38 は目標値を達成しており、39 は概ね目標値付近で推移している。成果指標 74 は調査対象が変更されたものの、目標値を達成している。図書館の一部の閲覧席について、自習ができる学習席として利用できるようにし、市民が自習できる環境づくりに取り組むなどの実績から施策の実現が概ね図られてきている。

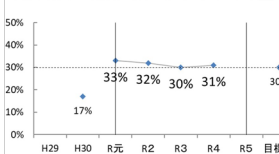
【今後の方向性】

- ・IC関連機器による蔵書管理業務の合理化と市民サービスの向上を図ってきた。（中央図書館）
- ・今後も、社会の変化に対応した読書環境を整備し、情報拠点として市民の学びを支えていくよう努めていく。また、子どもの読書活動推進のための様々な取組を実施し、子どもの成長のサポートができるよう努めていく。（中央図書館）

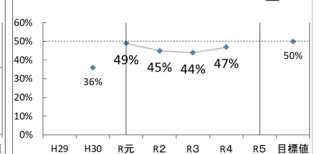
※1 レファレンスサービス…事実情報や文献資料を求めたい利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス。
※2 図書館ネットワーク…図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム。

【成果指標】

38.「地域には学ぶ場と機会(文化活動やスポーツ活動を含む)」が十分にあると回答する人の割合(該当施策:6-1、6-2、6-3、6-4、6-5、6-6) ☒



39.「この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがある」と回答する人の割合(該当施策:6-1、6-2、6-3、6-4、6-5、6-6) ☒



※平成30年度から成果指標の選択肢の一部を変更したため

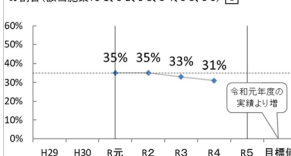
単純比較はできない。

第3期計画策定時から選択肢を一部変更。策

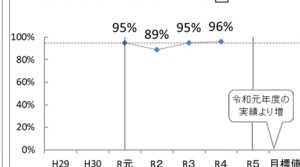
定時:「ある」「ない」「わからない」

変更後:「十分である」「どちらかといえば十分である」「どちらかといえば不十分である」「不十分である」「どちらともいえない」

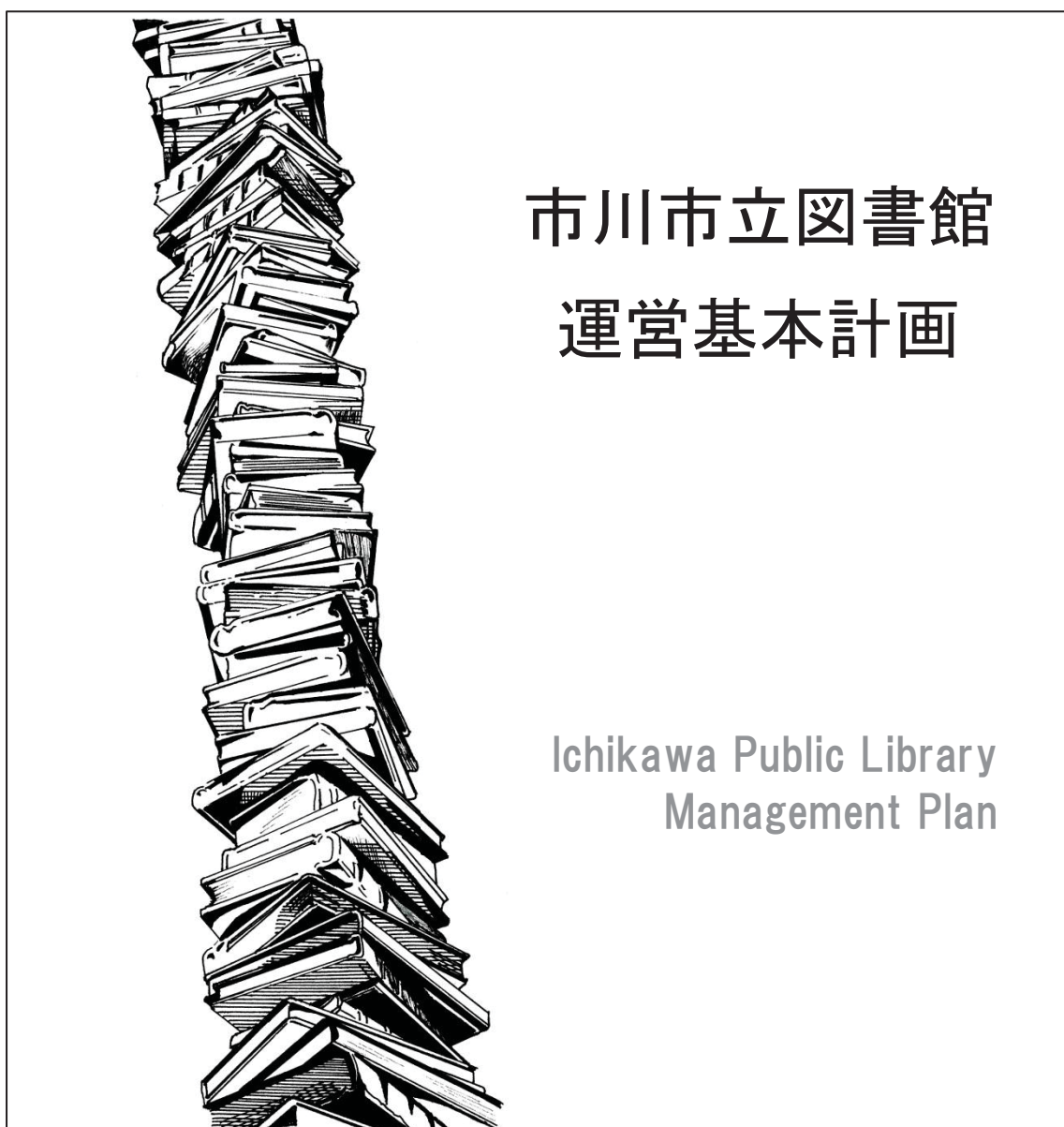
40.「生涯学習に関する情報提供が十分である」と回答する人の割合(該当施策:6-1、6-2、6-3、6-4、6-5、6-6) ☒



74.「図書館に満足している」と回答する人の割合(※)



※図書館来館者を対象に調査を実施したが、令和2年度のみeモニター制度での調査としたため、単純比較はできない。



市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

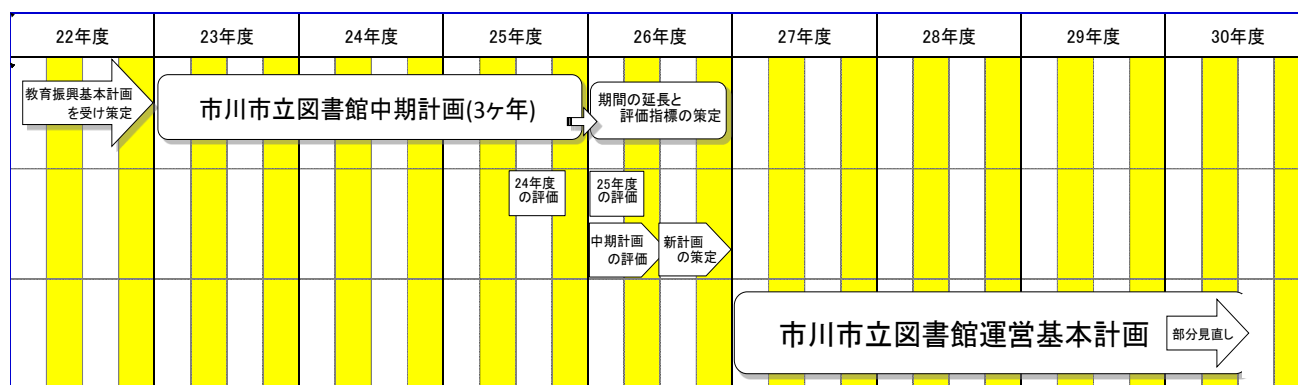
平成 27 年 3 月

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

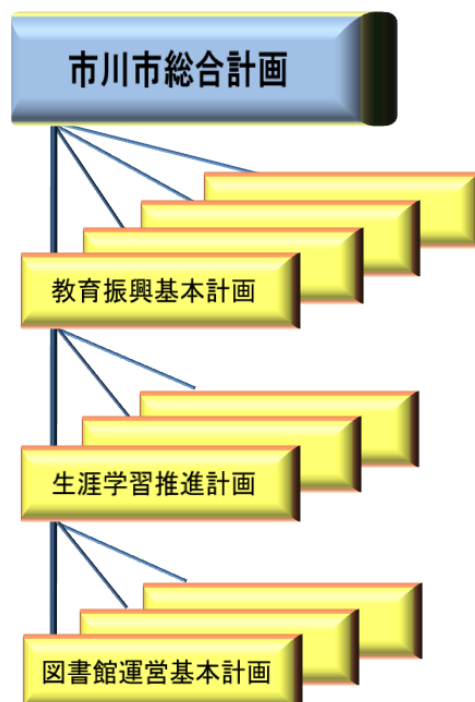
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとしします。また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとしします。



* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



3. 計画の成り立ち

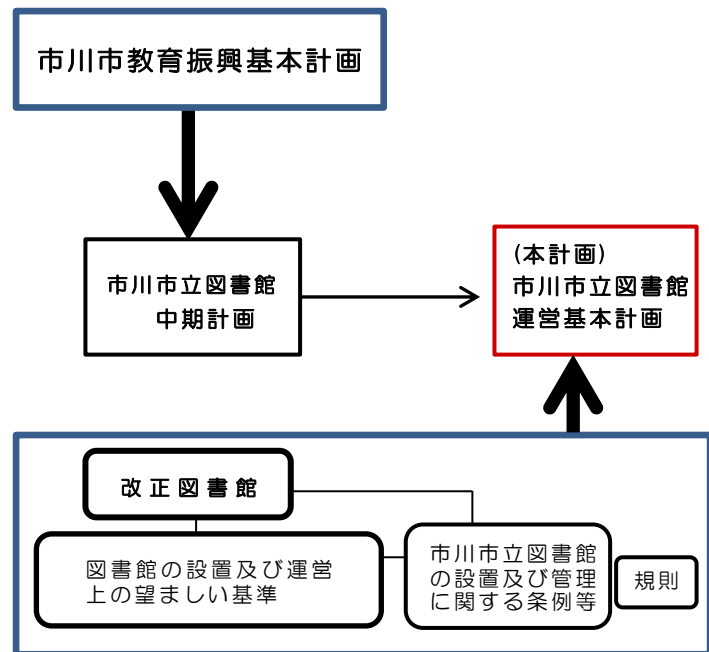
「図書館法」（昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正）の平成20年（2008）の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年（2012）に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24（2012）年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



「図書館法」

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

策定経過

時 期		内 容
平成 26 年	2月13日	策定方針についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
	4月3日	策定方針について（議決）（定例教育委員会議）
	4月23日	策定方針についての意見聴取（関係各課）
	9月26日 ～10月6日	e-モニターの実施
	10月25日	計画（素案）についての意見聴取（図書館ボランティア）
	11月15日 ～12月14日	計画（素案）についての意見聴取（パブリックコメント）
	11月20日	計画（素案）についての意見聴取（市川市社会教育委員会議）
平成 27 年	2月5日 ～3月6日	パブリックコメント実施結果公表
	2月5日	計画（案）について（定例教育委員会議）
	2月12日	計画について（報告）（市川市社会教育委員会議）
	4月	「市川市立図書館運営基本計画」の施行

5. 現状と課題

(1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書斎」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学付属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

(2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3ヵ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組むことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報入手するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

（３）今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

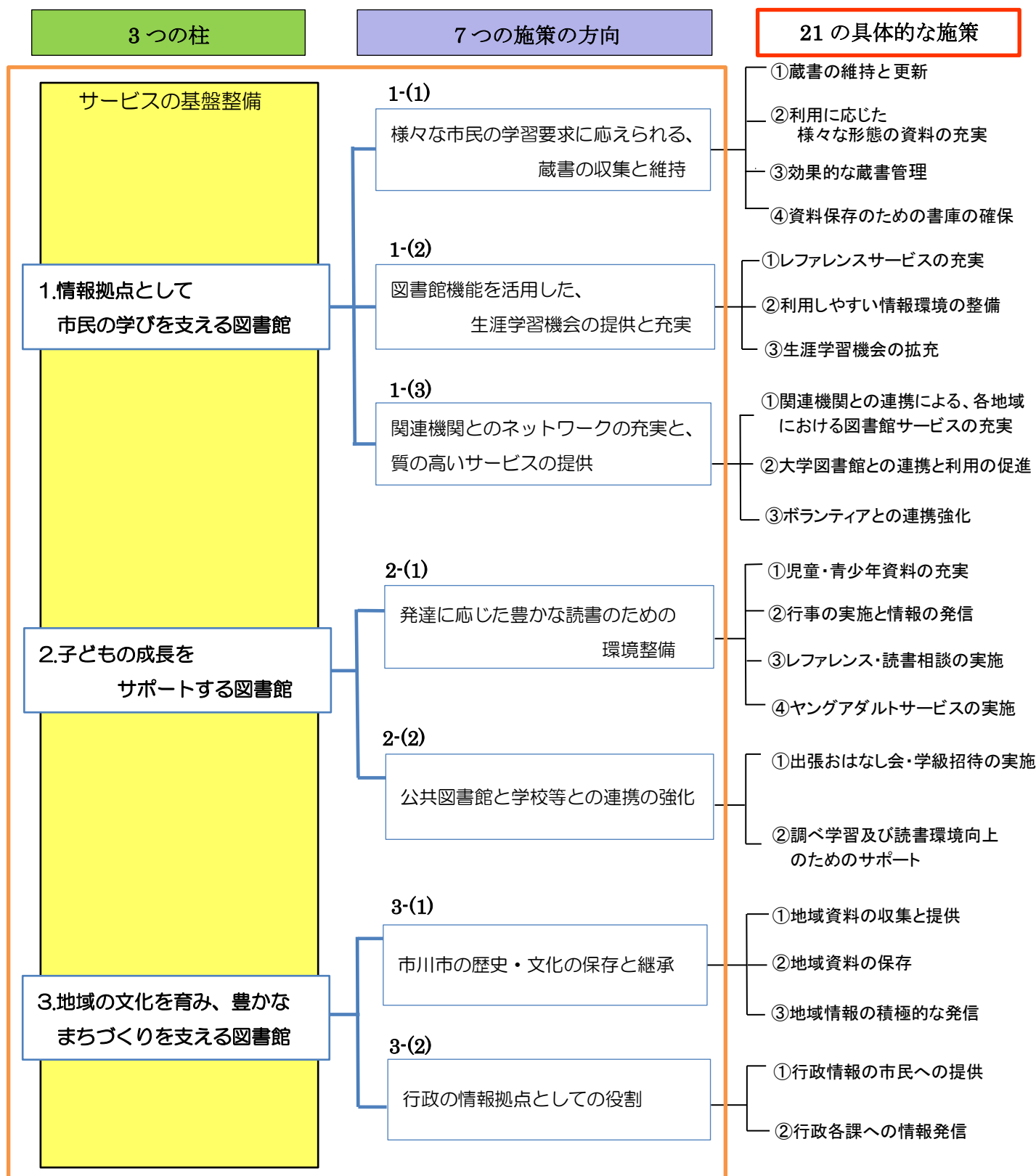
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。
これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えていきます。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

（１）「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

①蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

②利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

③効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ICTによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

③生涯学習機会の拡充

大学、企業、NPO、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的に行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

（１）「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

（２）「公共図書館と学校等との連携の強化」

①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等への出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書の更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実に努めます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

(1)「市川市の歴史・文化の保存と継承」

① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供していきます。

② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行っていきます。

(2)「行政の情報拠点としての役割」

① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりにおいて、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信していきます。

第3章 実施計画編（令和6年度～令和7年度）

市川市立図書館運営基本計画（平成27年策定）で掲げた3つの柱の下、7つの「施策の方向」と21の「具体的な施策」に基づき、令和6年度～令和7年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげるPDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行うため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持

数値目標等	継続的な資料の更新（購入と寄贈の合計冊数）	
	令和6年度	令和7年度
	50,000 冊	50,000 冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備

数値目標等	読書バリアフリー計画の策定	
	令和6年度	令和7年度
	策定	

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 全館的な IC タグによる蔵書管理の効率化と業務の改善

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の提供

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール (パスファインダー等)の発行	
	令和6年度	令和7年度
	15点	15点

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

数値目標等	レファレンス協同データベースの事例提供	
	令和6年度	令和7年度
	100件	100件

実施事業 3 市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進

◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備

実施事業 2 非来館型サービスについての調査及び導入の検討

◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充 とPRによる利用の促進

数値目標等	図書館有効登録者数の拡大	
	令和6年度	令和7年度
	87,000人	88,000人

実施事業 2 イベントの開催や地域イベントへの参加・協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、 質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携及び北部地域の図書館サービスの充実

◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会等と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

※数値目標については、施策の方向 1-(1) 具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」に含まれる

◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施

数値目標等	読み聞かせの会の参加人数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	1,000 人	1,000 人

実施事業 2 推薦図書の紹介や読書に関わる情報の発信

数値目標等	推薦図書リストの新規作成数 (ヤングアダルトサービス含む)	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	4 件	4 件

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備

数値目標等	子ども向け調べ方案内 (パスファインダー) の新規作成数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	2 件	2 件

実施事業 2 子どもの本についての読書相談等の実施

数値目標等	児童書に関する相談件数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	6,400 件	6,500 件

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中高生の学習、生活、進路等の課題解決を支援するための図書や情報の提供

実施事業 2 図書館と中高生を結びつける行事の実施や刊行物の発行とその PR

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 出張サービスの実施

数値目標等	出張サービスの実施回数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	15 回	20 回

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

数値目標等	「公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業」 配送図書冊数	
	令和 6 年度	令和 7 年度
	37,000 冊	37,000 冊

実施事業 2 外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数	
	令和6年度	令和7年度
	63,000 冊	64,000 冊

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 地域行政資料の電子化

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報の追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

数値目標等	行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施回数	
	令和6年度	令和7年度
	10回	10回

実施事業 2 市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布

数値目標等	市の刊行物・作成物等の掲示及び配布件数	
	令和6年度	令和7年度
	50件	50件

◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信

数値目標等	図書館刊行物の庁内掲示板への掲載件数	
	令和6年度	令和7年度
	15件	15件

14. 計画（3）

令和4年度 市川市立図書館評価報告書

令和6年2月

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」（昭和25年法律第118号）第7条の3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文部科学省告示第172号）、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」（平成21年教育委員会規則第6号）第1条の2及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」（平成6年教育委員会規則第9号）第2条に基づき、令和4年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第3章 実施計画編（令和3年度～令和5年度）の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、令和4年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合してA～Dの4段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3つの柱」についての取り組みを4段階評価で表した。（3つの柱と7つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7を参照）

実施内容	評価
十分達成できた。（目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。）	A
概ね達成できた。（目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。）	B
やや不十分だった。（実施したが、十分な成果をあげることができなかった。）	C
不十分だった。（実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。）	D

4. 自己評価結果

令和4年度は、「市川市立図書館運営基本計画」の3つの柱のうち「子どもの成長をサポートする図書館」、「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」の2つについては、目標を達成することができA評価となった。子どもへのサービスについては、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら行事の実施回数を増やすことができ、「市川市子どもの読書活動推進計画第二次」を策定したことにより今後の具体的な取り組みも明確化された。また、地域行政資料についてはこれまで同様に積極的な収集を行うと同時に、行事や展示等による行政各部署との連携の充実を図ることができた。

「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、自動車図書館ステーションの増設等の非来館型サービスの拡充が行えたものの、蔵書の受け入れ冊数が目標値未満であったことや、大学図書館との連携がコロナ禍以前に戻っていないことなどからB評価となった。

全体としては、昨年度と同様に7つの施策の方向のうち4つがA評価、3つがB評価であったが、令和4年度の目標は概ね達成でき、一定の成果をあげたと評価できる。

5. 令和4年度市川市立図書館評価に対する外部有識者からの意見 …詳細は別紙

外部有識者2名（図書館情報学）から、令和4年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

令和4年度「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

総合結果

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評価	☐ A〔十分達成できた〕	☒ B〔概ね達成できた〕	☐ C〔やや不十分だった〕	☐ D〔不十分だった〕
----	-------------------------------------	--	--------------------------------------	------------------------------------

令和4年度は、令和3年同様資料費減が続いたため、蔵書の目標値に達しなかった。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行(以下、「コロナ禍」とする)が続く中、一年を通して通常開館を維持し、大きな混乱もなく順調に運営を維持できた。また、制限をしていた座席も通常に戻す際にその運用を一部見直し、座席の一部を学習席として機能させることにより、利用者の利便性に答えることができた。

コロナ禍による社会の変化に伴い、既存のサービスの見直しを求められる中で、自動車図書館ステーションの増設や、宅配サービスの見直し、動画の配信といった非来館型サービスの拡充を図った。今後も電子資料の導入等も含め、幅広い情報が身近なところで受け取れることができるよう検討を行う。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

評価	☒ A〔十分達成できた〕	☐ B〔概ね達成できた〕	☐ C〔やや不十分だった〕	☐ D〔不十分だった〕
----	--	-------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------

イベントの再開後、えほんの会やYAサポーター活動等、感染防止に努めながら回数を増やしていった。同時に中高生の本の紹介POPの展示、子ども向けパスファインダーの作成なども引き続き行った。

蔵書数は目標に達成しなかったものの、学校図書館支援センター事業においては、依頼や貸出件数は増加した。

「市川市子どもの読書活動推進計画第二次」(令和5～7年度)を策定し、乳幼児絵本の配布やボランティアの育成・連携等も検討した。今後も、子どもの発達段階に応じて、より多くの本に出会う機会を創出し、興味や好奇心を持たせるような読書体験をさらに広げる取組に努めていく。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評価	☒ A〔十分達成できた〕	☐ B〔概ね達成できた〕	☐ C〔やや不十分だった〕	☐ D〔不十分だった〕
----	--	-------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------

地域行政資料は、情報や資料の収集、保存、発信といった意味合いにおいては、コロナ禍に関係なく十分に目標を達成することができた。また、継続的に行政各部署と連携した行事や展示を行い、必要な行政情報を市民に提供することができた。

今後もデジタルアーカイブ・システムでの公開に向け、地域資料のデータ整備等の作業を進めていくほか、地域情報データベースの更新等、サービスの充実に努めていくと共に活用をPRしていく。

令和4年度の取り組み内容

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1ー(1)「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持(購入と寄贈の合計冊数)	50,000冊	34,814冊	B
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	調査・検討	一部実施	
	・障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備	点字図書の統合目録の作成	点字図書の統合目録の作成	
③効果的な蔵書管理	・全館的なICタグによる蔵書管理の発展的な実施の検討	IC機器の活用	IC機器の活用拡大	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の設置と活用	可動式書庫の活用	可動式書庫の活用	

実績と評価	コロナ禍が続いたが、令和4年度は通年開館することができ、セルフ貸出機の利用も市民に浸透してきた。市川駅南口図書館と行徳図書館のICタグ関連機器のリプレースを実施し、行徳図書館のセルフ貸出機の増設やハンディ型の蔵書点検機器を導入し、貸出の待ち時間の短縮や蔵書点検の迅速化を図った。資料の受入れ冊数は目標値の69.6%に留まったが、寄贈資料の積極的な活用に努め、昨年度より増加した。電子書籍については3月に市川駅南口図書館で導入し貸出を開始した。
課題	市民のニーズに応えるために、引き続き紙資料の充実が必要である。電子書籍については一部市川駅南口図書館で導入したが、全館で導入する際には、紙資料との併存やその特性を活かした利用ができるよう、子どもや障がい者等、利用対象を絞った資料選定を行うなど、いくつかの導入パターンを検討しておく必要がある。
方向性	限りある予算を有効に活用するために、市全体としての蔵書のバランスや電子書籍の活用方法を考慮し、的確な資料選定を行っていく。

施策の方向 1-(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①レファレンスサービスの充実	・レファレンスツールおよび事例集の提供	継続発行、発展	継続発行、発展 (発行数 17)	A
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施 (200 点以上)	実施 (206 点)	
	・市民の学習要求や調査研究に定めるデータベース等の提供及び利活用の促進	実施	実施	
②利用しやすい情報環境の整備	・図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備	整備・実施	実施	
	・非来館型サービスについての調査及び導入の検討	検討・実施	検討・実施	
③生涯学習機会の拡充	・中央図書館及び地域図書館、自動車図書館の特性を活かしたサービスの拡充と PR による利用の促進 (図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度 22,840 人)	30,596 人	
	・北部地域の図書館サービスの拡充	実施・周知	実施・周知	
	・イベントの開催や地域イベントへの参加・協力	検討・実施	実施	

実績と評価	レファレンスサービスは、全体で 47,910 件と、前年度の 52,489 件よりは減少したものの、事例集である「参考業務月報」から名称変更した「あれこれふぁ」を 11 回発行したほか、パスファインダーを 6 号発行し、レファレンスツールおよび事例集の提供数については前年度を上回ることができた。それらの事例等をレファレンス協同データベースに提供した結果、データ登録数が全国の基準を上回り、国立国会図書館から 14 回目の感謝状を受け取った。また、図書館ホームページでは、OPAC で本を検索する方法を紹介した動画を公開した。自動車図書館車両の更新に伴い車両を小型化したことにより、これまで巡回できなかったところも含めて、ステーションを 18 から 25 か所に拡大し、特に北部地域のサービス拡充を図った。イベントについては、感染防止策をとりながら段階的に実施した。図書館利用登録者数は、前年度比 134%となったほか、実利用者数も 1,290 人多い 58,491 人となった。
課題	外部データベース等のサービスの環境整備を進めるとともに、PR の方法を工夫し、新規登録者等の拡大に繋げていく必要がある。
方向性	対面サービス等の、感染防止対策を行いながら新型コロナウイルス感染拡大前の状況に戻すもの、Web を活用したサービス等のコロナ禍での経験を踏まえて継続・拡大していくべきものを見極め、来館型・非来館型サービスのバランスよい実施を心がけていく。

施策の方向 1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①関係機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	・関連施設との連携による図書館サービスの充実	実施	実施	B
②大学図書館との連携と利用の促進	・市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施	実施(1 件)	
	・市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進	実施	中止	
	・大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施	
③ボランティアとの連携強化	・図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	検討	実施(1 回)	
	・障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集	実施(20 点)	実施(23 点)	

実績と評価	コロナ禍の中、図書館友の会は活動を停止していたが、連絡を取り合い共催行事としてリサイクルブック市を実施することができた。また、障がい者サービス関連のボランティアからは、点字資料や DAISY 図書などの成果物 23 点を受取り、目標値を上回ることができた。 大学の図書館実習は、前年度に引き続いて実習期間を短縮して 1 名実施し、インターンシップの受入れも 1 名行った。一方で、千葉商科大学及び和洋女子大学との協働については、前年度と同様に学外者が入構できなかったため、紹介状の発行や相互利用の PR 等は実施できなかった。
課題	新型コロナウイルスの 5 類感染症移行に伴い、休止されていたボランティア活動等が順次再開されていくことになるが、適切な感染対策や再開後の内容等について、関係機関と連携を進めていく必要がある。
方向性	大学や関連施設、ボランティア等の地域住民との連携により、図書館サービスの充実を目指す。また、図書館実習等については、実習生に館内の掲示物の作成を依頼する等の試みも検討していく。

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2ー(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新(購入と寄贈の合計冊数)	9,000 冊	7,694 冊	A
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	継続実施	継続実施	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備	レファレンスツールの作成	レファレンスツールの作成	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	実施	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	実施	実施(30 回)	
	・中学・高校生へのヤングアダルトサービスの PR	実施	実施	

実績と評価

資料の充実については、昨年度に引き続き本の単価が上昇し、購入冊数は減少したが、寄贈書の受入で補うことで、受入れ冊数の達成率は目標値の約 85.5%と昨年度より上昇した。

行事の実施については、感染拡大防止策を講じながら、「えほんの会」等の定例イベントの回数を増やし、「こわいおはなし会」等、季節毎の特別イベントを再開した。非接触型の取組として「くま館長からの挑戦状」「わくわくいっぱいふくぶくろ」は、昨年度の倍以上が貸出された。YouTube 動画は 13 本作成、館内のサイネージでも数本配信し、子どもの読書欲を掻き立てる試みを継続した。パスファインダーは、伊能忠敬とユニバーサルデザインについて取り上げた。大人への読書相談等として、新井親子つどいの広場で講座「絵本のことを司書さんに聞いてみよう」の講師を職員がつとめた。

ヤングアダルトサービスでは、夏休み期間にイベント「YA“夏季”氷本」、冬に「YA 図書館本 A-Z」を引続き実施し、「YA通信」「YA通信 入門編」等の刊行物は継続的に発行・改訂した。また、図書館やYAコーナーをPRするボランティア「YAサポーター」活動を再開し、16 回延べ 20 人が参加し、本の POP 作成、イベントの手伝い等を行った。また、「市川市子どもの読書活動推進計画第二次」(令和5～7年度)の策定作業を行い、予算確保はかなわなかったが、乳幼児サービスであるブックスタート事業の見直しを行った。

課題

乳幼児サービスの展開、子どもの保護者に向けたPRなど。

方向性

行事の回数をコロナ禍より前に戻すとともに、「市川市子どもの読書活動推進計画第二次」(令和5～7年度)にも基づき、子どもの発達段階に応じた様々な取り組みを実現していく。

施策の方向 2ー(2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	実施充実	実施(6 件)	B
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	継続実施	継続実施 (資料依頼 507 件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	前年度並 (260 冊)	65 冊	
	・外部機関等と連携した児童・青少年サービスの実施・充実	実施	実施	

実績と評価

「学校図書館支援センター事業」については、再開し、昨年度より依頼件数、貸出冊数は増加した。但し、実際の人の動きについては、「出張おはなし会」はコロナ禍で中止、「学級招待」等は6回実施にとどまった。ヤングアダルト特集展示のためのポスター募集や借用POP等の館内展示は継続し、一般利用者が目にするように工夫し、広く利用された。他機関との連携としては、文学ミュージアムの星野道夫展において、関連本の読み語りを実施、こどもから動物が登場する本の紹介を募集した。また、よみっこ運動から本の寄贈を受け、同団体主催のビブリオバトルで紹介された本のPOPを三館(中央・行徳・駅南)で展示し、好評であった。

課題

学校図書館向け貸出資料の内容が古びてきたため、計画的に更新・購入していく必要がある。

方向性

「市川市子どもの読書活動推進計画第二次」(令和5～7年度)に基づき、学校のほか、市内の子ども子育て施設等の外部機関を通して、子どもと保護者に向けて読書の大切さをPRし、積極的に読書支援、図書館利用の促進を図る。

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-1「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理 (地域行政資料の蔵書冊数)	前年度比増 (62,069 冊)	62,973 冊	A
②地域資料の保存	・地域行政資料の電子化	継続実施	実施	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域情報の追加及び更新	実施	実施	

実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集した結果、蔵書冊数は目標値を上回ることができた。以前から準備を進めていた『京葉市民新聞』のデータを館内Web-OPACのデジタルアーカイブ・システムで公開したほか、『大柏川第一調整池緑地だより』のデータ提供を受け、デジタルアーカイブにおけるインターネット公開に向けてデータの登録等の準備を進めている。

また、地域資料のパスファインダー「市川市ってどんな街？5 市川市の地図を調べる」の改訂版を発行し、ウェブサイトを更新した。

課題

劣化対策として資料の電子化を計画的に進めていくことが重要だが、全てを電子化することは困難なので、地域行政資料を物理的に永く保存していくために十分なスペースの確保も必要である。また、資料をインターネット公開する際の利用許諾については、個人情報や転載記事の扱い等の注意点を整理し、誰でも扱えるように雛形を整備していく必要がある。収集・保存している資料については、パスファインダーの作成やホームページの活用等、広く市民が利用できる環境整備を行う。

方向性

引き続き、地域行政資料の積極的な収集と受入れに努めるとともに、誰もが必要な情報にアクセスできる環境を目指す。そのために、地域行政資料の整理と著作権保護期間満了資料の電子化を進め、館内で公開するデジタルアーカイブの活用を図っていく。

施策の方向 3-2「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	継続充実	実施充実 (12 回)	A
	・市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布	継続実施	販売の再開	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信	実施	実施	

実績と評価

行政各部署や関連団体と連携した展示は、危機管理課、健康支援課、地域支えあい課、商工業振興課、市内学校等と実施し、毎年継続して行っている展示については、展示する視点・観点を変え、連携内容を充実させた。特に POP を用いた資料展示を多く行ったところ、お薦めした図書がよく利用されていた。また、市の刊行物の販売については、5 月から再開することができた。

図書館からの情報発信としては、図書館だよりをカラーで発行し、参考業務月報を「あれこれふぁ」にタイトル変更するなど、情報が目に入りやすい工夫を行った。また、市の行政各課が行う事業の事前調査のために、図書館が利用される事例もあり、調査依頼に対応するとともに図書館機能を紹介するなど PR に努めた。

課題

行政各部署に向けて、図書館が行政情報の集約・整理に努めていることを周知させていく必要がある。そのためには、図書館側からの積極的な呼びかけを継続的に行うことが課題であり、目に見える形として、行政情報に関するパスファインダーの作成に取り組み、これを情報発信していく。

また、市民に向けては、図書館が集約した幅広い行政情報を、誰でも使えるように整理し、わかりやすい形で迅速に情報提供していくことが課題となる。

方向性

行政各部署や市内関連団体等と連携して、市川への理解と愛着が深まるような魅力的な展示やイベントを企画するほか、身近な行政情報や市川の魅力を市民に積極的に提供していく。

また、行政各部署に対しては、図書館で利用できるデータベース等、役立つツールの効果的な活用法をわかりやすくPRし、図書館のレファレンス機能を地域の課題解決や各部署の事業運営に役立ててもらえるよう情報発信をしていく。

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

・コロナ禍、資料費減の厳しい環境のなかで、必要とする取り組みが着実になされたと考える。

資料の受入冊数が目標値の69.6%にとどまったのは、前年度と同様に資料費の減によるものであるが、寄贈資料の活用と除籍数の抑制によって、年間増加冊数が前年度から微増となるなどの努力が認められる。また、コロナ禍が続くなか、通常開館に復し、自動車図書館ステーションの増設など、さまざまなサービスの改善に努め、図書館利用登録者数が前年度から34%の増加となったことは高く評価される。しかしながら、年間貸出冊数が前年度から2.7%の減となったことは、資料費の減が直接に影響したものと憂慮している。資料の選択にいつそう留意されるとともに、資料費増への取り組みをお願いしたい。

・資料に関しては、「量」のみでなく「質」も大切であり、受入れ冊数は目標値には届かなかったものの、必要性の高い資料が収集されているのではないかと推測する。「質」という意味では、寄贈資料の活用や電子書籍の導入など、蔵書の「幅」を広げる取り組みは高く評価できる。

生涯学習における図書館機能の活用という点でレファレンスサービスの充実が重要であるが、事例集やパスファインダーの発行などから見て取れるとおり、積極的な取り組みがなされている。また、OPACによる検索方法を紹介した動画を公開するなど、活用を促進する工夫が進められていることにも注目したい。今後も、ウェブを中心とした非来館型サービスについて、ニーズを見極めつつ、来館型サービスと適切なバランスを持って展開してほしい。

友の会、ボランティア、大学との連携を着実に再開・進展させることができている。今後は、必要に応じて新たな連携先の開拓なども視野に入れつつ、図書館「外」との協働がさらに充実していくことを期待したい。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

・子どもへのサービスが全国的に出色の水準にあることは、学校図書館への支援を含め、異論の余地はないと考える。

購入冊数は前年度に続いて減少し、その理由を本の単価の上昇としているが、出版物の平均単価は2.2%増(出版科学研究所調べ)であるから、資料費の減が大きな理由であろう。一方、対面での多彩な行事を再開するとともに、非接触型行事の実施やYouTube動画の配信も継続するなど、読書活動推進を高いレベルで維持しており、関係者の尽力を多量とした。

・子ども向け定例イベントの回数を増やしたり、特別イベントを再開したりできたことは、今後につながると思われる。購入冊数は減少したものの、肝心なのは「質」である。一点一点の資料に目配りの効いた選書がなされていると推測する。YouTube動画の作成・配信など、非来館型サービスを充実していく方向にも期待が持てる。YAサービスについては、イベント実施や刊行物発行・改定が進められたほか、ボランティア活動も再開されるなど、一定の活動実績が見られる。

学校図書館支援センター事業も再開され、依頼件数・貸出冊数とも増加しており、学校等との連携を進展させる基盤が固められている。今後は、市の読書活動推進計画なども踏まえつつ、子どもの発達段階や(とくに学校における)学習内容などにも配慮しながら、図書館だからこそできる活動を中心に、「子どもの成長」につながる取り組みがいつそう拡充されることを期待したい。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

地域資料の収集と電子化、行政情報の提供と発信は、地に足のついた事業として定着しつつあると考える。

地域資料の蔵書冊数が前年度から 904 冊の増加となったのは、図書館からの積極的な寄贈依頼によるものと推量され、整備に制約の多いデジタルアーカイブ化の着実な実行とともに、図書館としての力量が示されたものと評価できる。行政各部署などと連携した展示も、図書館からの働きかけが連携先によく理解されていることが伺われ、今後も図書館ならではの提案と創意工夫を期待したい。

・公共図書館の役割として、地域の文化を保存・継承していくことは重要である。目標値を上回る地域行政資料が収集され、地域新聞等のデジタルアーカイブ化が進められるなど、かかる役割を果たすための積極的な姿勢が見取れる。

行政各部署・関連団体などとの連携も進められ、また、POP を用いた資料展示によって利用を促すなど、文字どおり「行政の情報拠点」として自律的な工夫が見られる点は大いに評価できる。市川の「よさ」をいっそう引き出し、伝え、拡げていくために、図書館としてできることをさらに探ってほしい。

総 評

・自己評価は妥当であると思料する。

付言すれば、この自己評価は事業実施の事実に着目するものであるが、個々の事業が図書館活動にどう活かされ、市民にどのような変化と行動を促したかについて、あと少し言及されれば、さらに建設的な評価となるように思われる。

・総じて充実した運営がなされている。図書館として高い水準でサービスを展開しているうえに、現在および今後の時代・社会に対応した新たな取り組みも進められており、高く評価できる。職員各位の努力によるところが大きいものと推測する。深く敬意を表したい。

図書館に対するニーズはさらに多様化・高度化していくであろう。すべてに図書館（職員）だけで対応していくことには限界がある。「図書館だからこそ」できるところがどこかを見極めながら、関係団体等との連携・協力を確実に進めつつ、利用者（市民）との多方面での協働を拡げていくことと、テクノロジーの活用によって効率・効果の向上をめざしていくことが持続可能な図書館運営のカギとなっていくであろう。全国のモデルとなるような展開を期待したい。

市川市子どもの読書活動推進計画 第二次(令和 5～7 年度) ※一部抜粋

2023年3月
市川市教育委員会

第 1 章 計画の概要

1. 子どもの読書活動の意義

子どもにとっての読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

子どもたちが、読書活動で得た知識や適切な情報等を基にして、直面するさまざまな課題を克服し、人生をより主体的に、より豊かに生きていく力を確実に身につけるために、国や地方公共団体が積極的にそのための環境整備を推進していくことは極めて重要です。

2. 計画の背景

(1) 国

平成 13(2001)年 12 月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、この法律に基づき、平成 14(2002)年 8 月に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(第一次)を策定し、平成 20(2008)年 3 月には第二次基本計画、平成 25(2013)年 5 月には第三次基本計画、平成 30(2018)年 4 月には第四次基本計画を策定し、概ね 5 年間にわたる施策の基本方針と具体的な方策が示されました。

この間、平成 17(2005)年 7 月には、読書活動に関わりの深い「文字・活字文化振興法」が施行され、文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進が図られるとともに、平成 20(2008)年 6 月の国会において、平成 22(2010)年を「国民読書年」とし、読書への国民の気運をさらに高めるため、「政官民が協力し、国をあげて、あらゆる努力を重ねること」が決議されました。

(2) 千葉県

千葉県は、国の推進計画に基づいて、平成 15(2003)年 3 月に「千葉県子どもの読書活動推進計画」の第一次計画を策定し、その後の国の動向や計画の成果と課題を踏まえ、平成 22(2010)年 3 月に第二次計画、平成 27(2015)年 3 月には第三次計画、令和 2(2020)年 2 月には第四次計画を策定しました。

(3) 市川市

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、平成16(2004)年12月に「市川市子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実に努めるとともに、子どもの読書環境の整備を進めてきました。

中央図書館では、子どもが落ち着いて読書を楽しめるよう平成6(1994)年に中央図書館の中に「こどもとしょかん」を独立させ、子どもの読書活動の中心をなす機関として多くの役割を担ってきました。こどもとしょかんは、平成17(2005)年に「子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞しています。

また、平成14(2002)年11月に開始したブックスタート事業「たのしく絵本！はじめの一步」は、子育てに関わる人の負担感を軽減し、子育ての楽しさを感じてもらうこと、また乳幼児には、本を通して保護者のぬくもりを肌と心で感じてもらうとともに本の楽しさを知ってもらうことを目的として、乳幼児の絵本環境の整備や保護者に向けた啓発活動を行っています。

一方、本市の学校図書館では、「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」を目指す学校図書館像として掲げ、「公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業」を平成元(1989)年より実施しています。公共図書館と学校図書館、さらに学校図書館相互を、人・物(図書)・情報の面でつなげるネットワーク体制を構築することにより、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育み、生涯にわたって学び続ける市民の育成を目指しています。平成12(2000)年には、富貴島小学校が「子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞し、以降、鬼高小学校、稲越小学校、塩焼小学校、中国分小学校、福栄小学校、南行徳中学校、第七中学校、菅野小学校、第一中学校が同賞を受賞しています。

令和元(2019)年度策定の「第3期市川市教育振興基本計画」では、「自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育む」ための施策として「読書教育の推進」を掲げ、幼児期からの読書教育の一層の充実に努めています。

3. 計画策定の目的

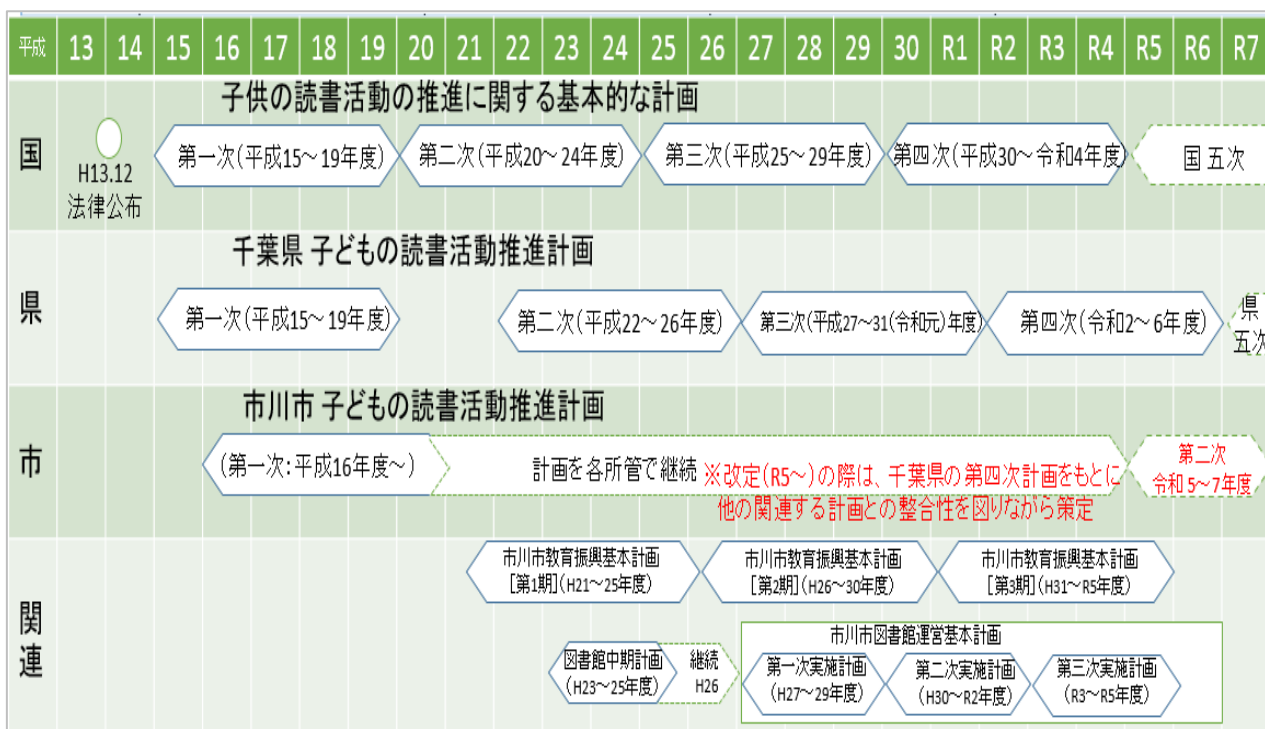
「市川市子どもの読書活動推進計画」策定から約 18 年が経過し、情報通信手段の普及・多様化等子どもを取り巻く状況も変化してきています。本市では、すべての子どもが自主的に読書活動に親しめるよう社会の変化に対応した読書環境を整備し、かつ子どもの読書活動をより一層推進するために、令和 5(2023)年度から「市川市子どもの読書活動推進計画 第二次計画」を策定するものです。

4. 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく、国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次)」及び、「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」を基本とし、本市における子どもの読書活動を推進するための計画です。

「市川市総合計画」をはじめ、「市川市教育振興基本計画」、「市川市図書館運営基本計画」などの本市の教育に関する計画との整合性を図りながら、子どもの読書活動を推進していきます。

(表:子どもの読書活動に関する計画)



5. 計画の対象

本計画の対象は、おおむね18歳以下の子どもとします。また、保護者をはじめ、子どもと子どもの読書活動に関わるすべての大人や地域、学校、行政、関係機関も対象とします。

6. 計画の期間

本計画の期間は、令和 5(2023)年度～令和 7(2025)年度までの 3 年間とします。なお、子どもの読書を取り巻く社会情勢等に変化があった場合、必要に応じて見直しを行います。

7. 計画の策定経過

計画の策定にあたり、市の関係部局において担当者策定作業部会を開催し、意見の集約を行い、素案の作成を行いました。また、社会教育委員会議、パブリックコメント等により専門家や地域住民より様々な意見を聴取し、計画案をとりまとめ、市川市教育委員会の議決により策定されました。

時期	内容
令和 4 年 6 月	「市川市子どもの読書活動推進計画」の改定方針 (定例教育委員会)
令和 4 年 8～9 月	策定作業部会(3 回)により素案作成
令和 4 年 10 月 6 日	「市川市子どもの読書活動推進計画(第二次)」(素案)の中間報告 (定例教育委員会)
令和 4 年 10 月 27 日	素案についての意見聴取 (社会教育委員会議)
令和 4 年 10～12 月	素案についての意見聴取 (子どもの読書に関係する団体等)
令和 4 年 11 月 19 日 ～12 月 20 日	素案についての意見聴取 (パブリックコメント)
令和 5 年 1 月	パブリックコメント実施結果公表
令和 5 年 3 月	計画案について (定例教育委員会)
令和 5 年 4 月	「市川市子どもの読書活動推進計画(第二次)」の施行

第 2 章 基本的な方針

1. 基本的な理念

豊かな心を^{はぐく}育む、本でつながるまち、いちかわ

読書の楽しさを味わい、読書により充実感や満足感を得たという経験が、子どもの意欲の向上、ひいてはウェルビーイング¹につながります。

子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるようになるために、子どもが生活を過ごす家庭・学校・地域等がそれぞれの読書環境を整備するとともに、そこにいる大人が子どもの読書活動への理解を深め、子ども一人ひとりの発達や読書経験に応じた取組を進めることが重要です。

子どもの読書活動の充実と推進を図るために、家庭・地域・学校が手を携え、行政がバックアップし、様々な読書活動を展開していきます。

豊かな心を育む… 子どもは、読書により、多くの知識や情報を身につけ心を成長させていきます。また、心に深く残る読書の経験は心の栄養となり、豊かな情緒や感性を育みます。

本でつながる… 社会全体が連携して、読書への関心を高め、読書を通じた子どもの健やかな成長を願う、そのような環境づくりを進めていくことが肝要です。

2. 基本方針

本市のこれまでの取組と課題等を踏まえつつ、県の第四次計画を参考に、次の 4 つを基本方針として、子どもの読書活動を推進します。

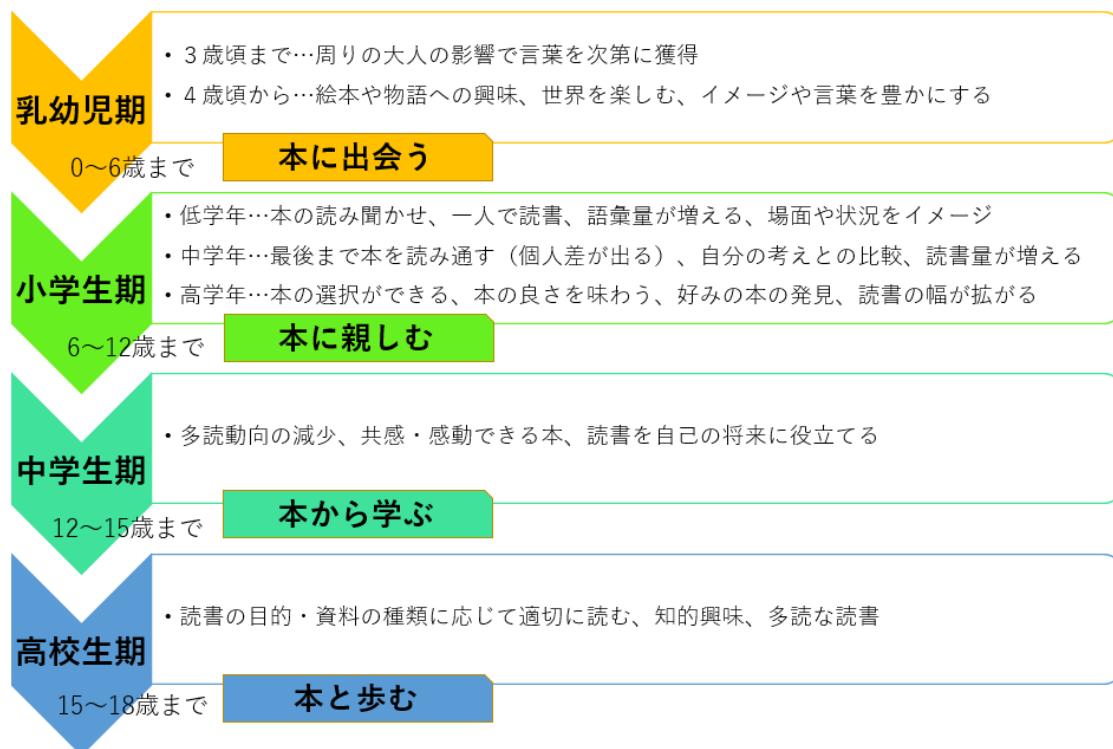
(1) 子どもの読書への関心を高める取組の推進

家庭・地域・学校等²が、それぞれの役割を自覚し、社会全体で子どもの読書への関心を高める取組を実施し、本に親しむ習慣の定着を図ることで子どもの読書活動を支援していきます

¹ ウェルビーイング(Well-being)・・・心身と社会的な健康を意味する概念。満足した生活を送ることができる状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを意味する

² 学校等・・・幼稚園・保育園・認定こども園を含む

す。このため、子どもの発達段階に応じて、本とつながるきっかけを積極的につくることを推進します。



読書をしていない高校生の中には、中学校までに読書習慣が形成されていない実態も見受けられることから、生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動が行われることが重要です。

(2) 読書環境の整備

子どもが、好きな本を手にとったり、必要な資料を調べたりすることのできる、望ましい読書環境づくりを推進します。いつでも、どこでも、すべての子どもたちが本に親しむことができるようになるためには、市全体において、家庭・地域・学校等、それぞれが子どもの読書環境を整備します。

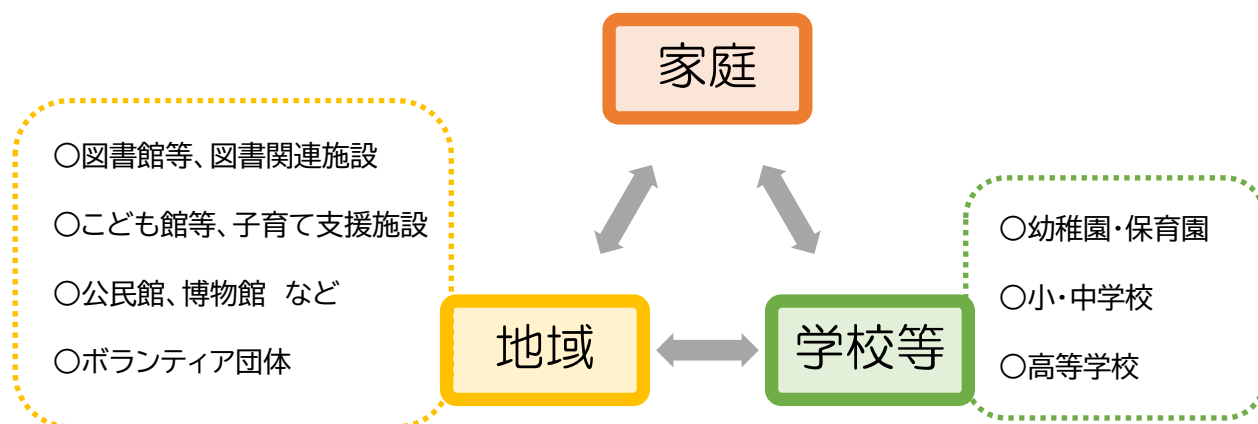
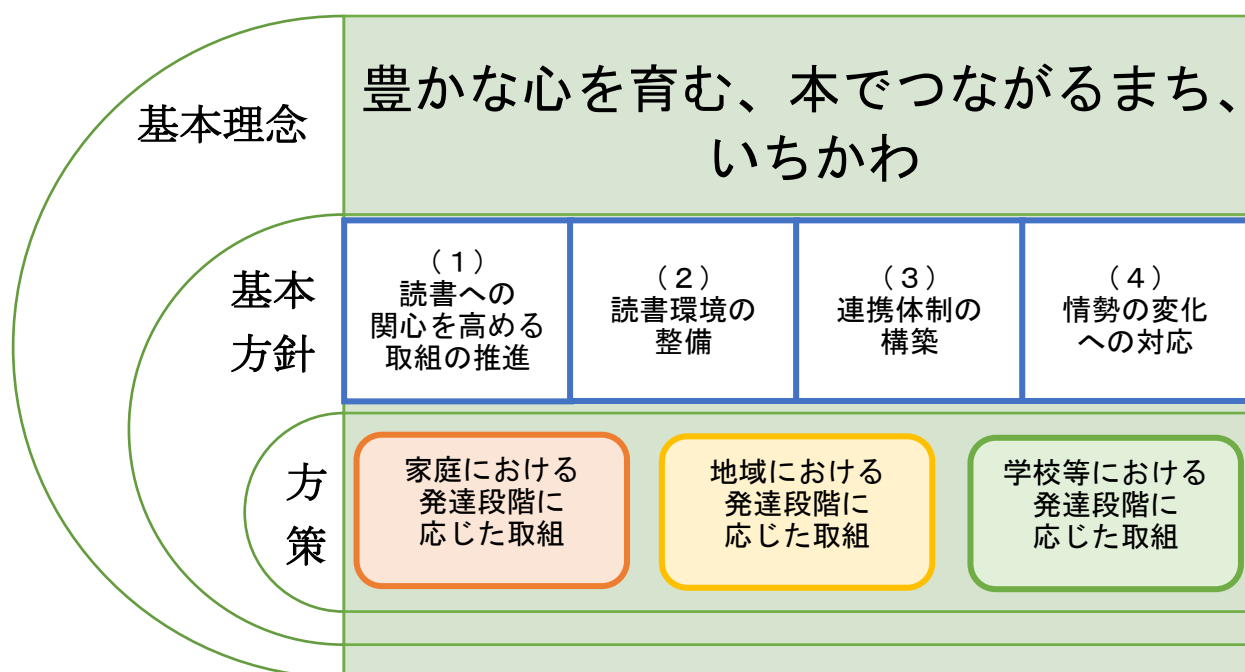
(3) 連携体制の構築

家庭・地域・学校等、それぞれが連携を図り、子どもが読書に親しむ機会を充実できるように努めます。また、「子どもの読書活動推進センター」としての役割を、中央図書館、教育センター、中央こども館が集約された複合施設である生涯学習センターが果たします。

(4) 情勢変化への対応

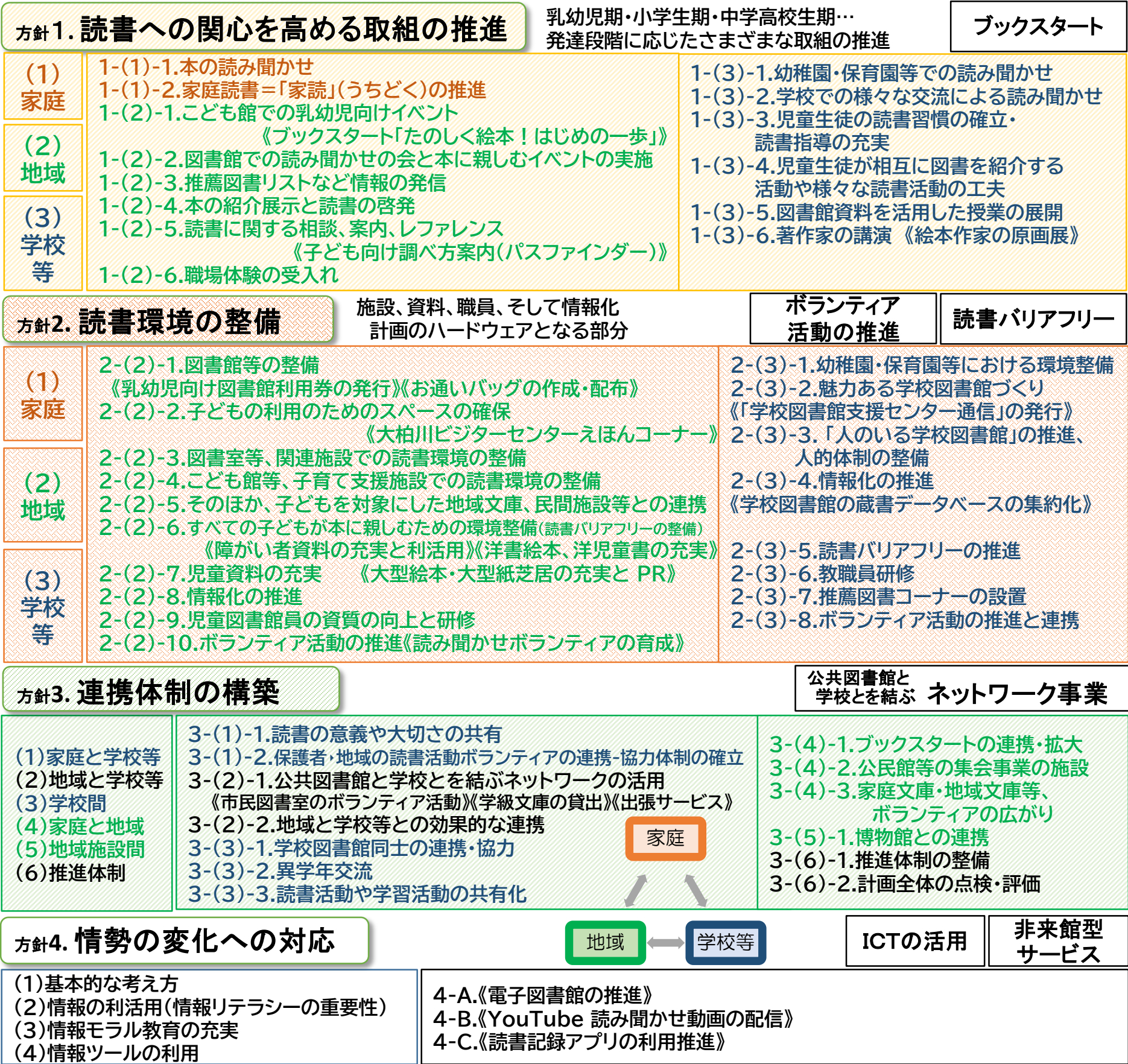
情報通信手段の普及・多様化により、子どもの読書活動にも影響が表れています。児童生徒のスマートフォンの利用率が年々増加傾向にあることや SNS 等、情報通信手段の多様化が進んでいる実態を踏まえて、これからの読書活動推進の手立てを講じていく必要があります。

このため、情報リテラシーの重要性及び情報モラル教育の充実に立脚したうえで、情報社会において普及しているツールを利用し、非来館サービス、読書バリアフリーに配慮した取組をも実施していきます。



資料3 施策体系図(第二次 市川市子どもの読書活動推進計画:令和5年度～7年度)

基本理念
豊かな心を育む、本でつながるまち、いちかわ



1. 実施について
(1) 調査の目的

eモニター制度を利用して、今後の図書館サービスの参考とするために、図書館でロボットや人工知能などを使った未来型サービスの導入の是非、エリア分けの利用希望や、電子書籍について設問を設けた。

市川市eモニター制度(愛称:eモニ)・・・パソコンやスマホ、携帯電話等、インターネットを活用して意見を広く集めて市政に反映する、事前登録制のアンケート制度。

(2) 調査実施期間: 令和6年2月9日(金)～令和6年2月22日(木)

(3) 集計・分析にあたって 有効回答数 1,463名 但し、一部の設問により有効効回答数は異なる

【案内ロボットについて】

○図書館に来館し、本棚まで案内してくれるロボットを利用したいかについては、ぜひ利用したい方とやや利用したい方を合計すると74%と大部分の方が利用を望んでおり、また、簡易な問合せに対話型人工知能サービスを使いたいかについては、ぜひ利用したい方とやや利用したい方を合計すると69%の方が利用を望んでいる。以上のことから、案内や受付業務の自動化への理解があると思われ、来館者も窓口の職員に問い合わせる心理的負担の軽減を望んでいるとも考えられる。

○図書館で自由に飲食ができるエリアの利用については、ぜひ利用したい方とやや利用したい方を合計すると65%の方が利用を望んでおり、また、図書館で音楽が流れ、自由に会話ができるエリアについては、10%の方が利用を希望し、状況により利用したい方は55%となり、合計で65%の方が利用したいと回答している。その理由については、音楽が流れた方がリラックスできるからが最も多く59%となり、次いで、気軽に会話したいが51%を占めている。

○紙と電子書籍のどちらを利用したいかについては、紙の利用が68%とほぼ7割近くを占めているが、eモニのように、ほぼパソコンやスマホを使うスキルを持つ母集団といったネット調査の偏りを踏まえ、普段パソコンやスマホの利用に慣れていない高齢者の来館者を含めると、実際にはさらに多くの方が紙の書籍を希望されていると考えられる。利用したい理由については、84%の方が紙の本の方が読みやすいことをあげており、次いで43%の方が図書館の本棚の中から気に入った本を探したいことを理由とした、電子書籍にはない魅力を感じていることが分かる。反面、紙よりも電子書籍を希望される方も32%いることから、電子書籍にも一定の需要があることが伺える。電子書籍を利用したい理由について、最も高かったのが来館しなくてもよいことが78%を占めており、次いで、貸出や返却の手間いらずの方が70%いることから、多くの方が非来館及び非接触方サービスの有意義な面を理解していることがわかる。

アンケート結果

基本情報

年代について

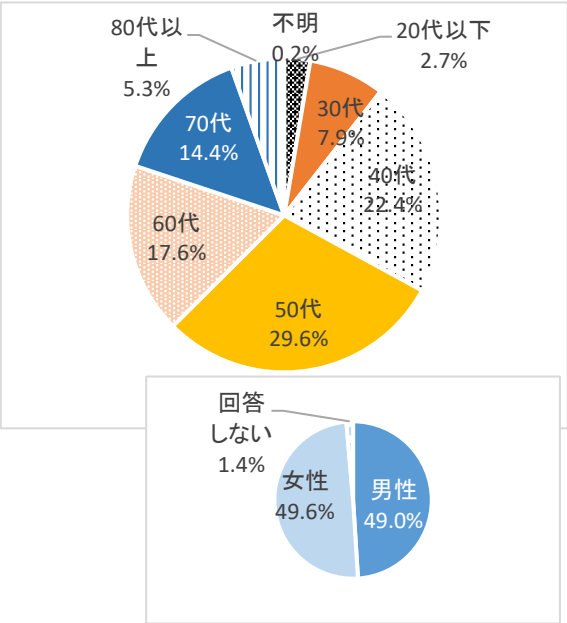
選択項目	選択項目	回答者数
20代以下	39	2.7%
30代	115	7.9%
40代	328	22.4%
50代	433	29.6%
60代	257	17.6%
70代	211	14.4%
80代以上	77	5.3%
不明	3	0.2%

有効回答者数1463100%

性別について

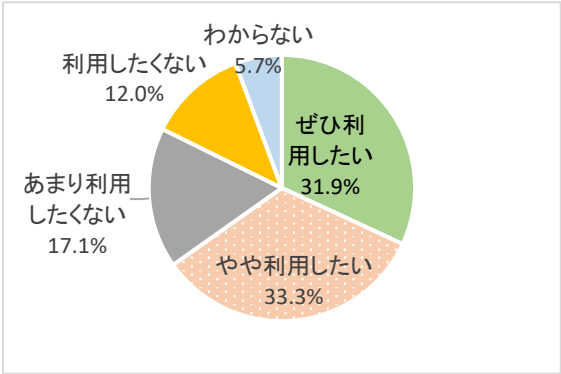
選択項目	回答者数	割合
男性	717	49.0%
女性	726	49.6%
回答しない	20	1.4%

有効回答者数1463100%



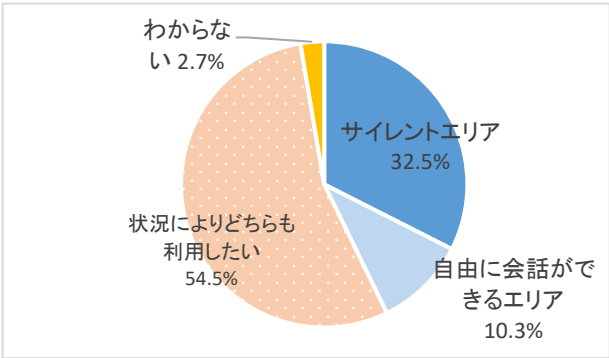
問1: 図書館に持ち込みで自由に飲食ができるエリアを設けた場合、利用したいですか？

選択項目	回答者数	割合
ぜひ利用したい	467	31.9%
やや利用したい	487	33.3%
あまり利用したくない	250	17.1%
利用したくない	176	12.0%
わからない	83	5.7%
有効回答者数		1463
		100.0%



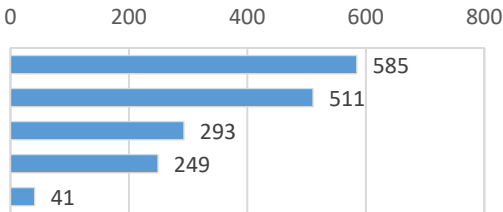
問2: 図書館で会話などをしてはいけないサイレントエリアと、音楽が流れ、自由に会話ができるエリアがある場合、どちらを主に利用しますか？

選択項目	回答者数	割合
サイレントエリア	475	32.5%
自由に会話ができるエリア	151	10.3%
状況によりどちらも利用したい	798	54.5%
わからない	39	2.7%
有効回答者数		1463
		100.0%



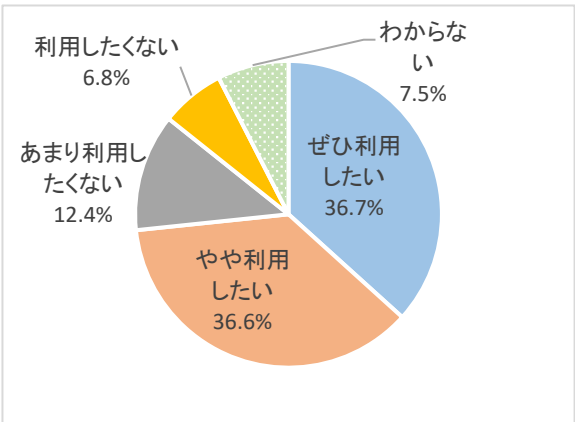
問3: 前問で「自由に会話ができるエリア」、または「状況によりどちらも利用したい」を選んだ方にお尋ねします。選んだ理由について、あてはまるものを選択してください。(複数回答可)

選択項目	回答者数	割合
音楽が流れているほうがリラックスできるから	585	58.7%
家族や友達などと会話がしたいから	511	51.3%
周りに気を遣わずに本のページをめくりたいから	293	29.4%
パソコンのキーボードや電卓を周りに気を遣わずに打鍵したいから	249	25.0%
上記にあてはまるものはない	41	4.1%
有効回答者数		996



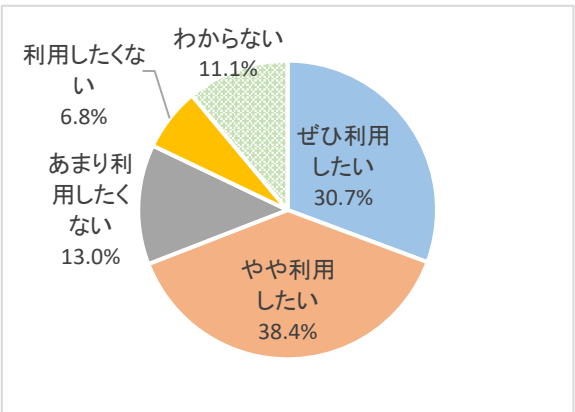
問4: 図書館で本の場所が分からない時に、案内ロボットが本棚まで案内してくれるとしたら、利用したいですか？

選択項目	回答者数	割合
ぜひ利用したい	537	36.7%
やや利用したい	536	36.6%
あまり利用したくない	181	12.4%
利用したくない	99	6.8%
わからない	110	7.5%
有効回答者数		1463
		100.0%



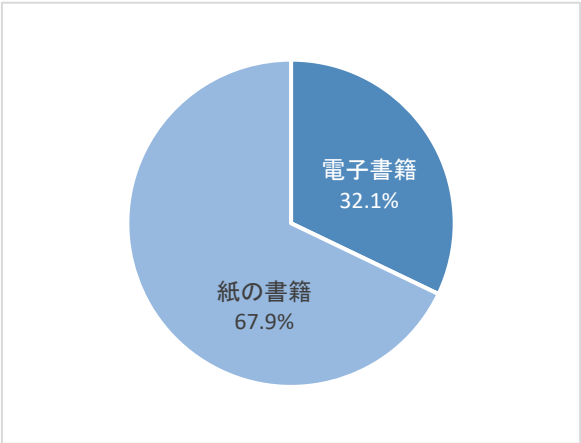
問5: 図書館で開館日を知りたいなど簡易なお問い合わせに、対話型人工知能サービス(ChatGPT等)を使うことができた場合、利用したいですか？

選択項目	回答者数	割合
ぜひ利用したい	449	30.7%
やや利用したい	562	38.4%
あまり利用したくない	190	13.0%
利用したくない	100	6.8%
わからない	162	11.1%
有効回答者数		1463
		100.0%



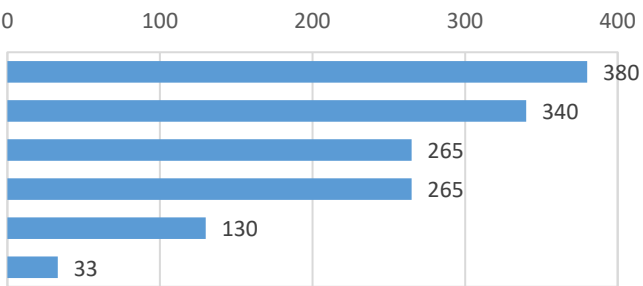
問7: 電子書籍と紙の書籍について、お尋ねします。
図書館の本を読む時、電子書籍と紙の書籍が提供されるとしたら、どちらを選択しますか？
市川駅南口図書館では電子書籍を利用できます。参考として市川駅南口電子図書館Webサイトをご覧ください。

選択項目	回答者数	割合
電子書籍	470	32.1%
紙の書籍	993	67.9%
有効回答者数		1463
		100.0%



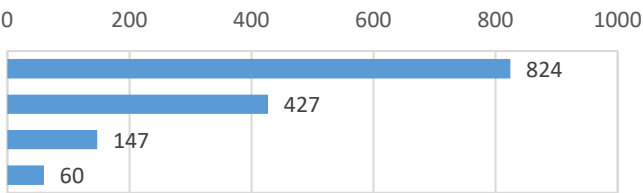
問8: 前問で「電子書籍」を利用したいと回答した方に、お尋ねします。
利用したい理由を、次の選択肢から選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答者数	割合
図書館に行かなくとも本が選べるから	380	77.9%
貸し出しや、返却する手間が省けるから	340	54.3%
どこでも本を読めるから	265	54.3%
本を持ち運ぶ必要がないから	265	26.6%
文字を拡大できて読みやすいから	130	26.6%
その他(50字以内)	33	6.8%
有効回答者数		488



問9: [前問で「紙の書籍」を利用したいと回答した方に、お尋ねします。]
利用したい理由を、次の選択肢から選んでください。(複数回答可)

選択項目	回答者数	割合
紙の本が読みやすいから	824	83.7%
図書館で本棚の中から気に入った本を探したいから	427	43.4%
電子機器の使い方に慣れていないから	147	14.9%
その他(50字以内)	60	6.1%
有効回答者数		985



15. アンケート・市民要望（2）

令和 5 年度市川市立図書館来館者アンケート報告書

令和 6 年 3 月 28 日
市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4 館)における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査（「図書館の利用に関するアンケート」）を実施した。

- (2) 調査概要 実施日：中央図書館 令和 6 年 2 月 16 日(金)～3 月 2 日(土) (13 開館日)
中央図書館以外 令和 6 年 2 月 16 日(金)～2 月 22 日(木) (6 開館日)

実施時間：各館開館時間中

実施場所：中央図書館（こどもとしょかんを含む）
地域図書館（行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室）

対象者：上記施設の利用者で、原則として中学生以上の者

(3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	目標数	配布数	回収数	回収率 (%)	総合的 満足度 (%)
中央図書館(紙)	2/16(金)～3/2(土)	400	221	188	85.1	97.9
中央図書館(Web)				245		
行徳図書館	2/16(金)～2/22(木)	170	220	218	99.1	93.7
信篤図書館		50	79	70	88.6	94.3
南行徳図書館		50	89	89	100	97.7
平田図書室		50	75	70	93.3	95.7
合 計		720	684	880	92.8	96.4
※参考：駅南口図書館	1/23（水）～1/28（金）	200	370	341	92.2	97.6

(4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

アンケート結果概説

図書館を利用しての満足度を設問 2 と 4 で尋ねた。「総合的な満足度」は中央図書館 97.9%、行徳図書館 93.7%、信篤図書館 94.3%、南行徳図書館 97.7%、平田図書室 95.7%、全体としては 96.4%と高い結果となった。（※参考：駅南口図書館 97.6）

項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の応対」で、この項目については、すべての館で 95%を超える高評価を得ることができた。また、中央・行徳で導入している「窓口のセルフ化」も 95%以上となっている。今後も必要な対策を取りながら、新技術の導入や職員のスキルを高めることで、図書館サービスの向上に努めていきたい。

これらに比べると、すべての館において「開館時間・開館日数」や「本の充実について(全般)」が比較的満足度が低くなっている。今後も、多様な市民のニーズに対応できるよう、計画的に資料の更新を図りながら、図書館サービスの拡充に努めたい。

なお、今年度は、中央図書館では回答ツールを増やし、スマートフォンでの回答も受け付けたところ、昨年度は回答年齢層の割合が最下位だった 10 代が 1.7%から、最上位の 17.0%まで増加し、20 代が 3.7%から 10.4%まで増加したので、例年、回答を得られにくい年齢層から、回答を得ることができた。

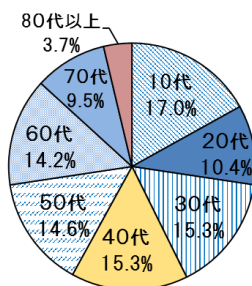
新設の「自宅で使いたいサービス」では、すべての館で「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」が最多となり、すべての館で 40%を超えたので、利用者の期待が大きいことが伺える。非来館者型のサービスの拡充については、今後のシステム更新時等で検討していきたい。

中央図書館 アンケート結果

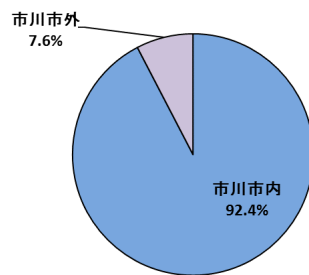
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、10代が15.3%と最も多く、続いて30代と40代が15.3%となっている。昨年よりも少なかった10代の回答者が15.3ポイント上がっているが、その回答者数73人の内、68人が今年度より新たに設けたスマートフォンでの回答を選択している。20代についても、同様に昨年より6.7ポイント上がり、回答者数45人の内、40人がスマートフォンでの回答を選択していることから、回答するツールを増やしたことにより、若年層の回答者割合に顕著に変化が表れた。居住地別では、全施設の中で市外の回答者の割合が最も高い。職業別では、会社員・公務員が35.5%、次いで学生が21.4%、無職が16.9%となった。

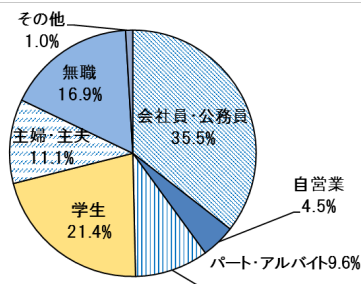
年齢



居住地



職業



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
回答者数	73	45	66	66	63	61	41	16	431
	17.0%	10.4%	15.3%	15.3%	14.6%	14.2%	9.5%	3.7%	100%

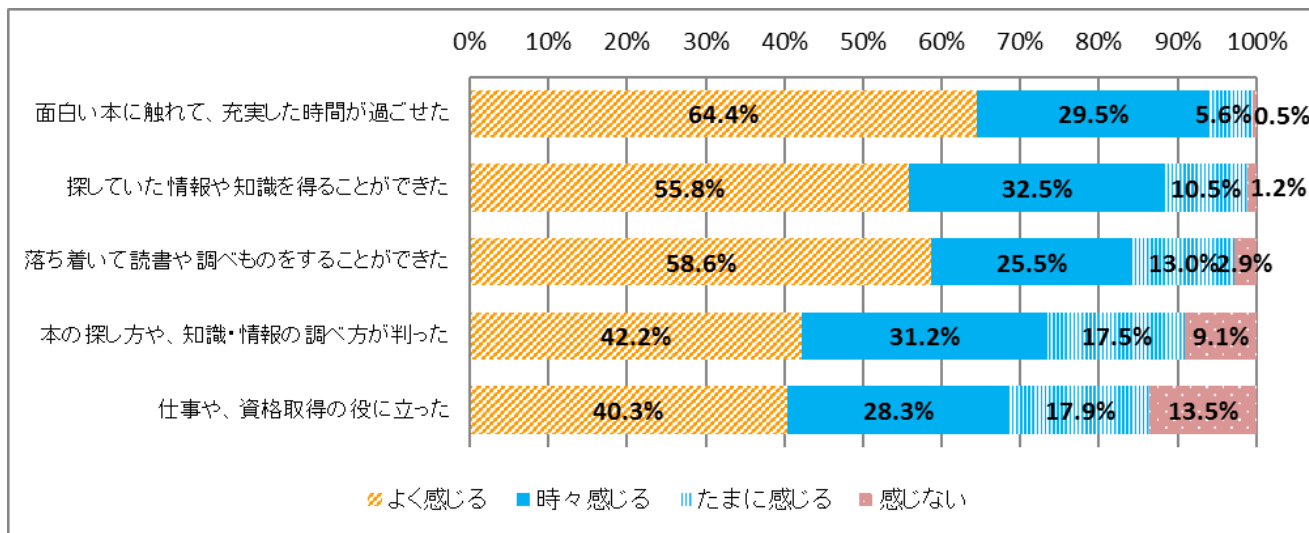
	市川市内	市川市外	計
回答者数	387	32	419
	92.4%	7.6%	100%

	会社員・公務員	自営業	パート・アルバイト	学生	主婦・主夫	無職	その他	計
回答者数	151	19	41	91	47	72	4	425
	35.5%	4.5%	9.6%	21.4%	11.1%	16.9%	1.0%	100%

その他：劇団員、医師等

問 1. 図書館を利用した成果

回答者のほぼ全員が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じている。続いて98.8%が「探していた情報や知識を得ることができた」、97.1%が「落ち着いて読書や調べものをするのができた」と、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った」と感じた人も90.9%となり、いずれも高い数値となっている。今後も、図書館を活用して読書や調べものに役立ててもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる		時々感じる		たまに感じる		感じない		計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	275	64.4%	126	29.5%	24	5.6%	2	0%	427
探していた情報や知識を得ることができた	239	55.8%	139	32.5%	45	10.5%	5	1.2%	428
落ち着いて読書や調べものをするのができた	246	58.6%	107	25.5%	55	13.0%	12	2.9%	420
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	176	42.2%	130	31.2%	73	17.5%	38	9.1%	417
仕事や、資格取得の役に立った	164	40.3%	115	28.3%	73	17.9%	55	13.5%	407

問 2・4. 中央図書館の満足度

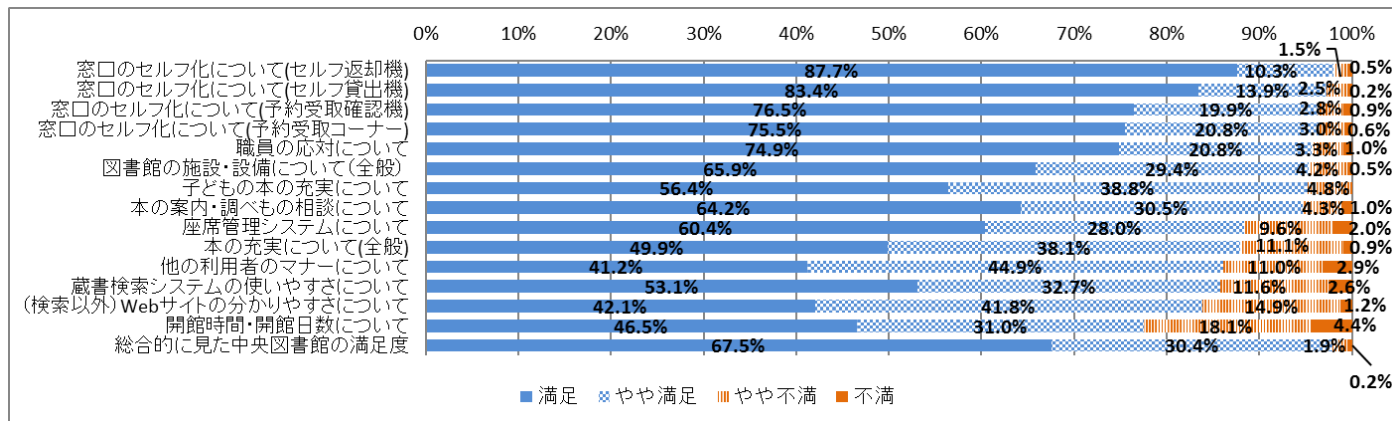
問 2 と問 4 では、中央図書館の満足度を尋ねた。

‘満足’と‘やや満足’を合わせた満足度は「窓口のセルフ化」が上位の 4 つを占め、全てにおいて 96%を超える高い数値となった。10 代、20 代、30 代だけ見ると、「セルフ返却機」に‘不満’と‘やや不満’は 2 名、「セルフ貸出機」に‘やや不満’は 1 名、「予約受取確認機」と「予約受取コーナー」に‘やや不満’は各 2 名となり、それ以外はすべて‘満足’と‘やや満足’であるので、若年層が「窓口のセルフ化」の満足度がより高い傾向が認められた。

次いで「職員の応対について」も 95.7%と高い数値が示され、昨年よりも、0.3 ポイント上がった。また、「蔵書検索システムの使いやすさ」は、昨年より 2.4 ポイント上がった 85.8%となり、「(検索以外) Web サイトの分かりやすさについて」の満足度は 83.9%で、昨年よりも 6.8 ポイント上がった。今後も新しいサービスの PR に努めるとともに、改善を重ねていきたい。

「図書館の施設・設備について(全般)」は 95.3%と昨年とほぼ変わらず、「本の充実について(全般)」は 88%と昨年よりも 2.5 ポイント上昇したが、「開館時間・開館日数」については 77.5%となり、昨年と同じく最も満足度が低くなっており、また値も昨年より 0.3 ポイント下がった。利用者が要望する具体的な事項(複数回答可)として、「土日の閉館を遅く」が最も多く、34.2%となり、昨年よりも 18.9 ポイント上がった。

総合的な満足度は、昨年より 1.6 ポイント上がって 97.9%であった。昨年よりも、「開館時間・開館日数」を除いたすべての項目でポイントが上がる結果となっているが、高齢者層は、システムやセルフ化については、満足度が比較的低い傾向があり、課題があることがわかった。高齢者層にも分かりやすいサービスの拡大に努めたい。



	満足		やや満足		やや不満		不満		計
窓口のセルフ化について(セルフ返却機)	348	87.7%	41	10.3%	6	1.5%	2	0.5%	397
窓口のセルフ化について(セルフ貸出機)	337	83.4%	56	13.9%	10	2.5%	1	0.2%	404
窓口のセルフ化について(予約受取確認機)	250	76.5%	65	19.9%	9	2.8%	3	0.9%	327
窓口のセルフ化について(予約受取コーナー)	250	75.5%	69	20.8%	10	3.0%	2	0.6%	331
職員の応対について	313	74.9%	87	20.8%	14	3.3%	4	1.0%	418
図書館の施設・設備について(全般)	253	65.9%	113	29.4%	16	4.2%	2	0.5%	384
子どもの本の充実について	212	56.4%	146	38.8%	18	4.8%	0	0.0%	376
本の案内・調べもの相談について	179	64.2%	85	30.5%	12	4.3%	3	1.0%	279
座席管理システムについて	151	60.4%	70	28.0%	24	9.6%	5	2.0%	250
本の充実について(全般)	211	49.9%	161	38.1%	47	11.1%	4	0.9%	423
他の利用者のマナーについて	169	41.2%	184	44.9%	45	11.0%	12	2.9%	410
蔵書検索システムの使いやすさについて	187	53.1%	115	32.7%	41	11.6%	9	2.6%	352
(検索以外) Web サイトの分かりやすさについて	138	42.1%	137	41.8%	49	14.9%	4	1.2%	328
開館時間・開館日数について	180	46.5%	120	31.0%	70	18.1%	17	4.4%	387
総合的に見た中央図書館の満足度	287	67.5%	129	30.4%	8	1.9%	1	0.2%	425

開館時間・開館日数についてのご要望 (回答者数 433 人。複数回答可)

	選択数	割合	アンケート回答数
土日の閉館を遅く	148	34.2%	433
朝の開館を早く	110	25.4%	
月曜開館	99	22.9%	
月末に休館しない	94	21.7%	
平日の閉館を遅く	92	21.2%	

問 3. 自宅で使いたいサービス（回答者数 433 人。複数回答可）

もっとも多く希望のあったサービスが「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」で 40.4%となった。現状では、未所蔵本は来館した上でリクエストカードに記入してもらう必要があるため、多くの利用者がこの手間をなくしたいと考えていることがわかる。次いで「スマホや PC で、利用日の前日から閲覧席をオンライン予約したい」が 27.3%となっていた。今回のアンケートで、座席管理システムを利用したことがないと回答した人は 171 人だったため、それ以外の人が利用したことがあるとした場合、実際には 45.1%の利用者が前日から自宅で座席を予約したいと考えていることがわかった。来年度以降のシステム更新にあわせ、利用者の期待に応える機能を持つシステムの導入を検討したい。

	選択数	割合	アンケート回答数
市川市の図書館にない本をオンライン予約したい	175	40.4%	433
スマホやPCで、利用日の前日から閲覧席をオンライン予約したい	118	27.3%	
電子書籍貸出サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい	90	20.8%	
図書館利用券の登録や更新を、免許証や保険証などの証明書を電子添付して、自宅からオンライン申請したい	78	18.0%	
スマホやPCで、人工知能によるおススメ本をオンライン予約したい	66	15.2%	
資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい(市内1梱包:500 円)	15	3.5%	

問 5. 自由記入

調査票 433 記入者 177 未記入 257 （記入率 40.9%） ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

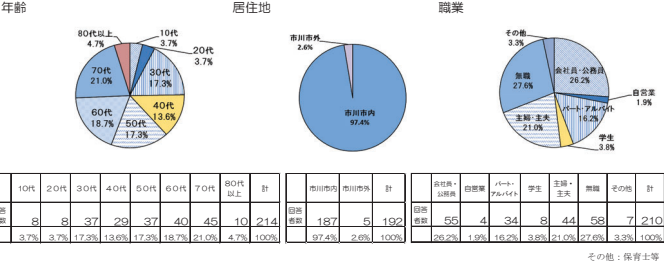
- （１）資料に関する記入 （２）ＡＶ資料に関する記入 （３）施設に関する記入
（４）座席に関する記入 （５）ＩＴに関する記入 （６）マナーに関する記入
（７）職員に関する記入 （８）運営に関する記入 （９）感想 （１０）その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	47	新刊本や予約の多い絵本等人気のある資料を増やしてほしい、シリーズ中抜け巻の補充希望、リクエストに関する要望などが多い。また書架に余裕がないことへの意見もあった。
2	ＡＶ資料に関する記入	4	CD 充実の要望など。
3	施設に関する記入	24	トイレの設備や換気、館内の Wi-Fi についての要望が多い。
4	座席に関する記入	11	一部座席の椅子についての要望や、座席使用のルールに関する意見が多い。
5	ＩＴに関する記入	20	非常に便利であるという意見が多いが、より便利になるための機能追加についての要望もあった。WEBでの未所蔵資料リクエストについての要望もある。
6	マナーに関する記入	8	寝ている利用者や携帯の利用方法、独り言の音量に関する要望が多い。
7	職員に関する記入	16	親切に対応してくれるという意見がある一方、不適切な対応・冷たい対応をされたなどの意見もあった。
8	運営に関する記入	19	今より開館時間を早くしてほしい、開館日を増やしてほしいという要望が多い。他に落とし物管理のデジタル化の要望など。
9	感想	37	いつも調べ物で利用している、大好きな場所であるなど、好意的な意見が多い。
10	その他の記入	31	新しいサービスの提案や、レファレンスカウンターの利用方法などの質問があった。

行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

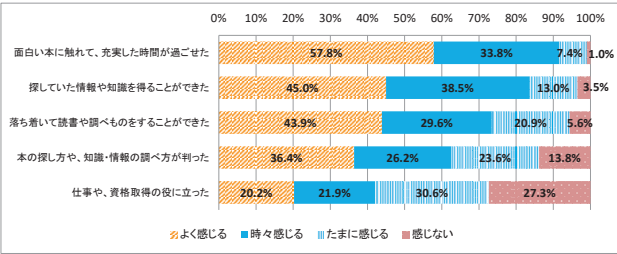
回答者の年齢別では、70代が21.0%と最も多く、続いて60代が18.7%、30代と50代が17.3%の順となっている。居住地別では回答者の97.4%が市内在住者であり、職業別では無職が最も多く27.6%で、次いで会社員・公務員が26.2%、主婦・主夫が21.0%の順となった。



問1. 図書館を利用した成果

99.0%が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」、96.5%が「探していた情報や知識を得ることができた」と図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「落ち着いた読書や調べものをする」ことができた」と感じている人の割合が前回より4.4ポイント上がっており、本アンケート問2の満足度にもおおよね対応した結果となっている。今後も、図書館を活用し読書や調べものに役立ててもらえるよう、さらなるサービスの向上に努めたい。

	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	118	57.8%	69	33.8%	15	7.4%	2	1.0%	204
探していた情報や知識を得ることができた	90	45.0%	77	38.5%	26	13.0%	7	3.5%	200
落ち着いた読書や調べものをする事ができた	86	43.9%	58	29.8%	41	20.9%	11	5.6%	196
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	71	36.4%	51	26.2%	46	23.6%	27	13.8%	195
仕事や、資格取得の役に立った	37	20.2%	40	21.9%	56	30.6%	50	27.3%	183



問3 自宅で使いたいサービス（回答者数218人。複数回答可）

半数近くの48.6%が「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」であり、次に19.3%が「電子書籍サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい」、さらに15.6%「スマホやPCで、人工知能によるおススメ本をオンライン予約したい」と続いている。これらのことにより、非来館型のサービスを求める声が多いと言える。これだけが、図書館に求められるものとは思えないが、今後の図書館サービスを考えるうえでの参考には値するといえよう。

	選択数	割合	アンケート回答数
市川市の図書館にない本をオンライン予約したい	106	48.6%	218
電子書籍サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい	42	19.3%	
図書館利用者の登録や更新、免許証や保険証などの証明書を電子で提出して、自宅でオンライン申請したい	37	17.0%	
スマホやPCで、人工知能によるおススメ本をオンライン予約したい	34	15.6%	
資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい(市内1編成:500円)	26	11.9%	
	5	2.3%	

問5. 自由記入

調査票218 記入者99 未記入119 (記入率45.4%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

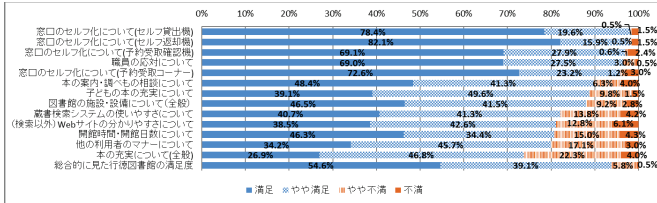
(1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I Tに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	21	蔵書をさらに充実してほしい、古い本が多いので新しい本に入れ替えてほしいとの要望が多い。
2 A V資料に関する記入	5	C Dの新規購入に関する要望が多い。
3 施設に関する記入	12	カラオケの設置、より一層の広いスペースを求める意見があった。
4 座席に関する記入	2	館内閲覧席の増、PC ルームの改善を求める意見があった。
5 I Tに関する記入	19	さらに利用しやすい予約システムに改善する要望が多い。
6 マナーに関する記入	8	マナー違反の利用者に対し注意を求める意見が多い。
7 職員に関する記入	6	親切丁寧な利用者対応であるとの意見が多い。態度に問題があるという意見もあった。
8 運営に関する記入	13	開館日数の増加、開館時間の延長等を希望する意見が多い。都内の図書館との比較の意見もあった。
9 感想	17	展示の本に対する感想や子どものフロアを褒めている意見があった。
10 その他の記入	12	図書館に対するお礼など。

問2・4. 行徳図書館の満足度

問2と問4では、行徳図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「窓口のセルフ化について(セルフ貸出機)」「窓口のセルフ化について(セルフ返却機)」がそれぞれ98.0%で「窓口のセルフ化について(予約受取確認機)」が97.0%「窓口のセルフ化について(予約受取コーナー)」が95.8%と非常に高い満足度につながっている。さらに「職員の応対について」も96.5%であり、行徳図書館の窓口のセルフ化については利用者の理解を得ていると言える。これに対して「蔵書検索システムの使いやすさについて」「Web サイトの分かりやすさについて」などのシステム・ITに関連するものの満足度は8割程度であり、本アンケート最後の自由記入欄においてもシステムの改善要望は散見されている。
総合的な満足度は93.7%で昨年とほぼ変わらない。今後も、より魅力ある本の収集と施設運営、そしてサービス向上に努めていきたい。

	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
窓口のセルフ化について(セルフ貸出機)	160	78.4%	40	19.6%	1	0.5%	3	1.5%	204
窓口のセルフ化について(セルフ返却機)	165	82.1%	32	15.9%	1	0.5%	3	1.5%	201
窓口のセルフ化について(予約受取確認機)	114	69.1%	46	27.9%	1	0.6%	4	2.4%	165
職員の応対について	138	69.0%	55	27.5%	6	3.0%	1	0.5%	200
窓口のセルフ化について(予約受取コーナー)	122	72.6%	39	23.2%	2	1.2%	5	3.0%	168
本の案内・調べもの相談について	61	48.4%	52	41.3%	8	6.3%	5	4.0%	126
子どもの本の充実について	52	39.1%	66	49.6%	13	9.8%	2	1.5%	133
図書館の施設・設備について(全般)	66	46.5%	59	41.5%	13	9.2%	4	2.8%	142
蔵書検索システムの使いやすさについて	68	40.7%	69	41.3%	23	13.8%	7	4.2%	167
(後援以外)Webサイトの分かりやすさについて	57	38.5%	63	42.6%	19	12.8%	9	6.1%	148
開館時間・開館日数について	74	46.3%	55	34.4%	24	15.0%	7	4.3%	160
他の利用者のマナーについて	68	34.2%	91	45.7%	34	17.1%	6	3.0%	199
本の充実について(全般)	54	26.9%	94	46.8%	45	22.3%	8	4.0%	201
総合的に見た行徳図書館の満足度	113	54.6%	81	39.1%	12	5.8%	1	0.5%	207



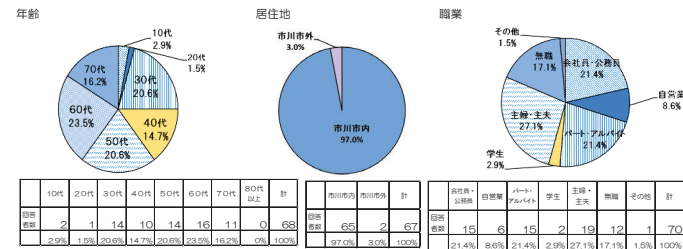
開館時間・開館日数についてのご要望 (回答者数218人。複数回答可)

	選択数	割合	アンケート回答数
土日の閉館を遅く	45	20.6%	218
朝の開館を早く	42	19.3%	
平日の開館を遅く	29	13.3%	
月末に休館しない	29	13.3%	
月曜閉館	28	12.8%	

信篤図書館 アンケート結果

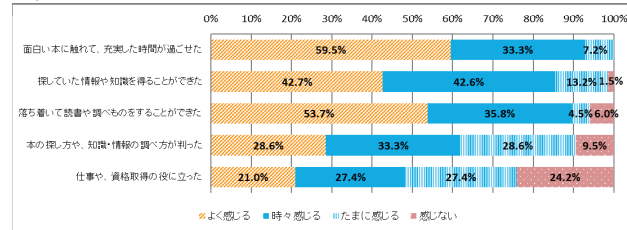
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、60代が23.5%と最も多く、次に30代、50代が合わせて20.6%で昨年と比べ中間層の年代も多いことが今年の特徴である。居住地別では、市内在住者が97%で、市外在住者は他市と隣接している地域性であるが、3%と昨年より低かった。職業別では、主婦・主夫が27.1%と最も多く、次いで会社員・公務員及びパート・アルバイトが共に21.4%で昨年よりも高かった。



問1. 図書館を利用した成果

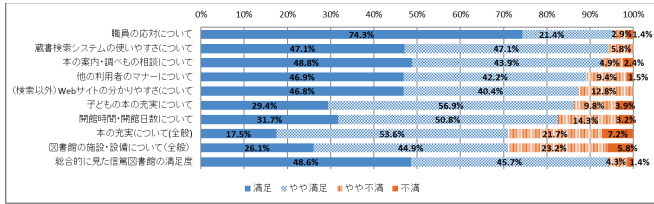
「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と回答した方の中では、100%の方が感じたことがあると回答している。また、「探していた情報や知識を得ることができた」と感じる人も98.5%で前回と同じであった。一方、仕事や資格取得の役に立った」では、75.8%と低く、高齢者の年代が多く利用しているからと考えられる。引き続き、図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	41	59.5%	23	33.3%	5	7.2%	0	0%	69
探していた情報や知識を得ることができた	29	42.7%	29	42.6%	9	13.2%	1	1.5%	68
落ち着いた読書や調べものをすることができた	36	53.7%	24	35.8%	3	4.5%	4	6.0%	67
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	18	28.6%	21	33.3%	18	28.6%	6	9.5%	63
仕事や、資格取得の役に立った	13	21.0%	17	27.4%	17	27.4%	15	24.2%	62

問2・4. 信濃図書館の満足度

問2と問4では信篤図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が95.7%となり、「蔵書検索システムの使いやすさについて」、「本の案内・調べもの相談について」が約9割以上高い傾向となっている。一方、「図書館の施設・設備（全般）」については、71%と1.8ポイント下がった。また、「本の充実（全般）」の満足度は、71.1%と他の項目に比べて低くなっているものの、昨年度より約5ポイント上がった。
総合的な満足度は94.3%で3.8ポイント減となった。施設の老朽化はやむを得ないが、「職員の対応について」が2.8ポイント下がっていることから、今後はより一層の懇切丁寧な対応とサービスの向上に努めていきたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
職員の対応について	52	74.3%	15	21.4%	2	2.9%	1	1.4%	70
蔵書検索システムの使いやすさについて	24	47.1%	24	47.1%	3	5.8%	0	0%	51
本の案内・調べもの相談について	20	46.8%	18	43.9%	2	4.9%	1	2.4%	41
他の利用者のマナーについて	30	46.9%	27	42.2%	6	9.4%	1	1.5%	64
(検索以外) Webサイトの分かりやすさについて	22	46.8%	19	40.4%	6	12.8%	0	0%	47
子どもの本の充実について	15	29.4%	29	56.9%	5	9.8%	2	3.9%	51
開館時間・開館日数について	20	31.7%	32	50.8%	9	14.3%	2	3.2%	63
本の充実について(全般)	12	17.5%	37	53.6%	15	21.7%	5	7.2%	69
図書館の施設・設備について(全般)	18	26.1%	31	44.9%	16	23.2%	4	5.8%	69
総合的に見た信篤図書館の満足度	34	48.6%	32	45.7%	3	4.3%	1	1.4%	70

開館時間・開館日数についてのご要望 (回答者数 70 人。複数回答可)

	選択数	割合	アンケート回答数
月曜閉館	13	18.6%	70
月末に休館しない	10	14.3%	
平日の開館を遅く	9	12.9%	
朝の開館を見る	8	11.4%	
土日の開館を遅く	4	5.7%	

問3 自宅で使いたいサービス (回答者数 70 人。複数回答可)

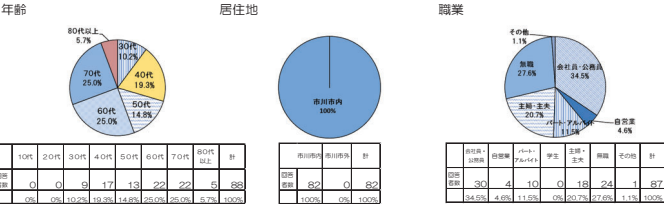
「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」が44.3%で最も高く、次いで「スマホやPCで、人口知能によるオススメ本を音オンライン予約したい」が24.3%であった。一方、「資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい」は2.9%で最も低かった。このことから気軽に予約したいという要望が多かったことが分かった。今後の参考にしたい。

	選択数	割合	アンケート回答数
市川市の図書館にない本をオンライン予約したい	31	44.3%	70
スマホやPCで、人工知能によるオススメ本をオンライン予約したい	17	24.3%	
スマホやPCで、利用日の前日から閲覧席をオンライン予約したい	13	18.6%	
電子書籍貸出サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい	13	18.6%	
図書館利用券の登録や更新を、免許証や健康証などの証明書を電子添付して、自宅からオンライン申請したい	12	17.1%	
資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい(市内1梱包:500円)	2	2.9%	

南行徳図書館 アンケート結果

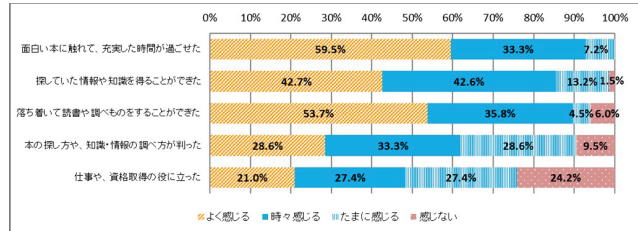
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、60代と70代の利用が25.0%と同率で、その年代で半数を占める。続いて40代が19.3%、50代が14.8%、30代が10.2%となっている。居住地別では前回同様、回答者の全てが市内在住という結果になった。職業別では、会社員・公務員が34.5%と最も多く、続いて無職が27.6%、主婦・主夫が20.7%で、パート・アルバイトが11.5%となった。



問1. 図書館を利用した成果

回答者の全てが「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と答え、98.5%の人が「探していた情報や知識を得ることができた」と回答し、図書館を利用した成果を感じていることが分かった。また、「落ち着いて読書や調べものをすることができた」との回答が前回より9.4ポイント上がり、94.0%となった。
今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	41	59.5%	23	33.3%	5	7.2%	0	0%	69
探していた情報や知識を得ることができた	29	42.7%	29	42.6%	9	13.2%	1	1.5%	68
落ち着いて読書や調べものをすることができた	36	53.7%	24	35.8%	3	4.5%	4	6.0%	67
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	18	28.6%	21	33.3%	18	28.6%	6	9.5%	63
仕事や、資格取得の役に立った	13	21.0%	17	27.4%	17	27.4%	15	24.2%	62

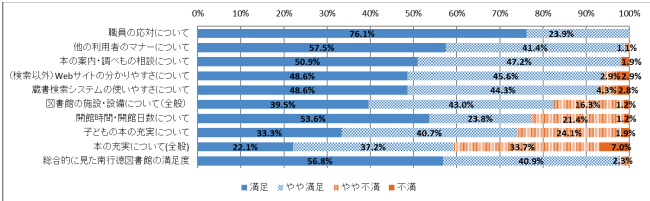
問5. 自由記入

調査票 70 記入者 37未記入 33 (記入率 52.9%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	8	古くてもきれいな状態の本が以前より増えている。新刊が少ない、英語の絵本を増やしてほしいなどの要望がある。
2	AV資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	12	利用しやすいという好意的な意見がある一方、建物が古く、トイレをリホームしてほしいなどトイレ関連の要望も多い。
4	座席に関する記入	1	もう少しゆっくり読めるスペースを充実させてほしいとの意見があった。
5	ITに関する記入	2	
6	マナーに関する記入	0	
7	職員に関する記入	12	丁寧な対応に対する感謝の言葉が多いが、職員によっては不満がある、という意見もあった。
8	運営に関する記入	6	開館時間は満足という意見がある一方、開館時間を拡大してほしい、祝日開館してほしいなどの要望があった。
9	感想	14	落ち着いて本を読んだりできるなどの好意的な意見や継続してほしいなどの意見があった。
10	その他の記入	1	特になし。

問2・4. 南行徳図書館の満足度

問2と問4では、南行徳図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が前回同様100%を得られた。次いで「他の利用者のマナー」が98.9%で前回より3.4ポイント上がり、「本の案内・調べもの相談」が98.1%となり、前回よりも6.3ポイント上がった。これらに比べ、「本の充実」は前回より4.3ポイント下がり、59.3%と顕著に満足度が低くなっている。また、「子どもの本の充実」「図書館の施設・設備」についても満足度が比較的低くなっている。
総合的な満足度は97.7%で、前回より1ポイント上がった。今後も資料の更新を図るなど、なお一層サービスの充実にも努めたい。



	満足	やや満足	やや不満	不満	計				
職員の対応について	67	76.1%	21	23.9%	0	0%	88		
他の利用者のマナーについて	50	57.5%	36	41.4%	1	1.1%	87		
本の案内・調べもの相談について	27	50.9%	25	47.2%	0	0%	1	1.9%	53
(検索以外)Webサイトの分かりやすさについて	33	48.6%	31	45.6%	2	2.9%	2	2.9%	68
蔵書検索システムの使いやすさについて	34	48.6%	31	44.3%	3	4.3%	2	2.8%	70
図書館の施設・設備について(全般)	34	39.5%	37	43.0%	14	16.3%	1	1.2%	86
開館時間・開館日数について	45	53.6%	20	23.8%	18	21.4%	1	1.2%	84
子どもの本の充実について	18	33.3%	22	40.7%	13	24.1%	1	1.9%	54
本の充実について(全般)	19	22.1%	32	37.2%	29	33.7%	6	7.0%	86
総合的に見た南行徳図書館の満足度	50	56.8%	36	40.9%	2	2.3%	0	0%	88

開館時間・開館日数についてのご要望 (回答者数 89 人。複数回答可)

	選択数	割合	アンケート回答数
月曜閉館	13	14.6%	89
月末に休館しない	11	12.4%	
土日の開館を遅く	9	10.1%	
平日の開館を遅く	7	7.9%	
朝の開館を早く	4	4.5%	

問3 自宅で使いたいサービス (回答者数 89 人。複数回答可)

自宅で使いたいサービスでは、「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」が42.7%と最も高く、次いで「電子書籍貸出サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい」が27.0%となった。予約や貸出などの日頃のサービスをオンラインでできるようにという要望が多いことがわかった。

	選択数	割合	アンケート回答数
市川市の図書館にない本をオンライン予約したい	38	42.7%	89
電子書籍貸出サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい	24	27.0%	
図書館利用券の登録や更新を、免許証や健康証などの証明書を電子添付して、自宅からオンライン申請したい	15	16.9%	
スマホやPCで、人工知能によるオススメ本をオンライン予約したい	13	14.6%	
スマホやPCで、利用日の前日から閲覧席をオンライン予約したい	10	11.2%	
資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい(市内1梱包:500円)	2	2.2%	

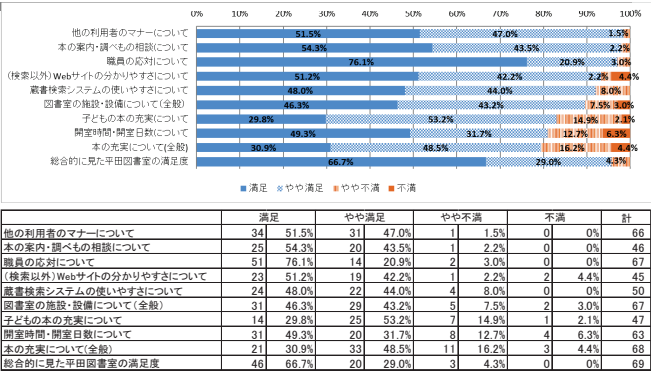
問5. 自由記入

調査票 89 記入者 33 未記入 56 （記入率 37.1％） ※複数数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。
（1）資料に関する記入 （2）ＡＶ資料に関する記入 （3）施設に関する記入
（4）座席に関する記入 （5）ＩＴに関する記入 （6）マナーに関する記入
（7）職員に関する記入 （8）運営に関する記入 （9）感想 （10）その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	6	文庫本の充実、本の種類をもう少し増やしてほしい、本が破れたままのことがあるので直してほしい、子どもの年齢別のおすすめがあると嬉しいなどの意見があった。
2	ＡＶ資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	8	小規模で探しやすいなどという好意的な意見がある一方、ベビーカーでの移動が大変、建物が古い、大きな施設に新しく立て替えてほしいとの意見があった。駅から遠いので少し不便という意見もあった。
4	座席に関する記入	1	読書スペースの充実を求める意見があった。
5	ＩＴに関する記入	1	検索システムの使い方、スマホでの本の予約の仕方の講習をしてほしいという意見があった。
6	マナーに関する記入	0	
7	職員に関する記入	8	いつも親切で、皆感じがよく、明るく丁寧に対応で安心できるなど好意的な意見が多い。予約本の受取で、状況は理解できたが対応が納得しかねたという意見があった。
8	運営に関する記入	5	予約冊数を増やしてほしい、平日の閉館時間を 18 時までにしてほしいなどの要望があった。また浦安図書館との連携、リクエストの図書がもう少し早く届くと嬉しいとの意見もあった。
9	感想	19	子供達も大好き、いつも助かっている、これからもよろしく願います、とても満足、いつも気軽に借りられて重宝、娘とともによい時間を過ごしている、どうぞなくならないで、図書館は我が家の本棚など好意的な意見が多数あった。
10	その他の記入	2	本を入れて歩くカゴが入口にあると嬉しいとの意見があった。

問2・4. 平田図書館の満足度

問2と問4では平田図書館の満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「他の利用者のマナー」「本の案内・調べもの相談について」「職員の対応」が 97％以上と非常に高かった。他の項目に比べ「本の充実（全般）」については昨年より 2.9 ポイント下がり 79.4％と満足度が低くなっている。総合的な満足度は昨年より 3.1 ポイント下がり 95.7％となった。
また、開室時間・開室日数については、「月末に休まない」が最も多く 21.3％となった。
規模の小さい図書館ではあるが、資料の案内や取り寄せ、職員の丁寧な対応により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に向けていく。



開室時間・開室日数についてのご要望 （回答者数 75 人。複数回答可）

	選択数	割合	アンケート回答数
月末に休まない	16	21.3%	75
平日の開室を遅く	8	10.7%	
月曜開室	6	8.0%	
朝の開室を早く	5	6.7%	
土日の開室を遅く	5	6.7%	

問3 自宅で使いたいサービス（回答者数 75 人。複数回答可）

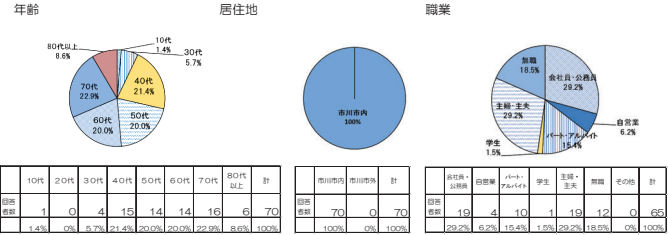
「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」が 42.7％と多く、次に「スマホや PC で、利用日の前日から閲覧席を予約したい」が 16％となった。このことから市川市にない本をオンライン予約したいという要望が多いことがわかった。

	選択数	割合	アンケート回答数
市川市の図書館にない本をオンライン予約したい	32	42.7%	75
スマホやPCで、利用日の前日から閲覧席をオンライン予約したい	12	16.0%	
電子書籍貸出サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みたい	11	14.7%	
スマホやPCで、人工知能によるおススメ本をオンライン予約したい	9	12.0%	
図書館利用時の登録や更新を、免許証や保険証などの証明書を電子添付して、自宅からオンライン申請したい	8	10.7%	
資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい(市内1梱包:500 円)	1	1.3%	

平田図書室 アンケート結果

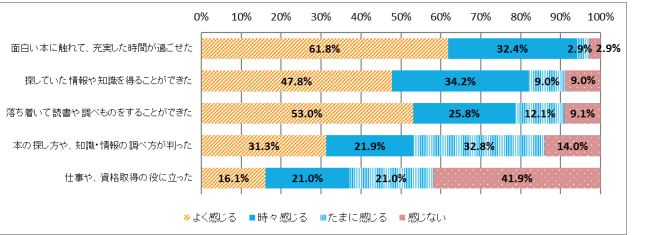
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40 代、50 代、60 代、70 代と割合はほぼ均等の回答を得ることができた。居住者別ではすべて市内在住者である。職業別では、会社員・公務員と主婦・主夫が 29.2％で、次いで無職、パート・アルバイトの順となった。



問1. 図書館を利用した成果

「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」が昨年より 2.9 ポイント下がり 97.1％だった。次に「探していた情報や知識を得ることができた」も昨年より 7.7 ポイント下がり 91％となった。昨年よりは下がったが、9 割以上が図書館を利用した成果を感じていることが分かった。対して「仕事や、資格取得の役に立った」の割合は、58.1％だった。今後も地域の方に様々な情報を提供できるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	42 61.8%	22 32.4%	2 2.9%	2 2.9%	68
探していた情報や知識を得ることができた	32 47.8%	23 34.2%	6 9.0%	6 9.0%	67
落ち着いて読書や調べものをすることができた	35 53.0%	17 25.8%	8 12.1%	6 9.1%	66
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	20 31.3%	14 21.9%	21 32.8%	9 14.0%	64
仕事や、資格取得の役に立った	10 16.1%	13 21.0%	13 21.0%	26 41.9%	62

問5. 自由記入

調査票 75 記入者 26 未記入 49 （記入率 35％） ※複数数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。
（1）資料に関する記入 （2）ＡＶ資料に関する記入 （3）施設に関する記入
（4）座席に関する記入 （5）ＩＴに関する記入 （6）マナーに関する記入
（7）職員に関する記入 （8）運営に関する記入 （9）感想 （10）その他の記入

	分類	意見数	主な内容
1	資料に関する記入	8	児童書も含め、新刊本が欲しい、雑誌の充実などの要望があった。
2	ＡＶ資料に関する記入	0	
3	施設に関する記入	7	近くにあり便利、使い勝手がよく満足などの意見があった。
4	座席に関する記入	0	
5	ＩＴに関する記入	4	ネット予約が便利、更に便利になって欲しいとの意見と、逆に使いこなせないとの意見があった。
6	マナーに関する記入	0	
7	職員に関する記入	6	親切な対応で感謝するという声が多くあったが、適切に対応できないこともあり、ご指摘もあった。
8	運営に関する記入	7	開館・閉館時間についての意見と休館日についての意見があった。
9	感想	5	感謝の言葉や近いのでこれからも利用したいなどの好意的な意見が多かった。
10	その他の記入	1	特になしとのこと。

15. アンケート・市民要望（3）

市民要望

図書館に寄せられる要望は、主に、市の公式ウェブサイト「市民の意見箱 投稿フォーム」、及び図書館ウェブサイトの各ページ最下部にある「各課問い合わせフォーム」に寄せられた要望を、広報広聴課が「市民の声システム」にデータ登録している。

そのほか、図書館の館内に「利用者の声」投稿箱を設け、電話と同様に直接図書館で要望を受けている。

市民要望・手段別		件数
ウェブサイト	各課問い合わせフォーム	109
	市民の意見箱 投稿フォーム	20
館内ポスト「利用者の声」等、直接来館		39
合計		168

市川駅南口図書館受付分 は除く

令和5年度は、コロナ禍前の利用に戻り、運営や資料に関する問い合わせが多かった。来館前にウェブサイトを確認した結果、わからずに問い合わせする方が多いことから、簡易なものは、サイトの記載内容の充実で対処、改善できるものが多い。

また、Webサービスであらかじめ蔵書を検索・予約して来館するスタイルは、コロナ禍の影響で浸透しており、さらに現在できていないサービスに対する要望（パスワード忘れ、未所蔵予約など）が目立つ。

これらは、図書館システムの更新にあわせて集約し、その実現に向けて努めていく。

マイページの予約状況を見て、予約資料の提供が遅れる理由の問い合わせ等が多く、返却期限厳守やペナルティ等マナー啓発を求める意見も多かった。

内容詳細ごとの主な要望

ア. 運営に関すること

- 隣接市登録可のウェブサイトでの周知について
- 延滞者へのペナルティについて
- 資料への傍線書込み、閲覧席での迷惑行為等、マナーの啓発について

- 閲覧席での Wi-Fi 環境の安定化について

イ. 資料に関すること

- 他の自治体図書館所蔵本の借用について
 - ウェブサイトでの新刊図書希望（リクエスト）について
 - 雑誌最新号の予約について
- 以上三点を、以下、「未所蔵予約」と略す
- シリーズや叢書の欠本補充について
 - 雑誌巻号の納品チェックについて
 - 千葉県や市川の歴史、調査資料のことに ついて ⇒レファレンス依頼（4件）

ウ. システムに関すること

- 未所蔵予約のウェブ受付について

エ. 施設に関すること

- 新しい図書館や窓口の増設について
- 職員の巡回または防犯カメラの設置整備
- トイレの全面洋式化
- 生涯学習センター施設前 花壇手入れにお礼

オ. 職員に関すること

- 接遇について

カ. その他

- 高校生による本の紹介文 POP 展示にお礼

市民要望・内容詳細別	件数
ア. 運営に関すること	48
イ. 資料に関すること（寄贈・レファレンスを含む）	38
ウ. システムに関すること（ウェブサイト含む）	25
エ. 施設に関すること（備品を含む）	16
オ. 職員に関すること（接遇・手続きミスを含む）	6
カ. その他	35
合計	168